



4 WHEEL DRIVE BUGGY

4輪駆動オフロードレーシングバギーエンジン.19~.20

LAND JUMP 4D

ランドジャンプ4D取扱説明書



激走する4輪駆動オフロードレーシングバギー。シンプルな設計、驚異的な軽さ、しかも堅牢なシャーシ。完璧なサスペンションにオイルダンパー装備、トルク・クラッチを搭載した画期的なメカニズムでパワー効率がぐーんとアップ。

●テクニカル・データ

全長.....515mm
全幅.....270mm
全高.....200mm
シャーシハイ.....40mm
ホイールベース.....315mm

フロントタイヤ.....110φ×48mm
リヤタイヤ.....110φ×48mm
ドライブ方式.....サイドワインダー&チェーンドライブ
ブレーキ.....ディスクブレーキ
ギヤレシオ.....8.5:1-10:1

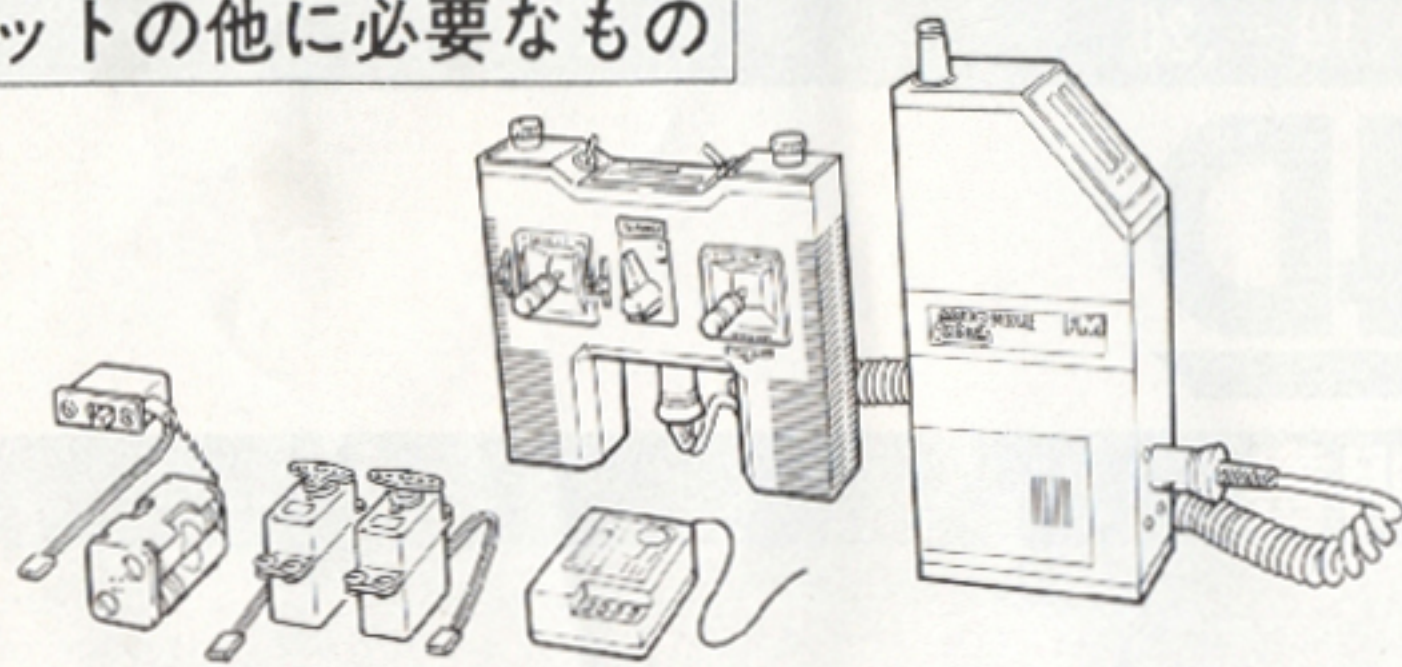
フロントサスペンション.....ダブルトレーリング
リヤサスペンション.....セミトレーリング
全備重量.....3.4kg
プロポ.....2ch
エンジン......19~.21

組立のまえに

このたびは、京商R/Cカー「ランドジャンプ4D」をお買い上げ下さりましてありがとうございます。あなたの愛車「ランドジャンプ4D」を正しく組立て取り扱い、その性能を十分発揮させていただくため、この取扱説明書に従って順序よく組立てていただきたいと思います。

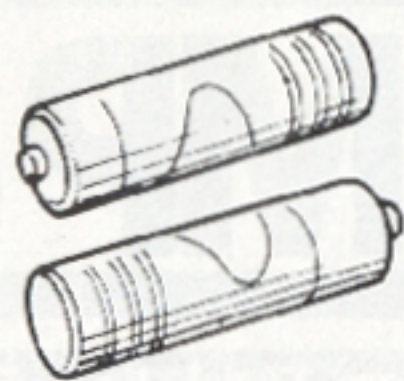
組立てる前に、本取扱書を終りまで良く読んで、あらかじめの構造を頭に入れてから組立に入ると、スムーズに作業に入れます。使用するエンジンが新しい時は、エンジンについている説明書を参考にならし運転をしておくこと、エンジンの高性能と耐久力を長く維持させることができます。

キットの他に必要なもの



送信機 単3×6～8本
受信機 単3×4本

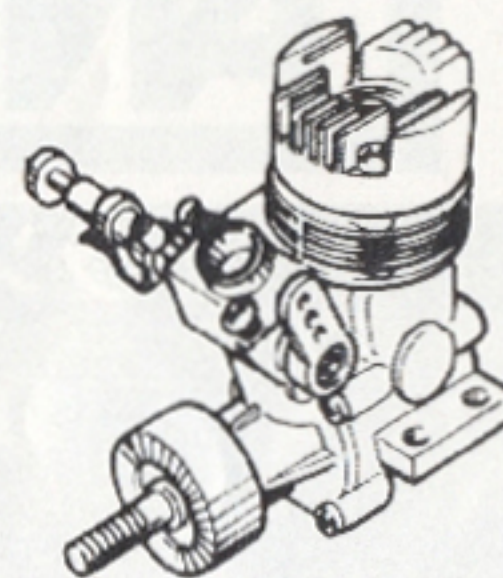
プロポ用電池



グロープラグ
(1.5Vの白金が良い。)



(注：本キットはエンヤ19、21X及びOS-21エンジン専用です。他のエンジンを使用するときは、オプションパーツ及び多少の改造が必要です。)



(OS-21又はエンヤ19、21X)
エンジン

組立に必要な道具



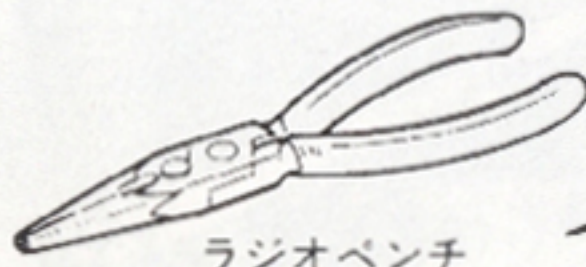
レンチ



⊕ドライバー



⊖ドライバー



ラジオペンチ



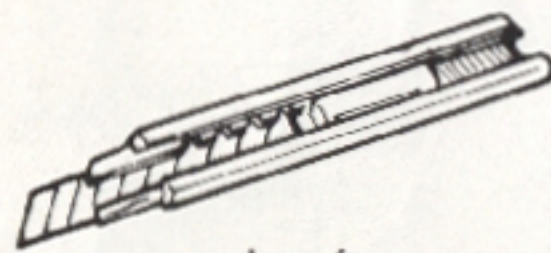
キリ



丸ヤスリ



ハサミ



カッター



紙ヤスリ



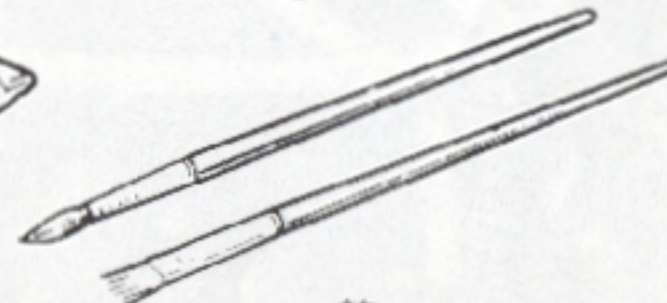
接着剤



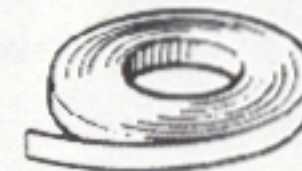
ビニールテープ



塗料

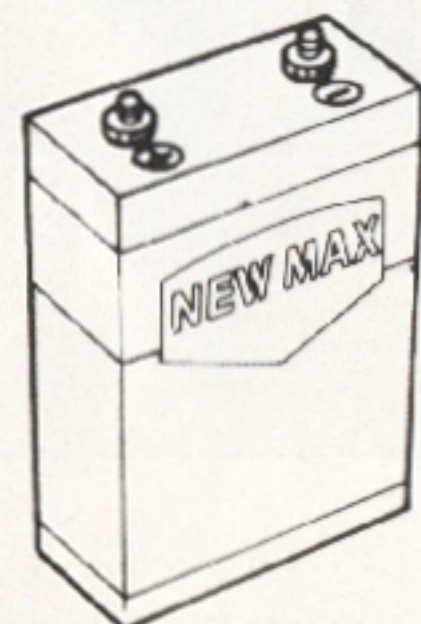


筆

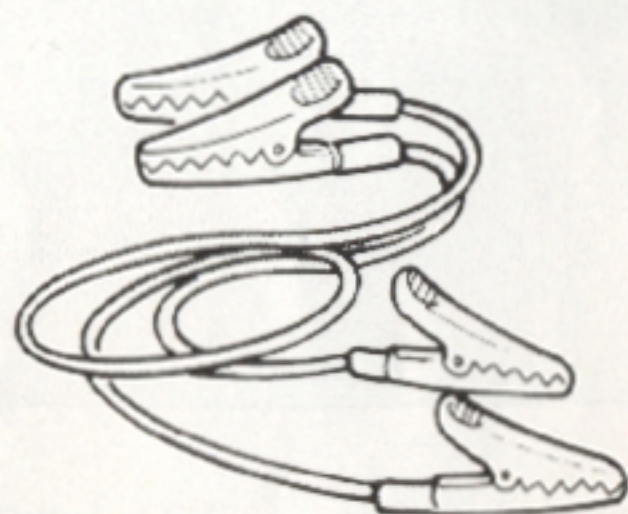


マスキングテープ

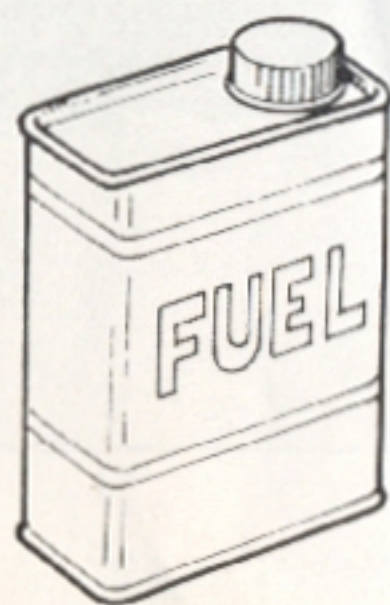
走行に必要なもの



プラグヒート用バッテリー



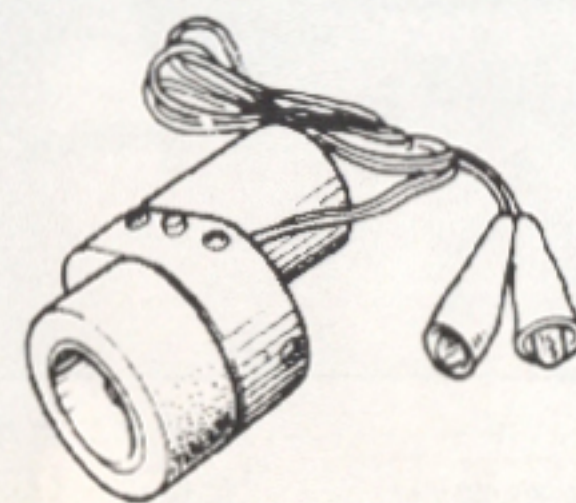
ブースターコード



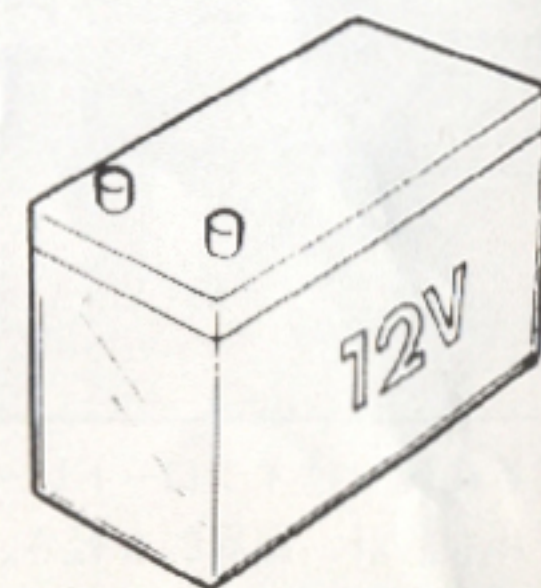
燃料



燃料ポンプ

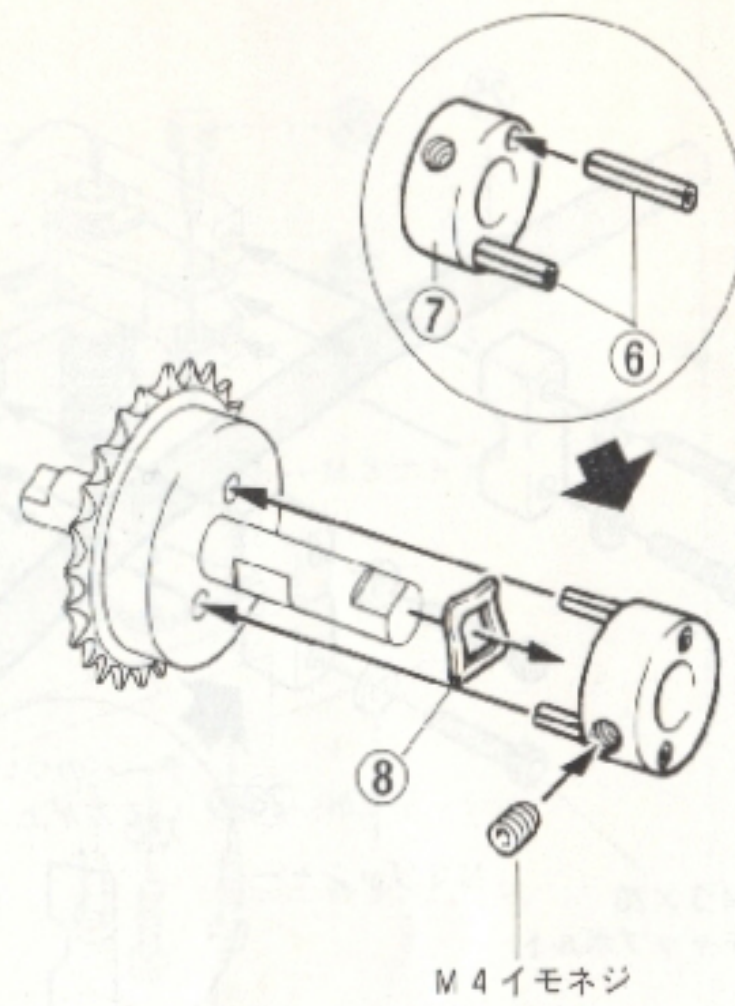
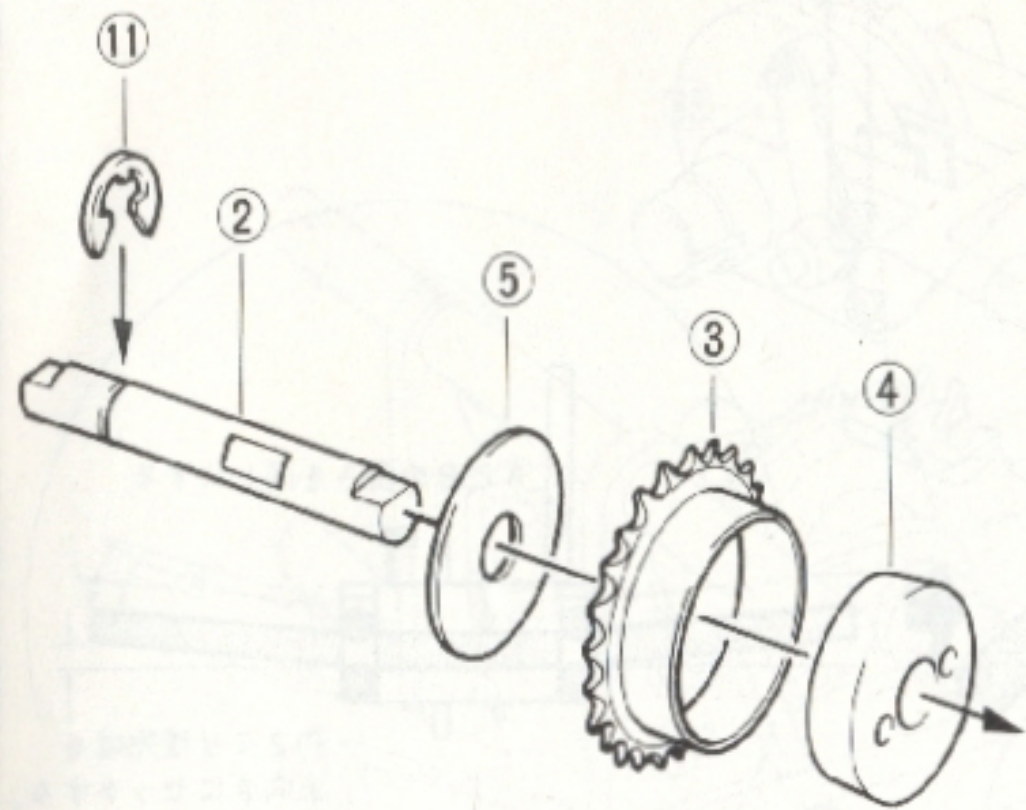


電動スターター

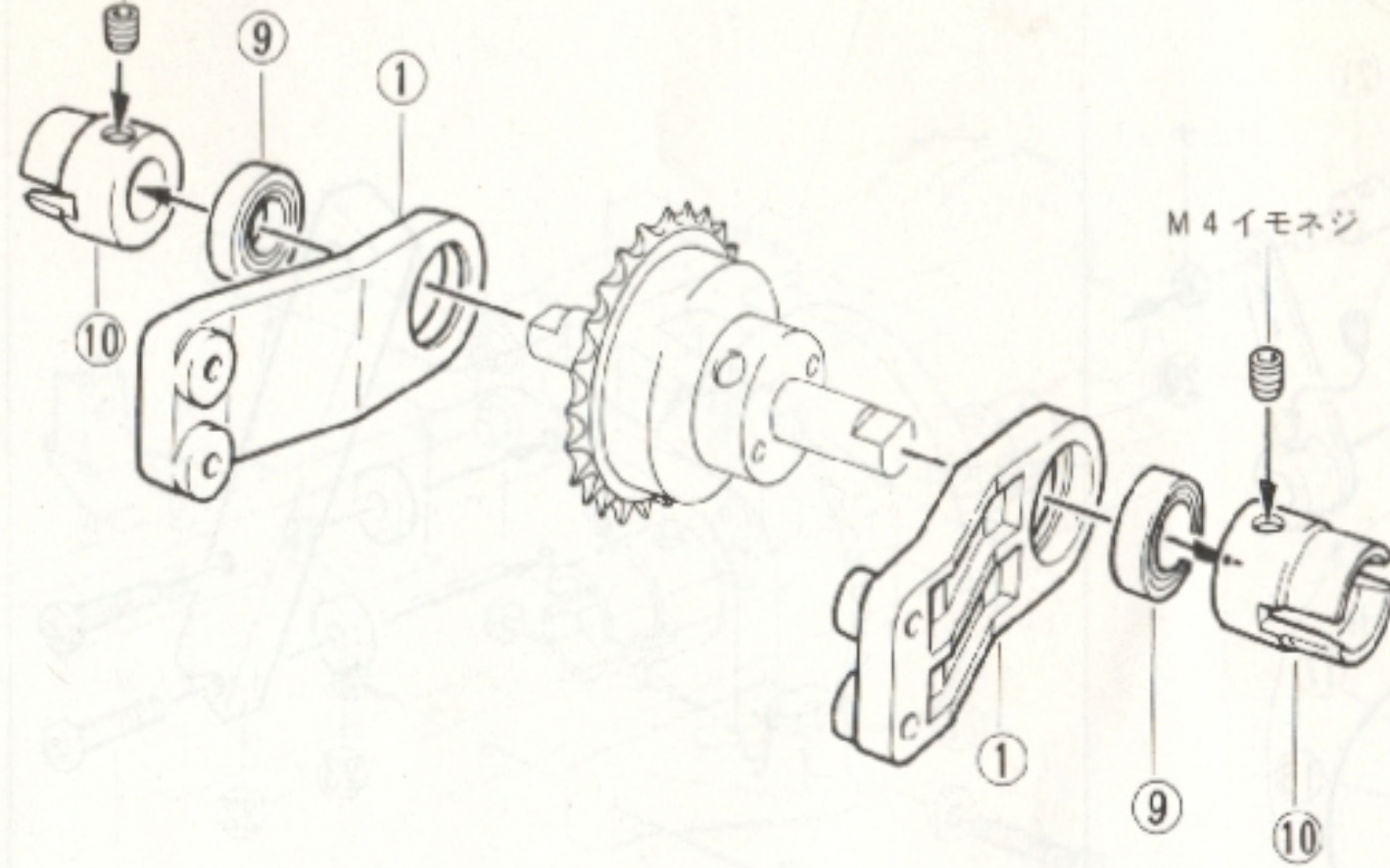


スターターバッテリー

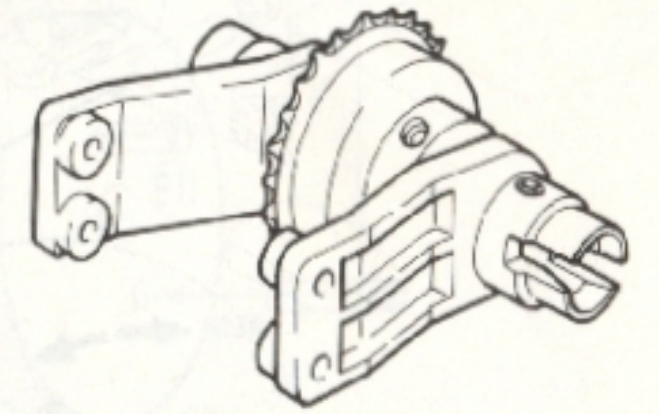
組立図1~4の小物パーツは、フロント部(A)の袋に入っています。



M4イモネジ



M4イモネジ



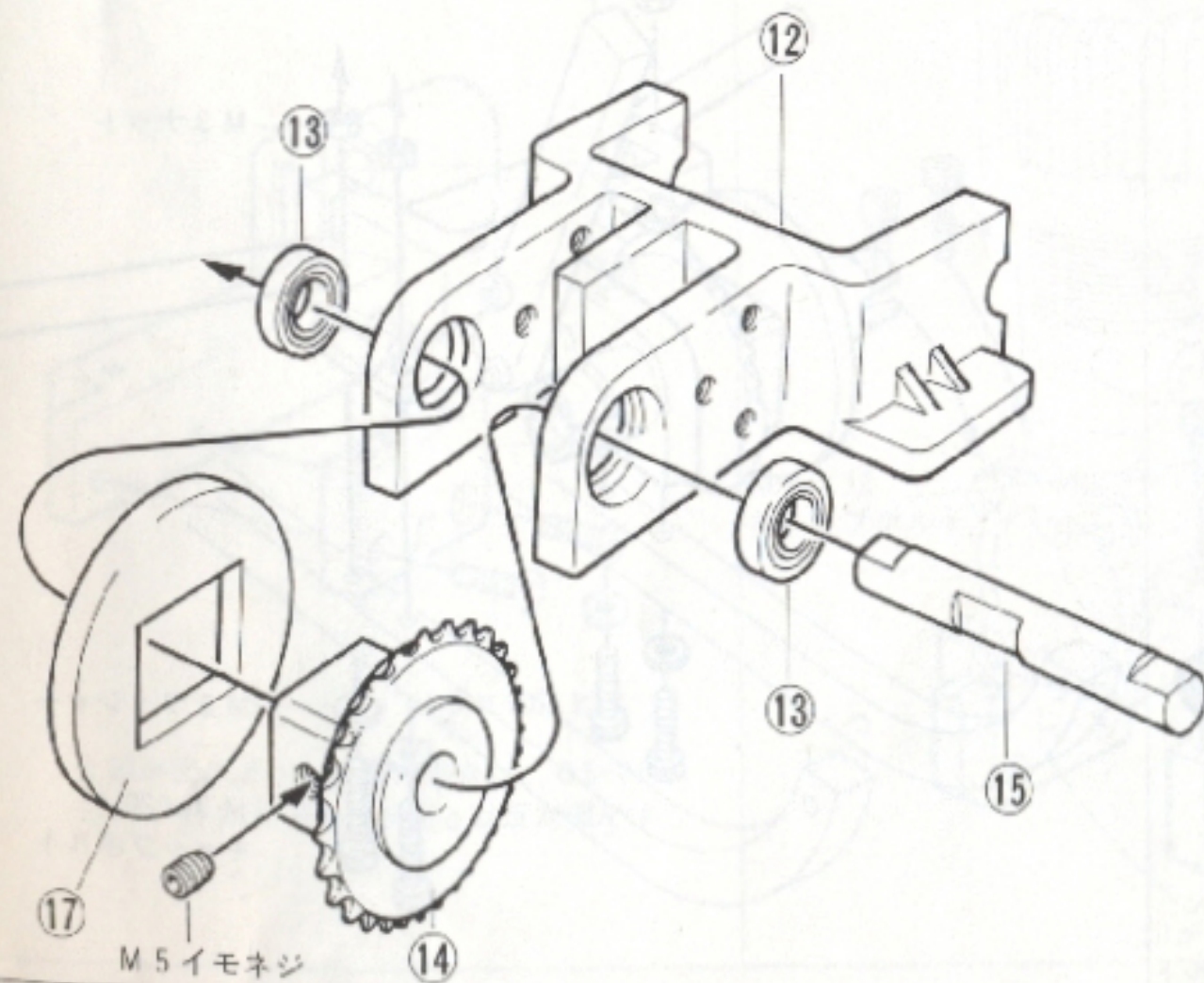
1 フロントセンターシャフト②に、Eリング⑪を入れ、トルククラッチ受け板⑤、フロントスプロケット③、トルククラッチ④の順に入れます。

2 トルククラッチピンガイド⑦にトルククラッチピン⑥を打ち込み、ウェーブワッシャー⑧を入れ、図のようにセットしますが、M4イモネジは、シャフトのDカット(平らな所)に当たるよう締める。
(注)トルククラッチピンガイド⑦は、後でクラッチの強弱を調整するので仮止め程度でよい。

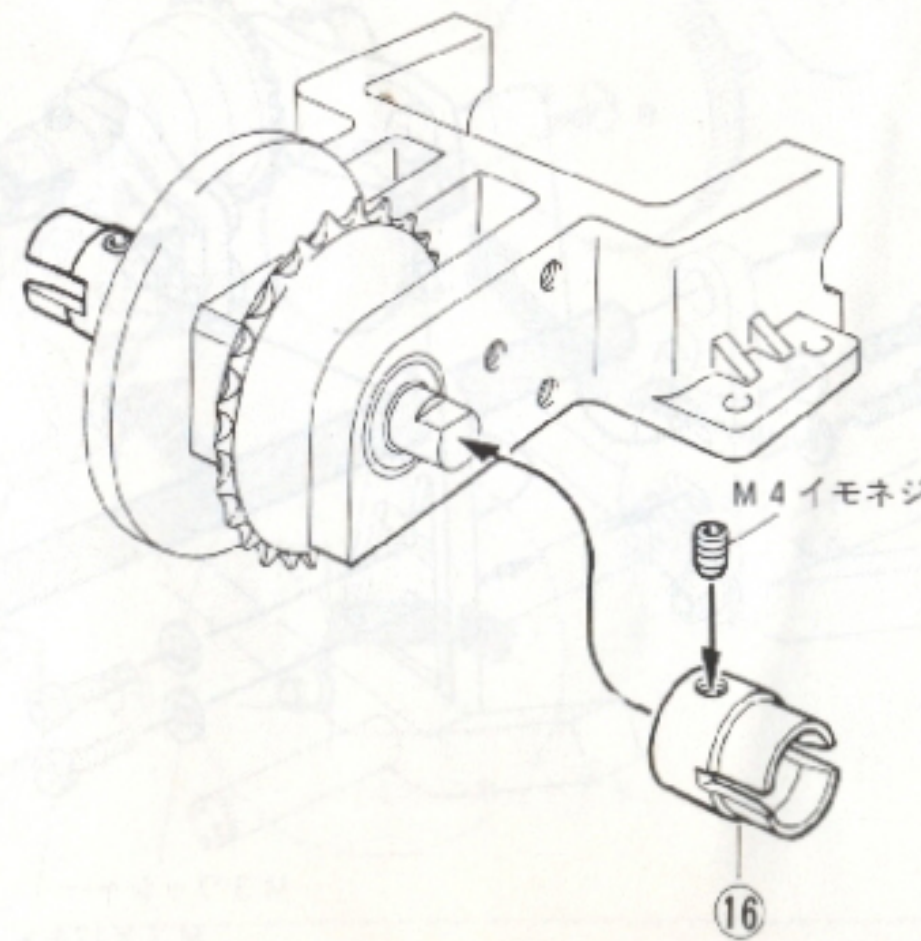
3 フロントアクスル①へ、フロントセンターシャフトベアリング⑨を入れジョイント⑩をセットしますが、これも後で調整するので仮止め程度でよい。

4 トルククラッチ部の完成図

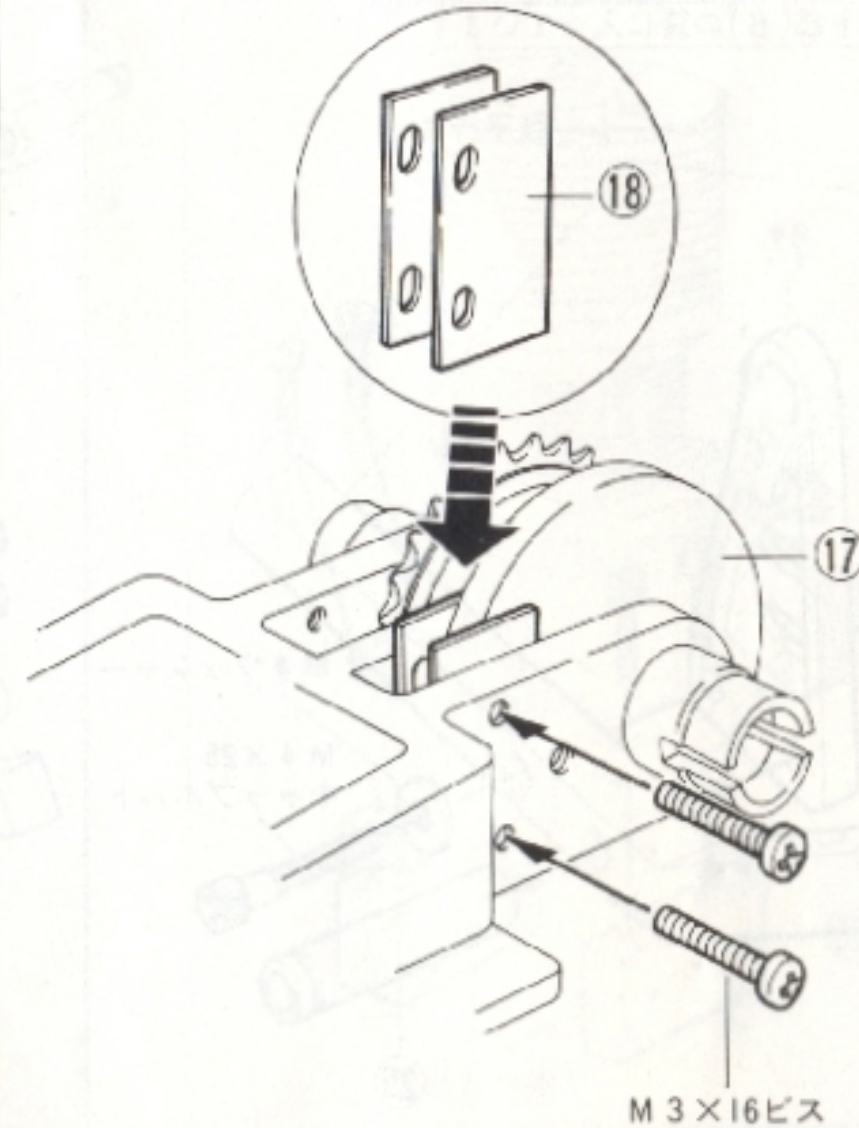
組立図5~11の小物パーツはリア部(A)の袋に入っています。



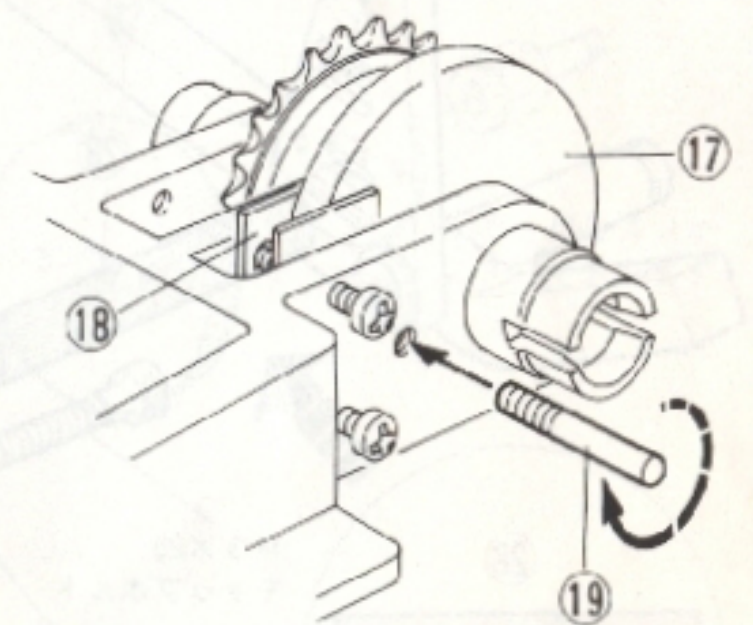
M5イモネジ



M4イモネジ



M3×16ビス

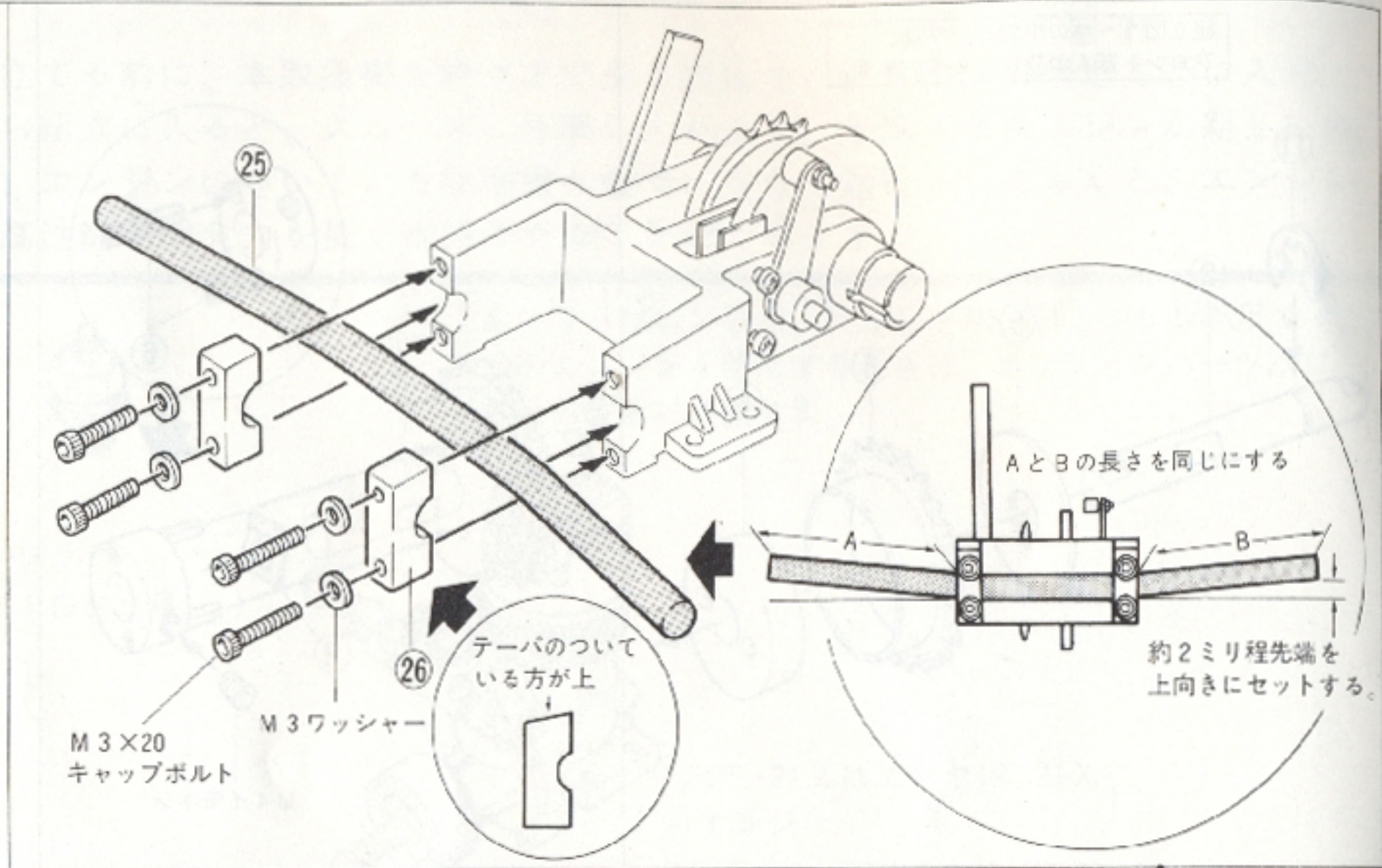
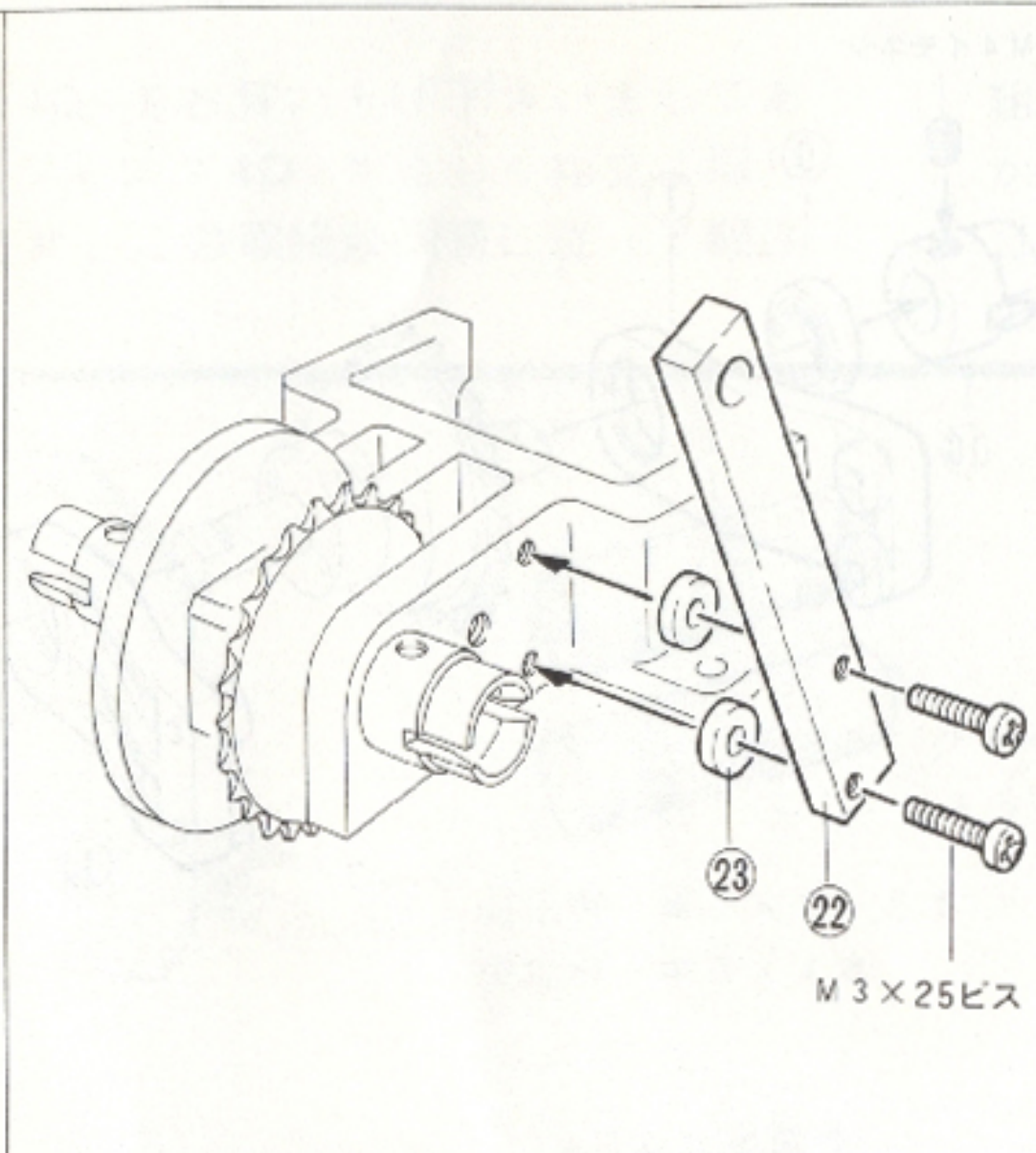
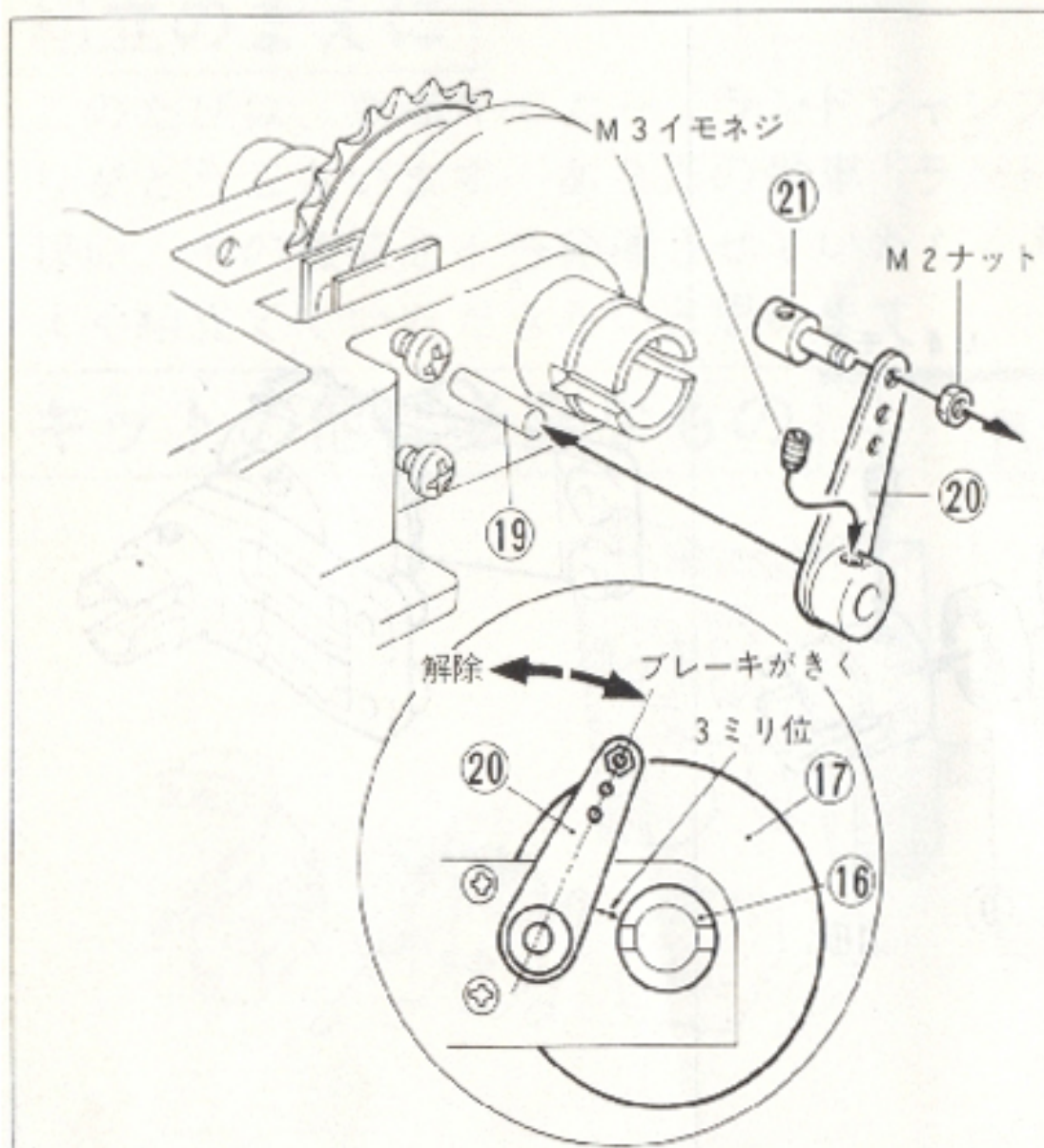


5 リアアクセル⑫へリヤシャフトベアリング⑬を入れ、図のようにリアスプロケット⑭のボスにディスク本体⑰を入れ、図のようにリアセンターシャフト⑮を通し、M5イモネジをDカットに合わせ、しっかりと締めて下さい。

6 ジョイント⑯をシャフトに取付ける。

7 ディスクパッド⑱を図のようにM3ビスで取付ける。M3×16ビスは強く締めすぎないように軽く締め、アロンアルファで止める。強く締めすぎるとプレートが曲ることがあります。

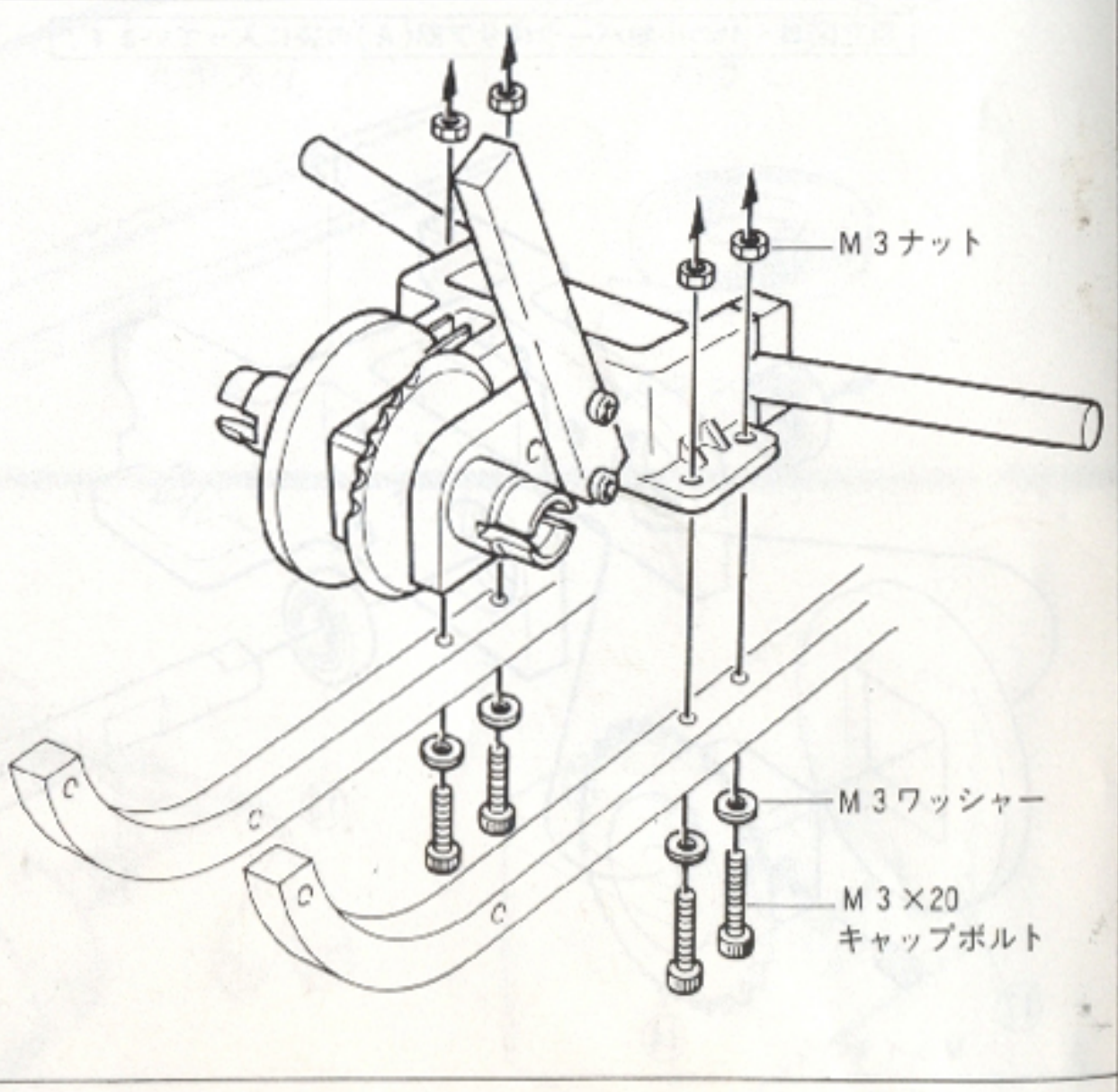
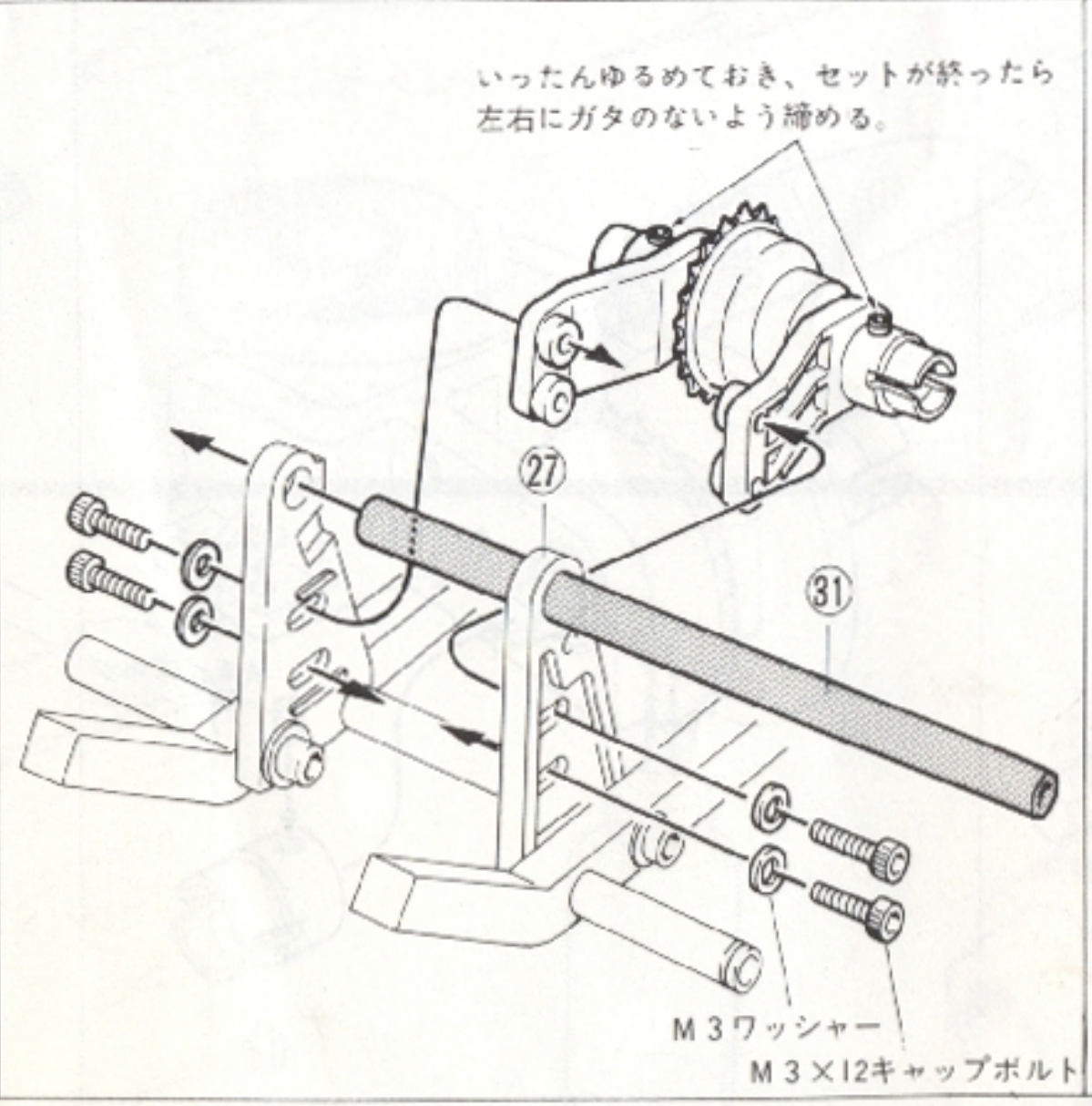
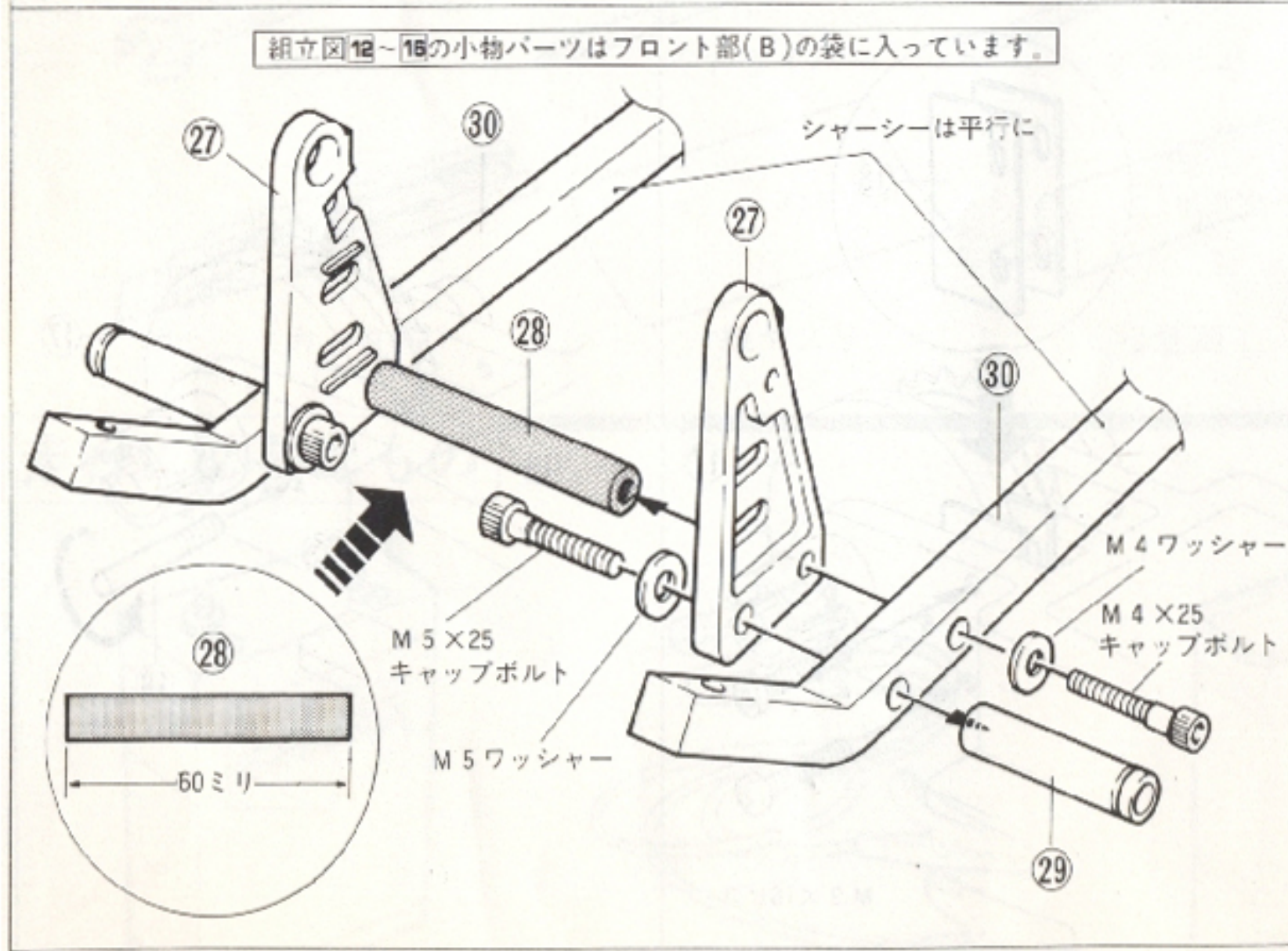
8 ブレーキシャフト⑲を図のようにネジ込みますが、ブレーキパッド⑱を軽く押す程度までに手で締め込んで下さい。



9 ブレーキホーン⑳にリンケージガイド㉑を取付けますが、リンケージガイド㉑が軽く回る程度にナットを固定する。つぎに、ブレーキホーン㉑をブレーキシャフト⑲にセットしますが、ディスク本体⑰がロックした状態でブレーキホーン㉑とジョイント⑱の間を3ミリ位あける。

10 マフラー取付ステー㉒をカラー㉓といっしょに取り付ける。

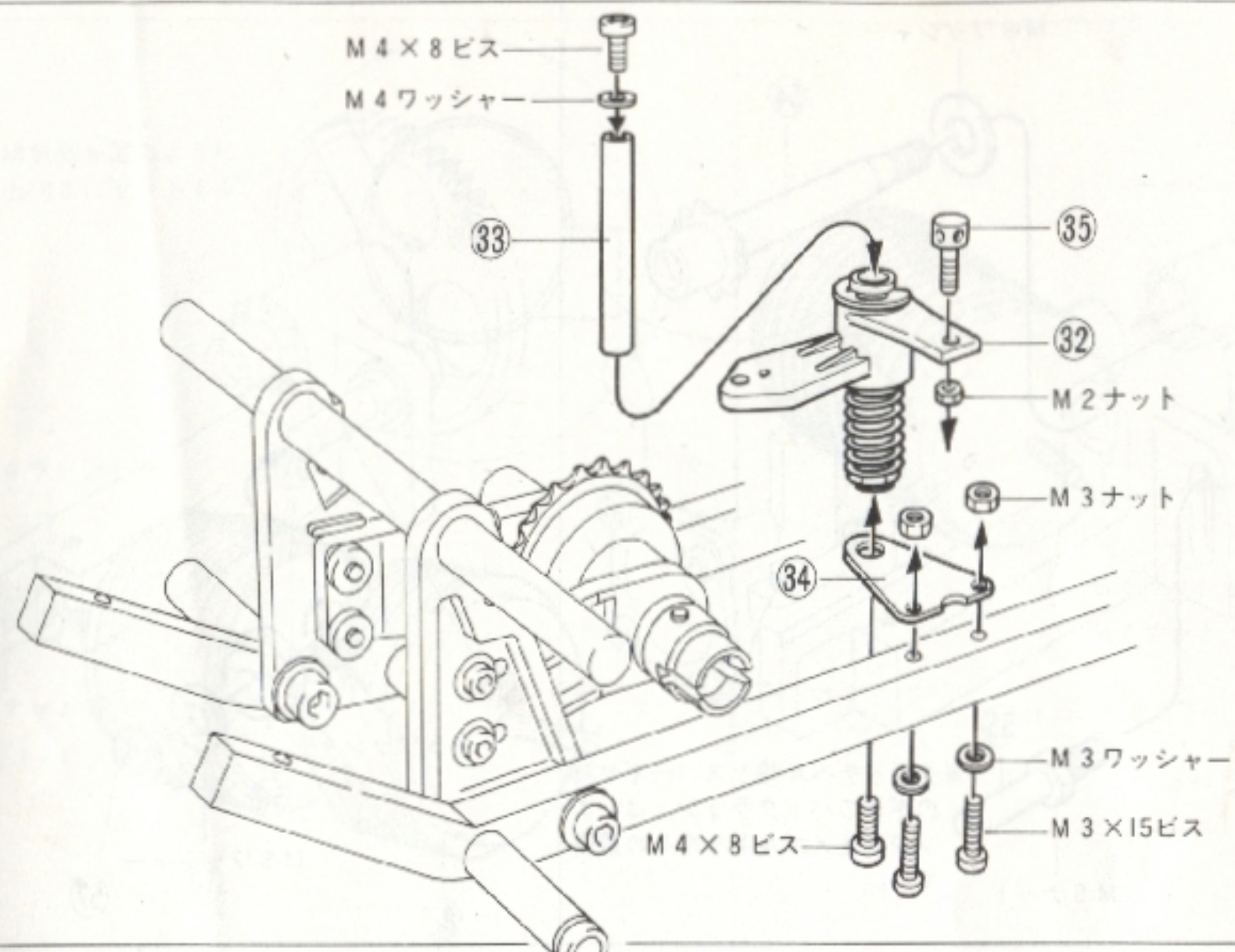
11 リアサスアーム軸㉕をストッパー㉖で図を参考にしっかりと取付ける。



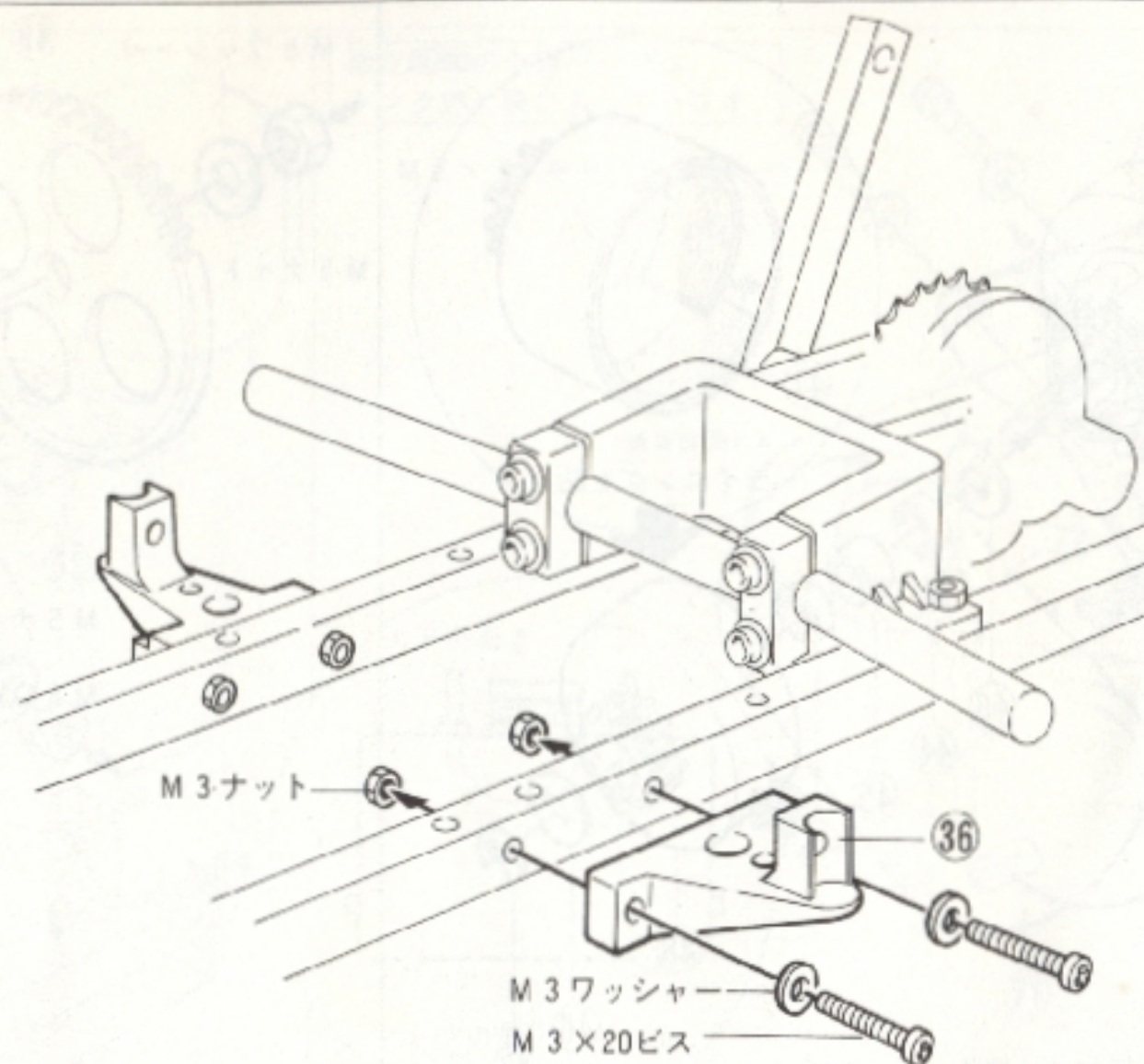
12 メインシャーシー⑳にフロントアクセルマウント㉑、ジョイントカラー㉒、フロントアーム軸A㉓を図のように取付ける。

13 完成したトルククラッチ部をフロントアクセルマウント㉑に取り付けます。取付部の穴が前後にアジャストできるように長穴になっております。チェーン取付時に前後位置を調整します。この組立では、仮止め程度でよい。フロントアーム軸Bをマウントに通しておく。

14 完成したリアアクセル部をシャーシーに取付ける。

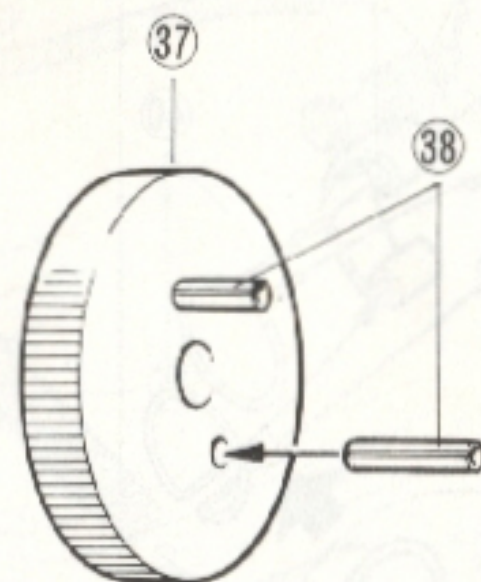


15 サーボセーバー³²へリンクージガイド³⁵を軽く動く程度に取付ける。つぎにサーボセーバー取付け金具³⁴にサーボセーバー³²を取付け、シャーシーに取付ける。

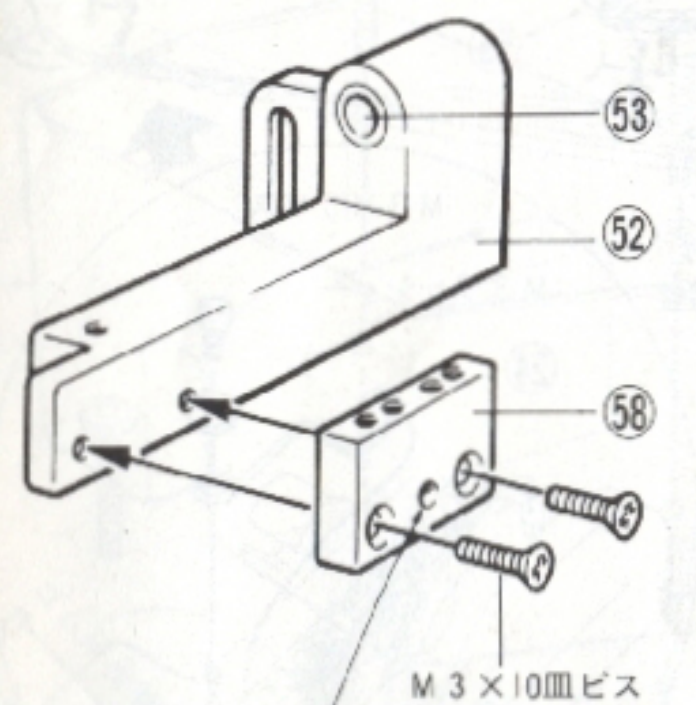


16 サイドメンバー³⁶をメインシャーシーに取り付ける。

組立図17~24の小物パーツは、エンジン部の袋に入っています。

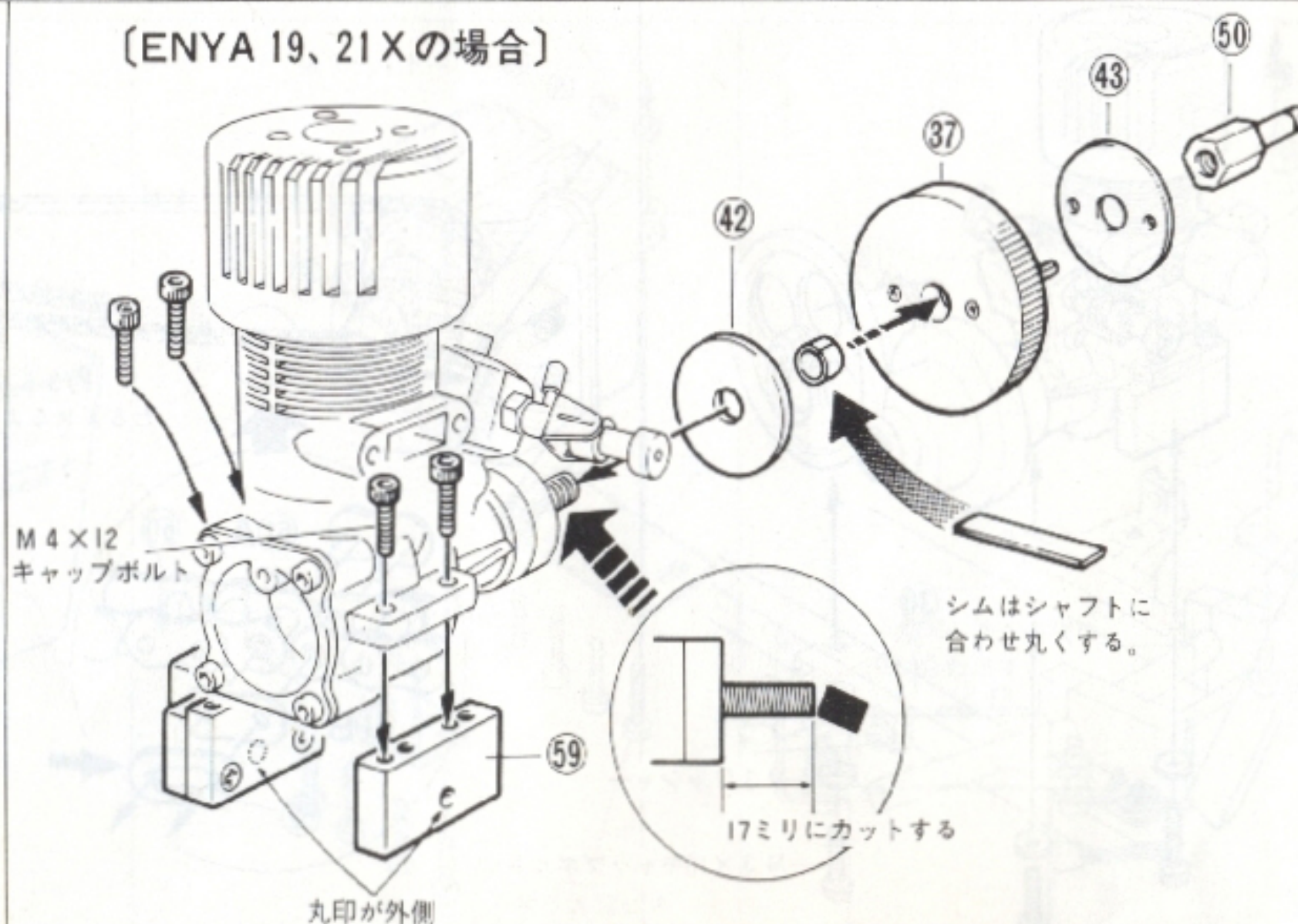


17 フライホイール³⁷にクラッチピン³⁸を打ち込む



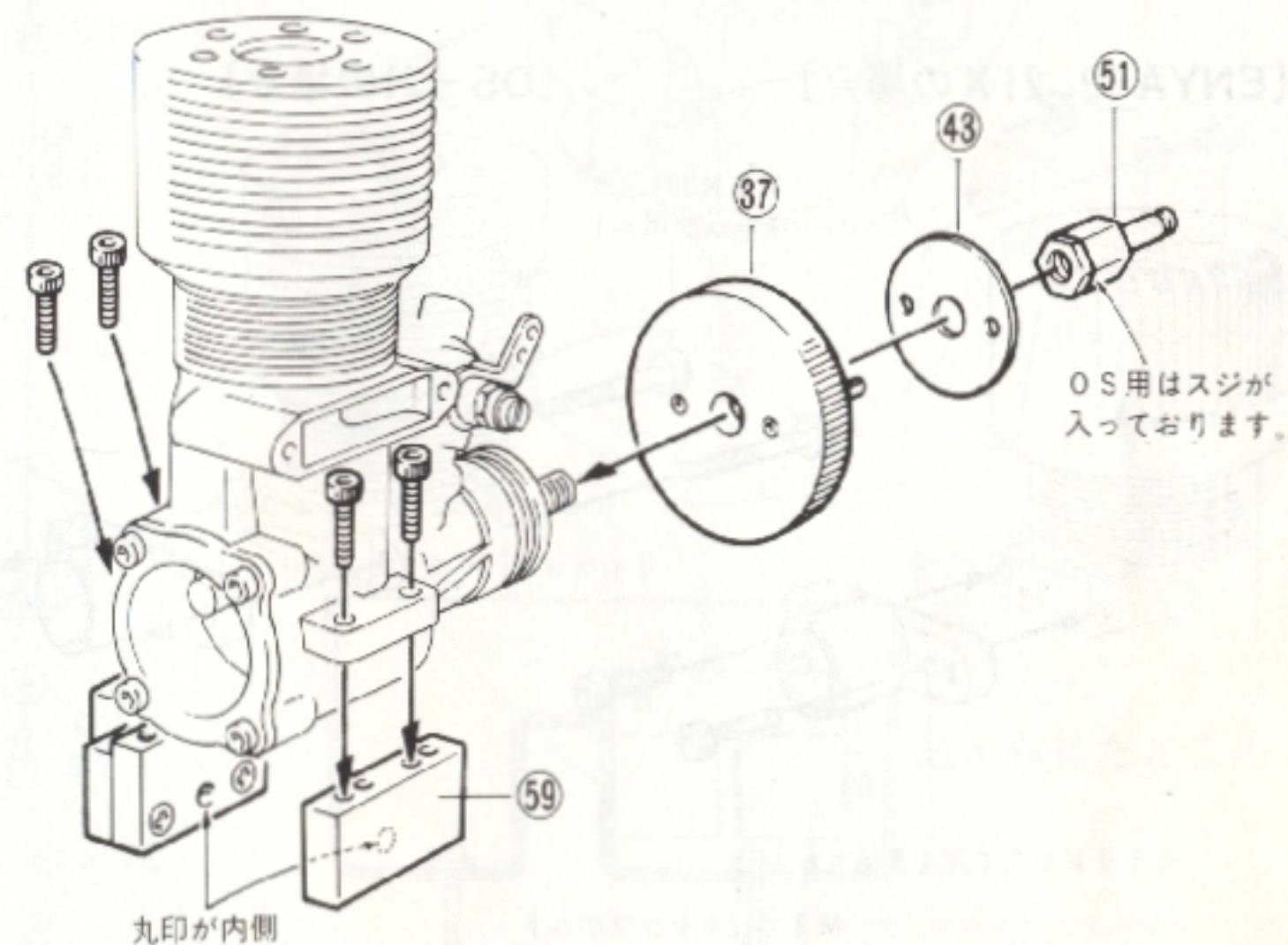
丸印が図のような位置の場合は、OS-21用 ENYA 19、21X は丸印が図とは反対側です。

[ENYA 19、21Xの場合]



19 エンヤ19X、21Xエンジン使用の場合、まず、エンジンマウント(B)⁵⁹は、横に丸印のある方を外側になるよう取付け、エンジンのシャフトに、フライホイールスパーサー⁴²、フライホイール³⁷、クラッチシート⁴³の順に入れ、パイロットシャフト⁵⁰でゆるまないようにガッチリと取り付ける。

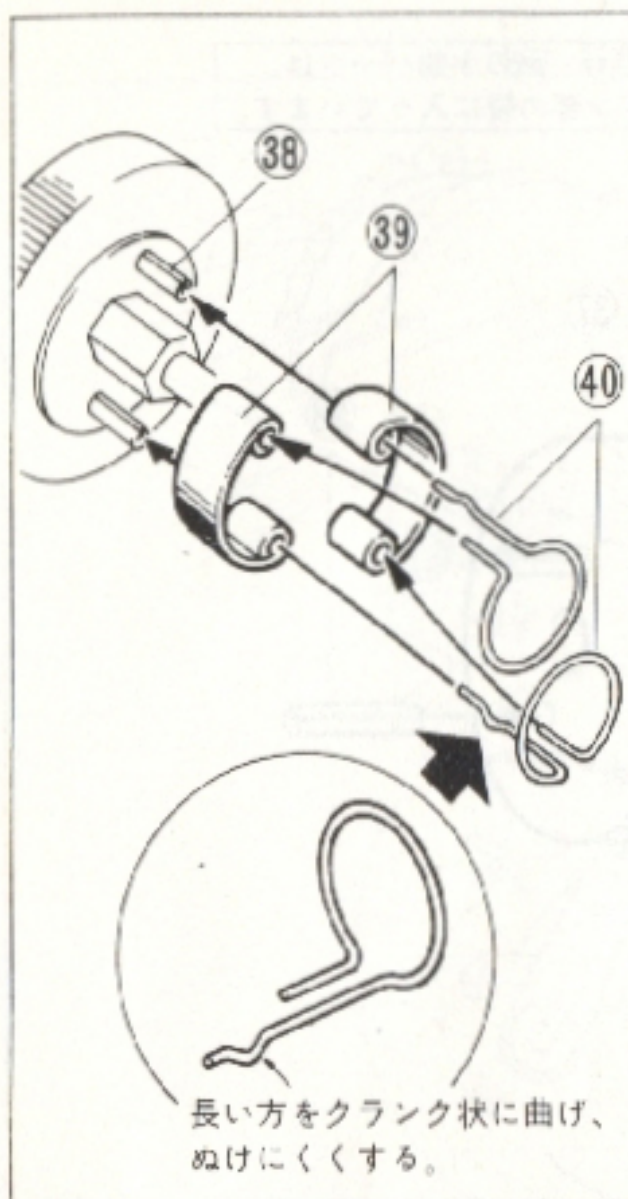
[OS-21の場合]



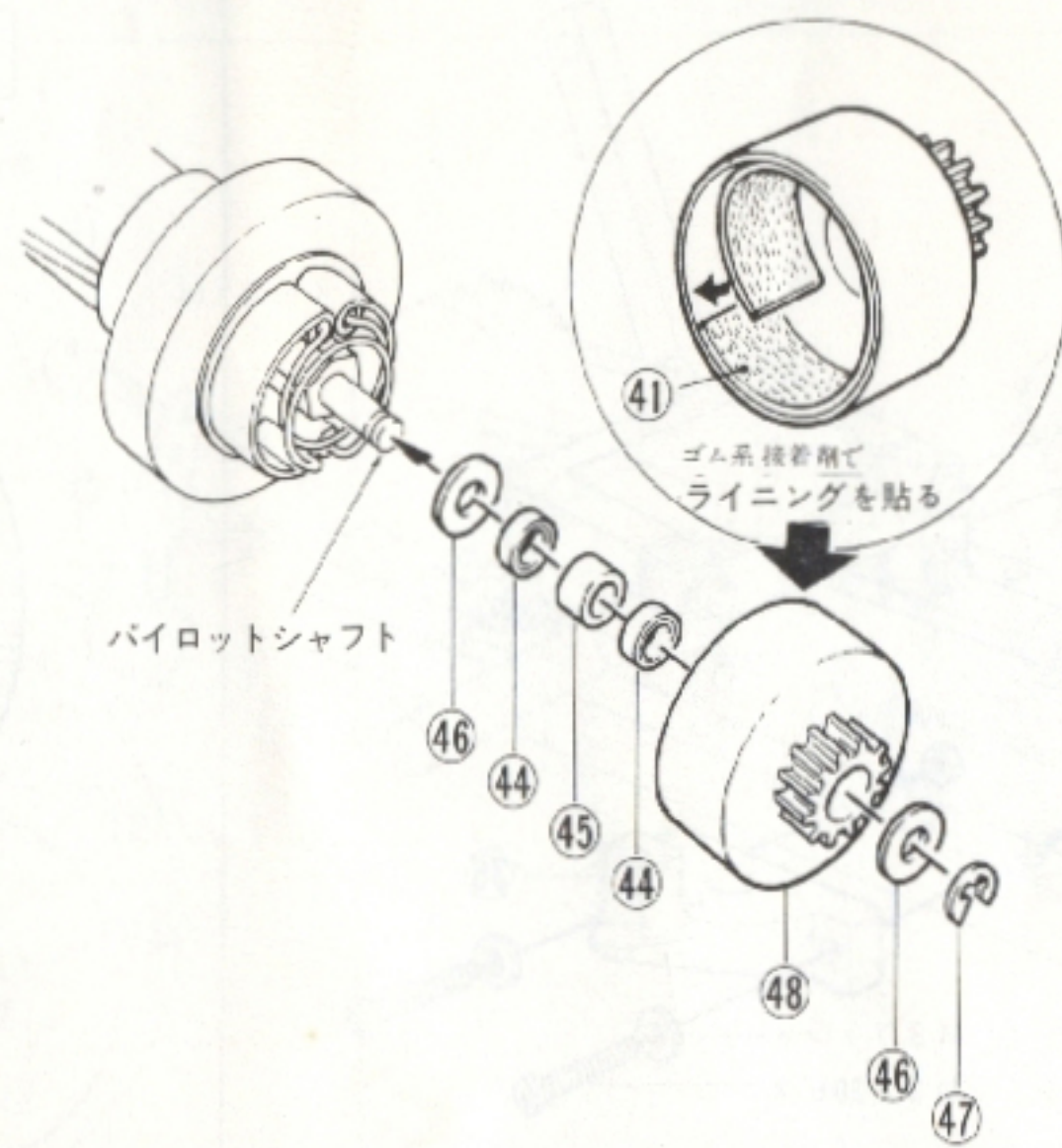
20 OS-21ABCエンジン使用の場合は、エンジンマウント(B)⁵⁹の横に丸印のある方を内側になるよう取付け、フライホイール³⁷、クラッチシート⁴³の順に入れ、パイロットシャフト⁵¹でゆるまないようガッチリと取付ける。

18

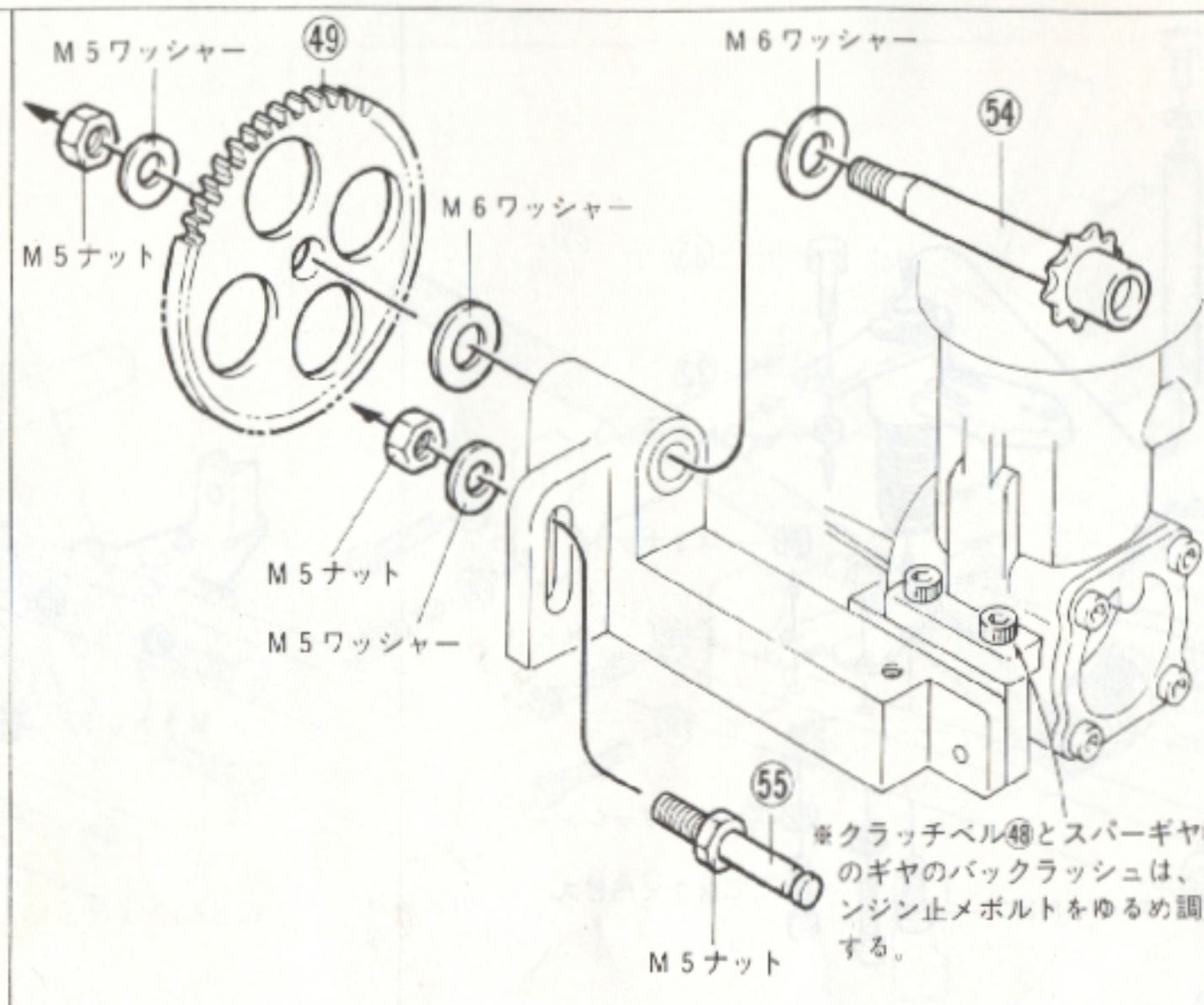
スパーギヤマウント⁵²へエンジンマウント(A)⁵³をM3x10mmビスで取付けますが、OSエンジンとエンヤエンジンとは取付方向が異なります。図を良く見て取付けて下さい。



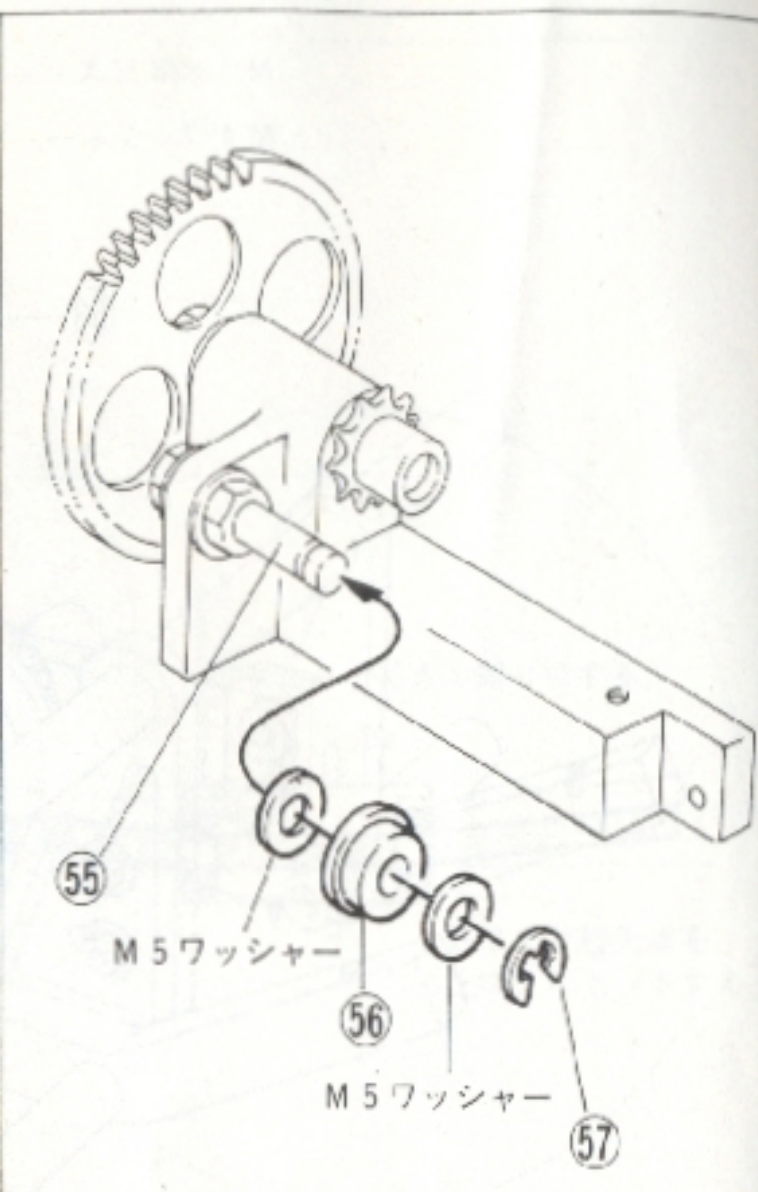
21 クラッチピン③⑧にクラッチシュー③⑨を取り付け、図のようにクラッチスプリング④の長い方をクラッチピン③の穴へ、短い方をクラッチシュー③の穴へ取付ける。



22 パイロットシャフトにベアリングワッシャー④⑥、クラッチベアリング④④、ベアリングカラー④⑤、クラッチベアリング④④、クラッチベル④⑧、ベアリングワッシャー④⑥の順に通し、Eリング④⑦をパイロットシャフトの溝にはめ、クラッチベル④⑧がぬけないようセットする。



23 スパーギヤシャフト⑤④を各ワッシャーを通し、M5ナットでゆるまないよう取付ける。つぎにテンショナーシャフト⑤⑤にM5ナットを入れ、各ワッシャーを通し図のように取付けるが、このテンショナーシャフト⑤⑤はチェーンの張り具合を調整するものなのでチェーン取付後に調整しますのでナットは軽く仮止めしておく。

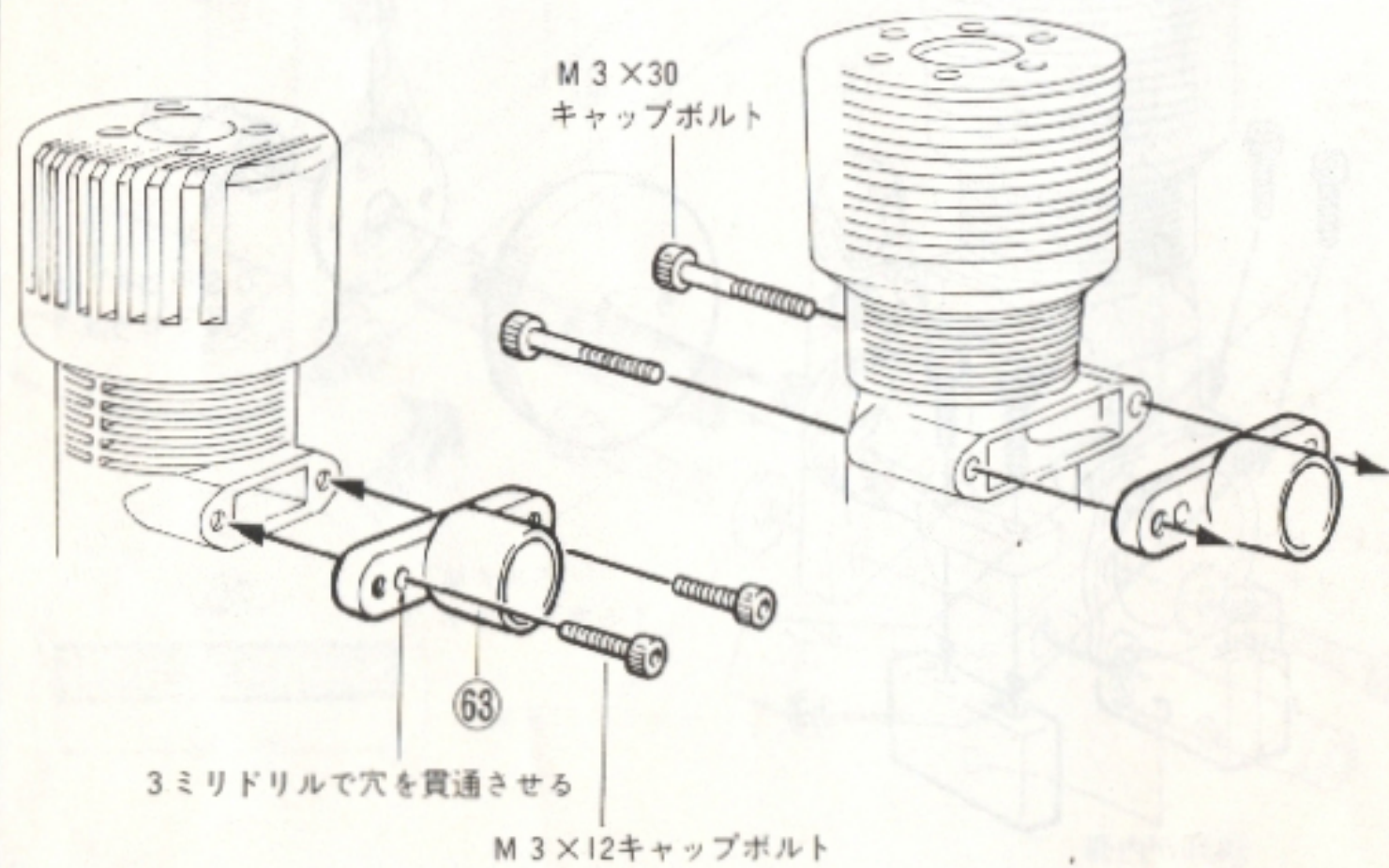


24 テンショナーシャフト⑤⑤へ、テンショナーガイド⑤⑥を入れ、Eリング⑤⑦でセットする。

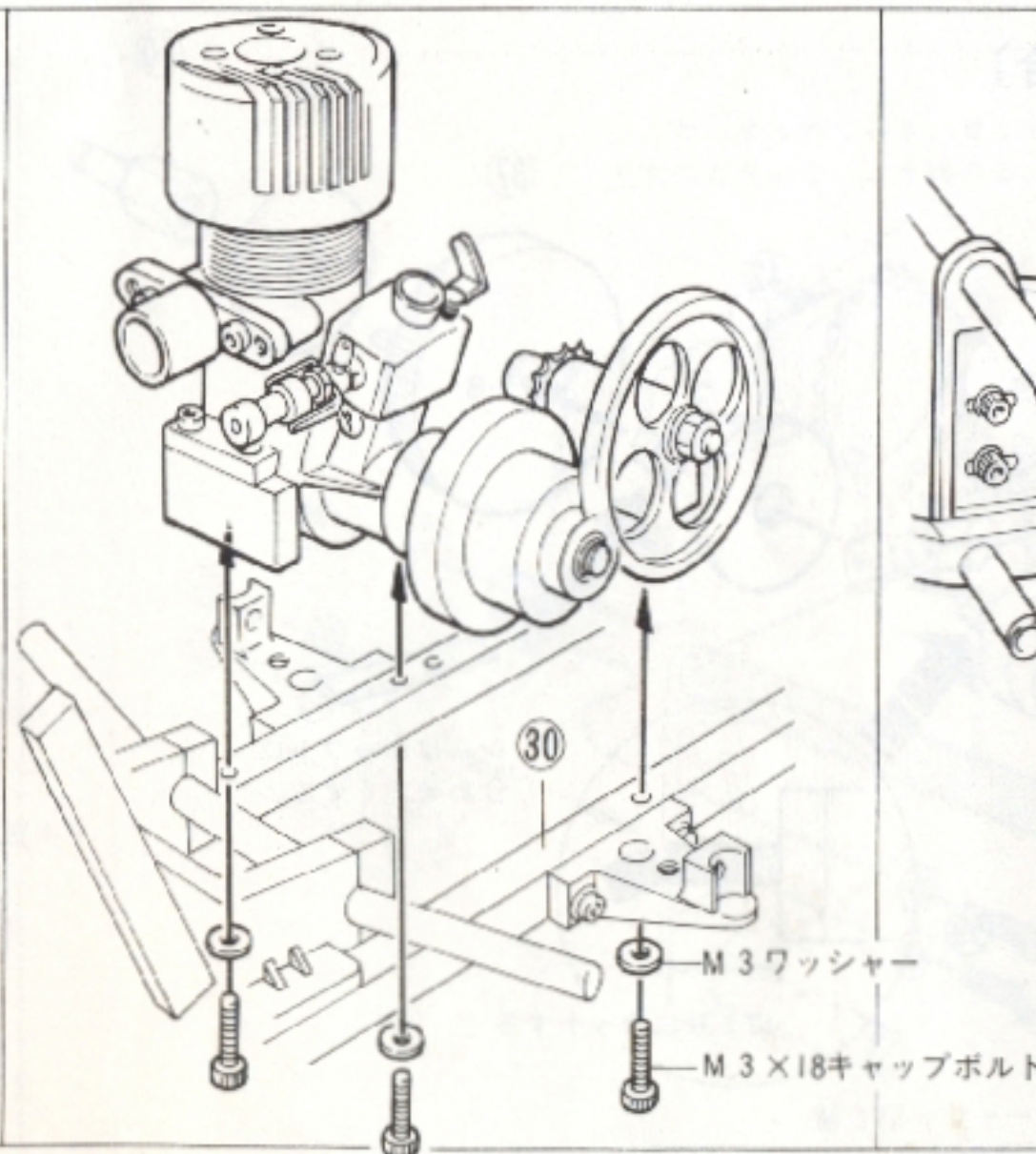
組立図②⑤~②⑧の小物パーツはマフラー部の袋に入っています。

[ENYA 19、21Xの場合]

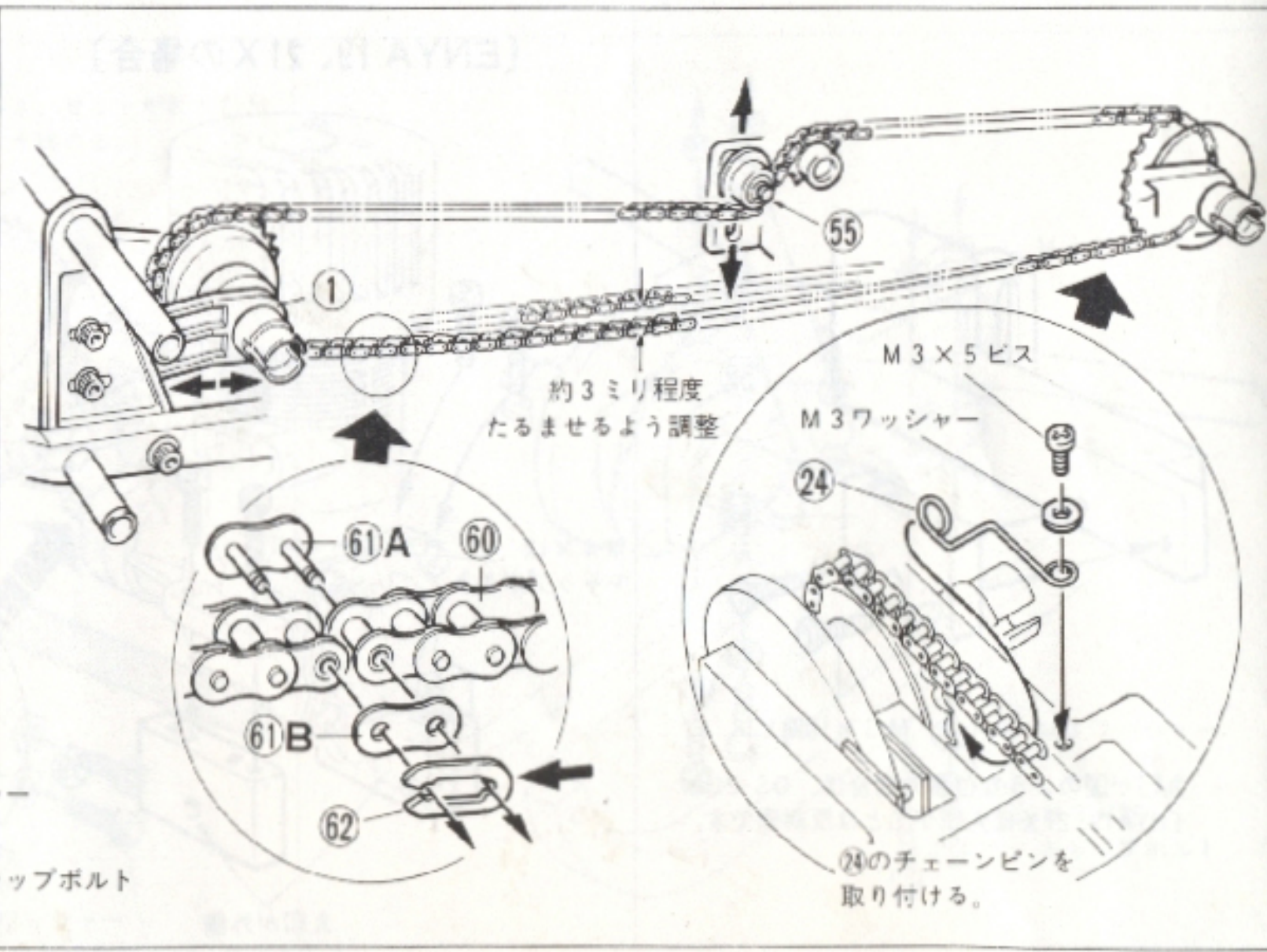
[OS-21の場合]



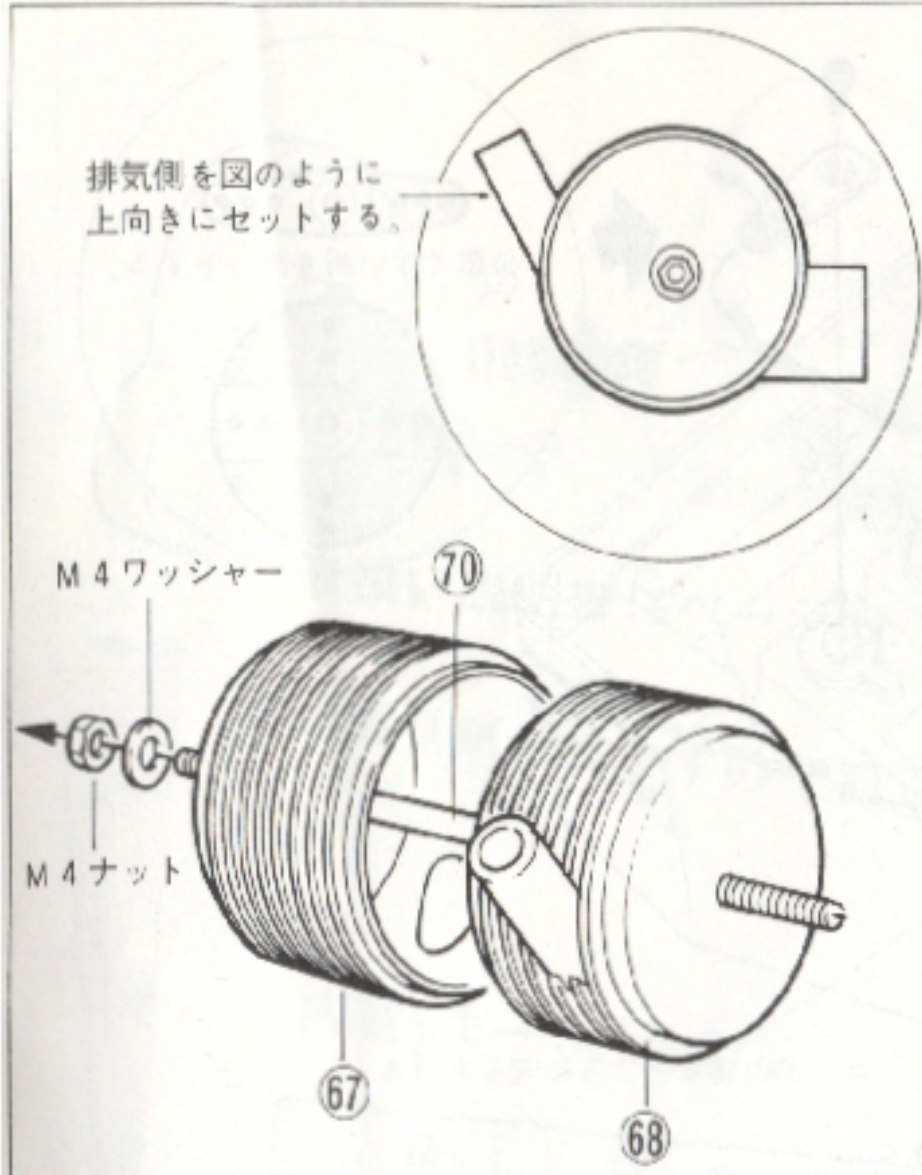
25 エンジンにマフラーアダプター⑥③を取付けますが、OS21、エンヤ21エンジンとは、取付け方が異なります。図を参考に取付けて下さい。また、マフラーアダプター⑥③とエンジンの間にバスコーク等を塗り、排気もれを防ぐとよい。



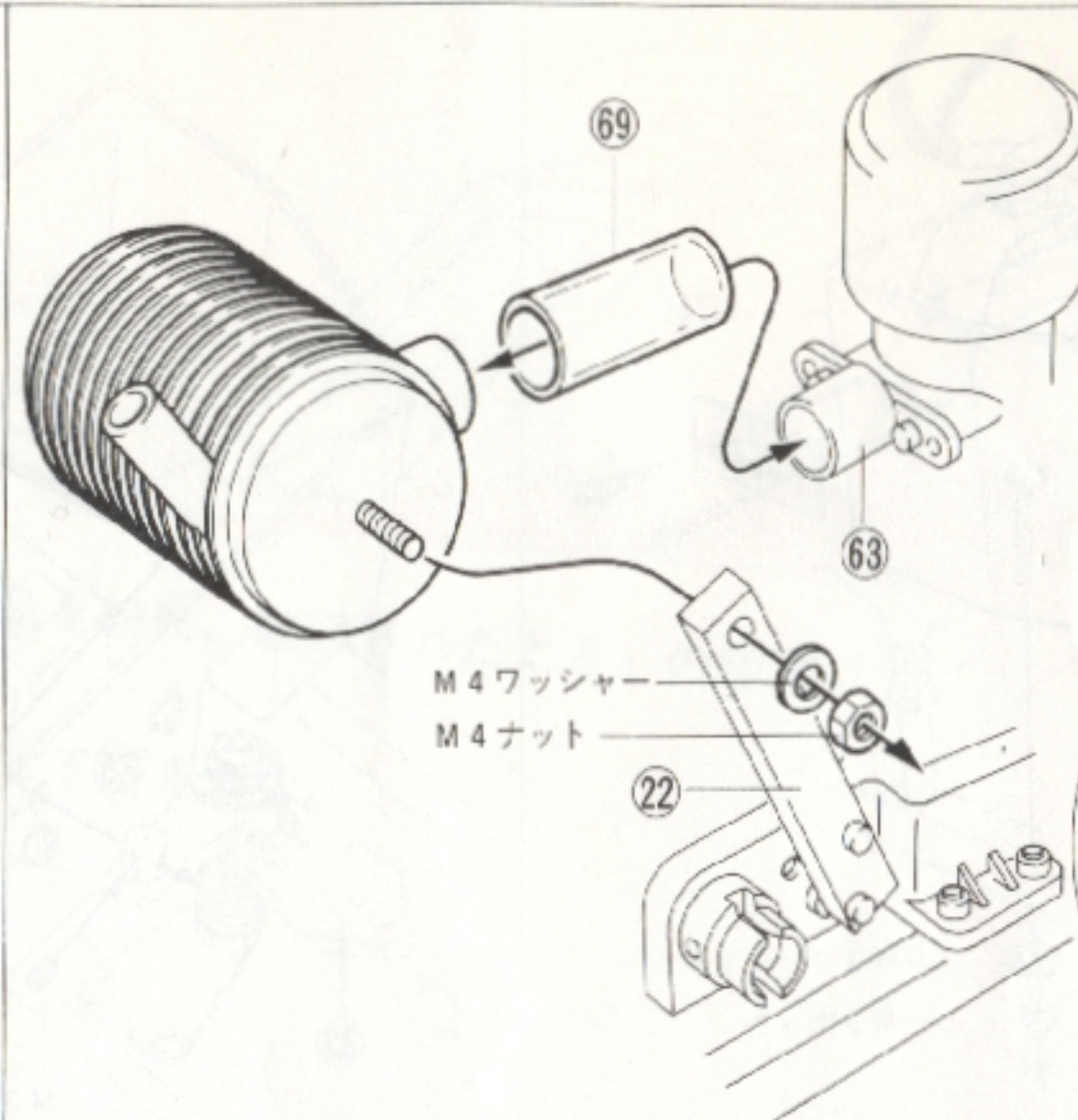
26 完成した動力部をメインシャシー③⑩にM3×18キャップボルトでしっかりと取付ける。



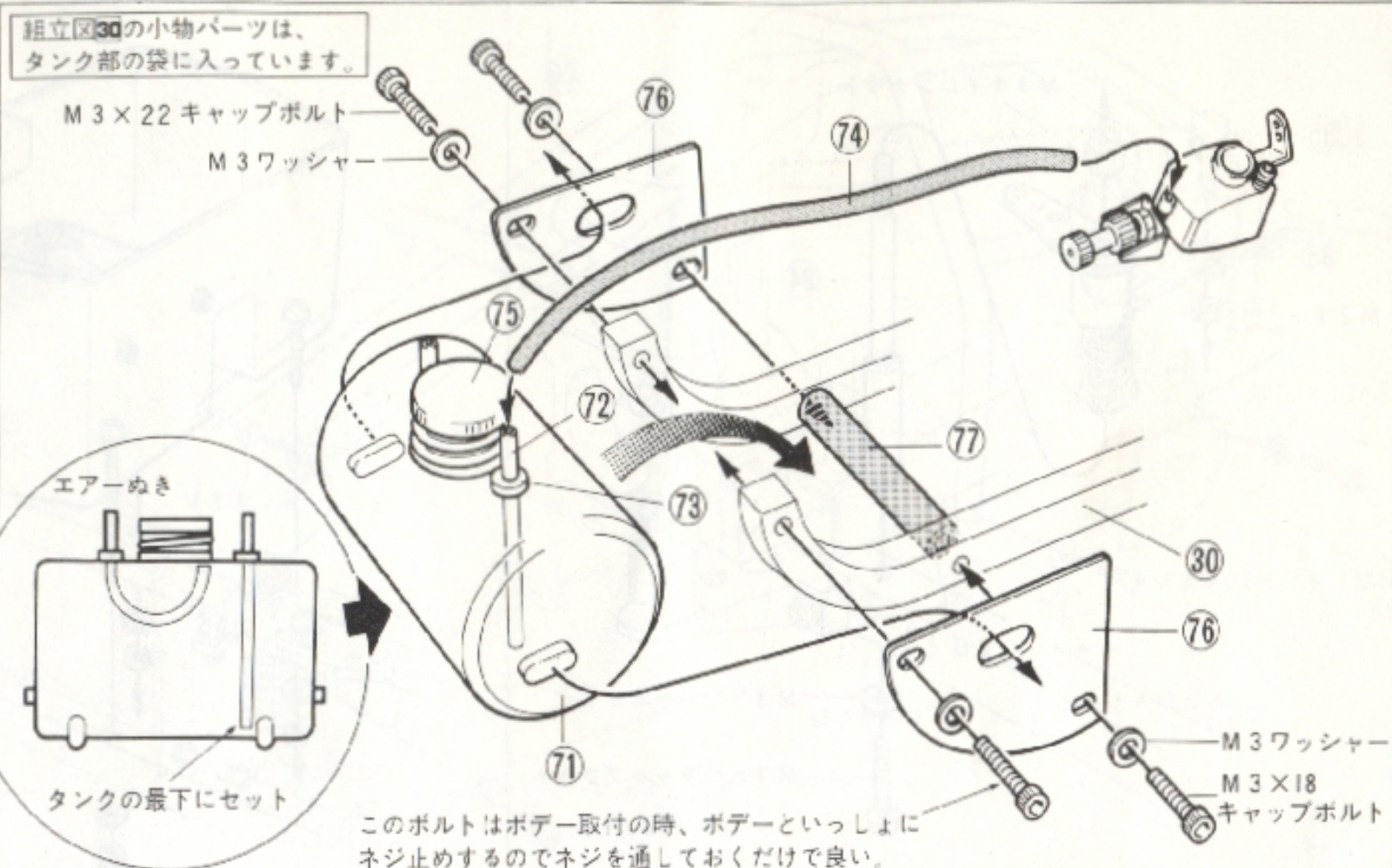
27 ドライブ用チェーン⑥⑩を図のように各スプロケットギヤにセットし、チェーンジョイント⑥①A、⑥①Bを通し、チェーンクリップ⑥②で接続する。チェーン⑥⑩の接続が終わったら、チェーンの張り具合をフロントアクセル①及びテンショナーシャフト⑤⑤を移動させ調整する。



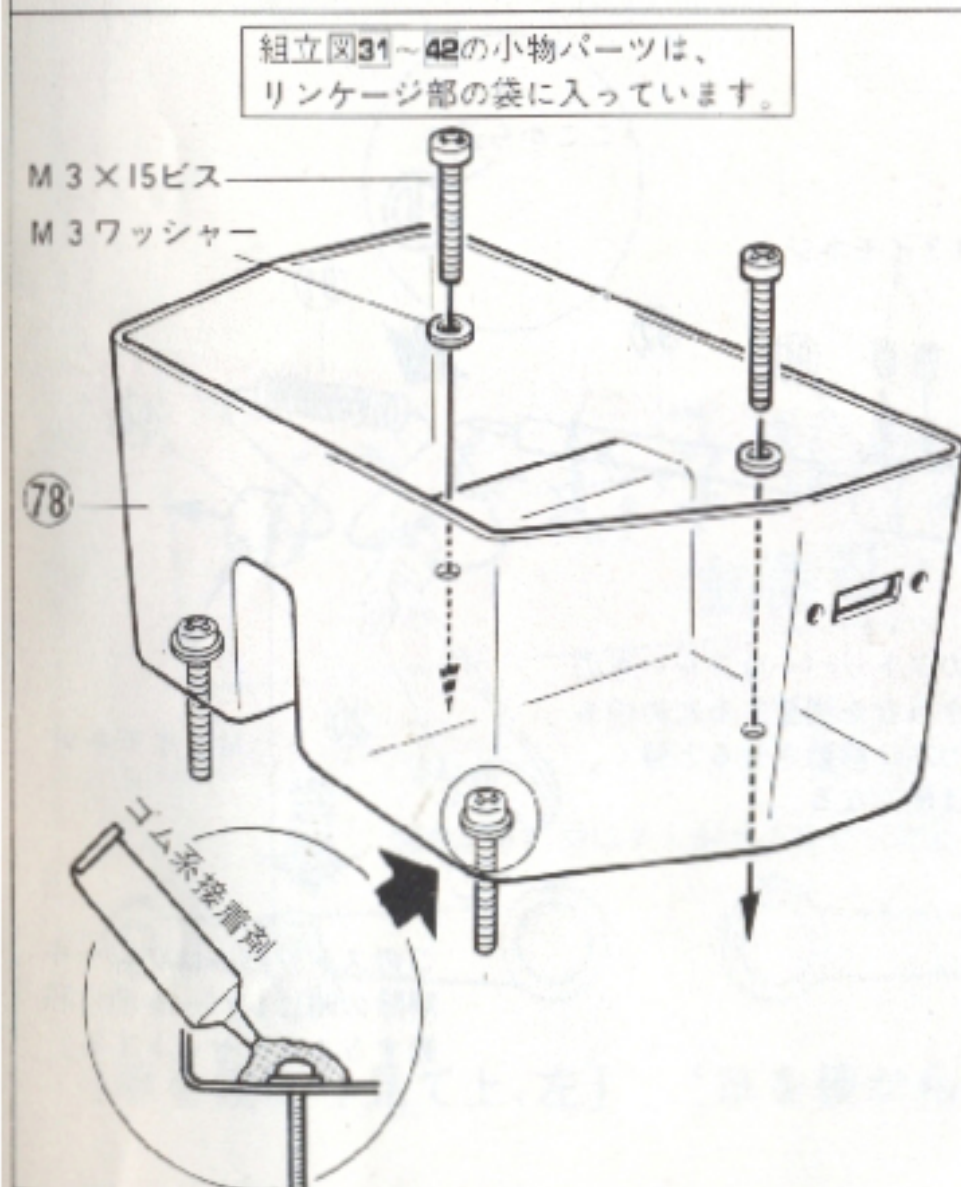
28 マフラー⑥⑦、⑥⑧を図のように組立てますが、排気側のパイプは燃料タンクに当たらないよう、上向きにセットして下さい。また、マフラーの接続部にバスコーク等を塗り排気もれを防ぐとよい。



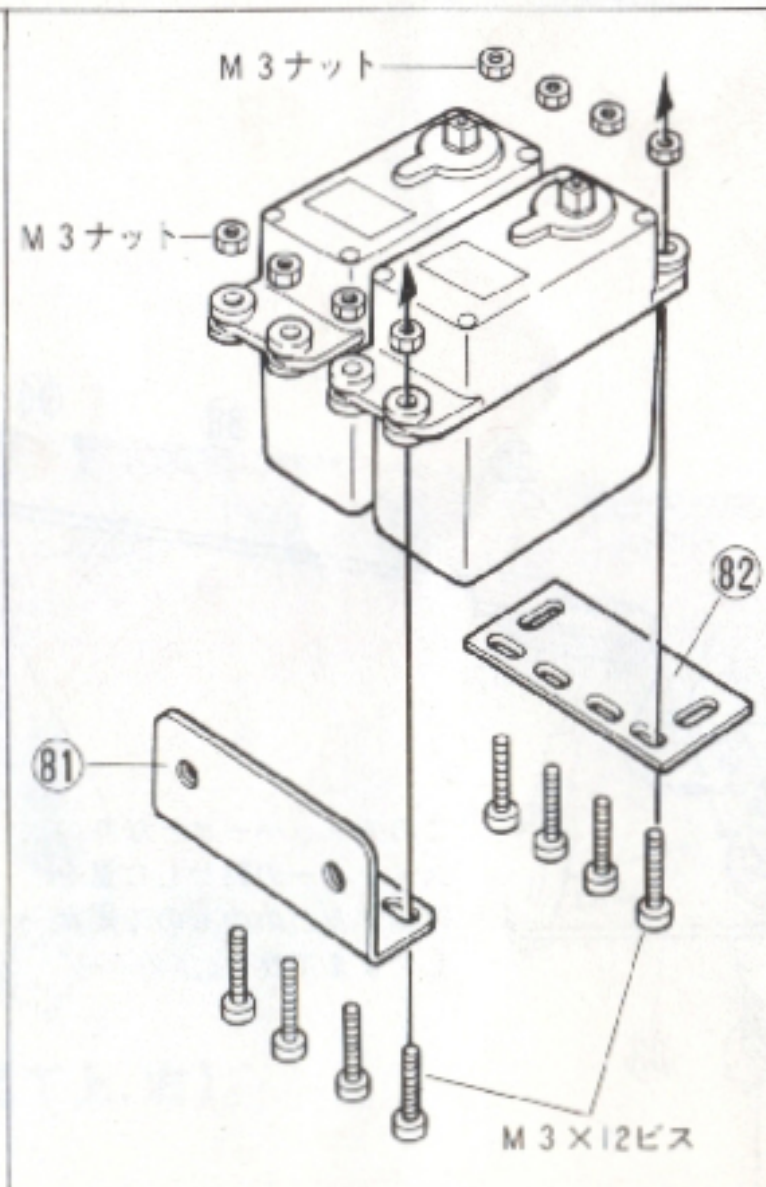
29 マフラーパイプ⑥⑨をマフラーアダプター⑥③とマフラーを接続、マフラー本体をマフラスター②②へ取付ける。



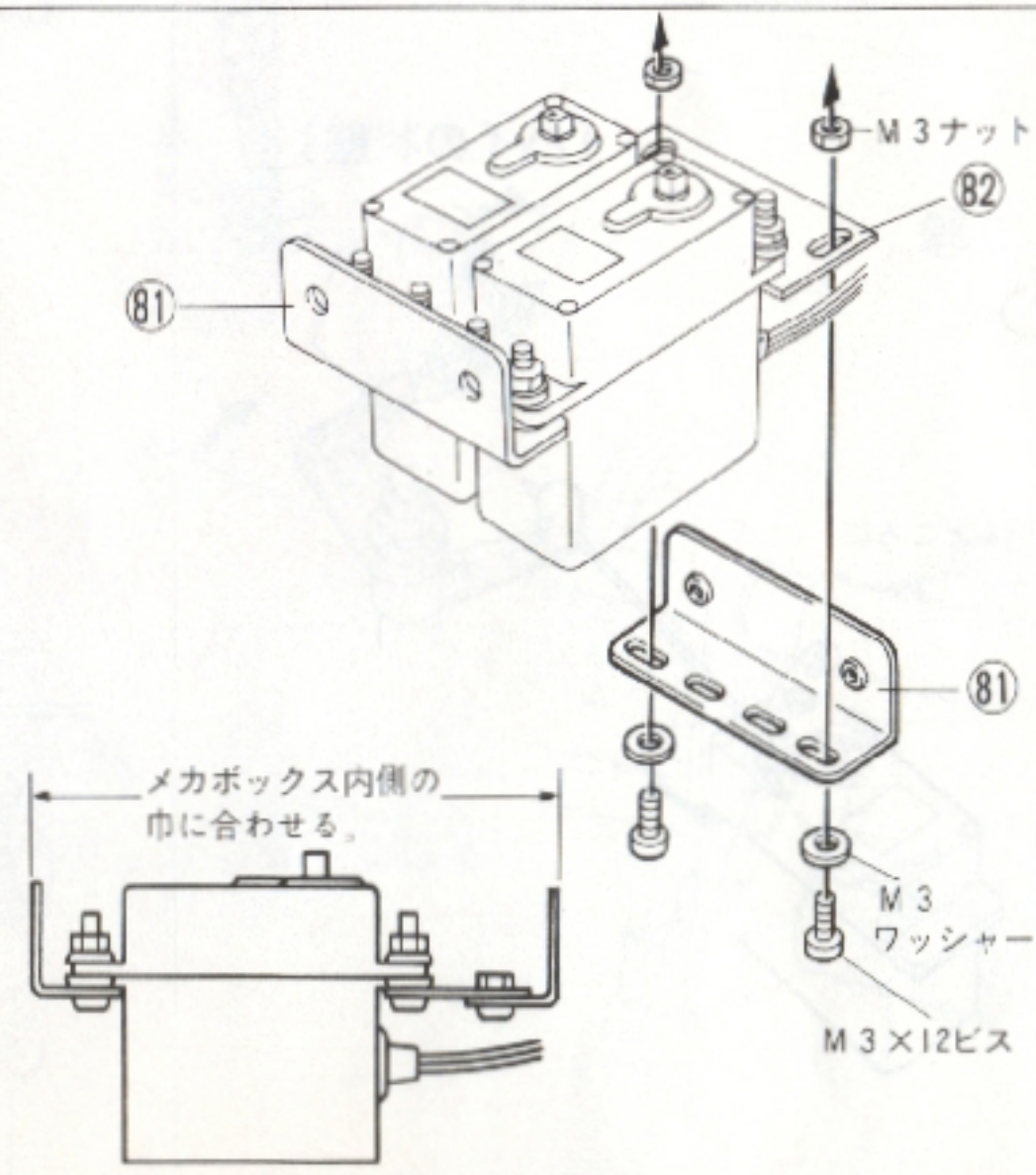
30 燃料タンク⑦①へブッシュ⑦③、パイプ⑦②、キャップ⑦⑤等のパーツを図のように取付ける。つぎに燃料タンク⑦①の凸部と、燃料タンク取付け板⑦⑥の凹部を合わせ、タンクをはさむようにして、シャーシ③③の中にジョイントカラー⑦⑦をセットし、いっしょに取付ける。



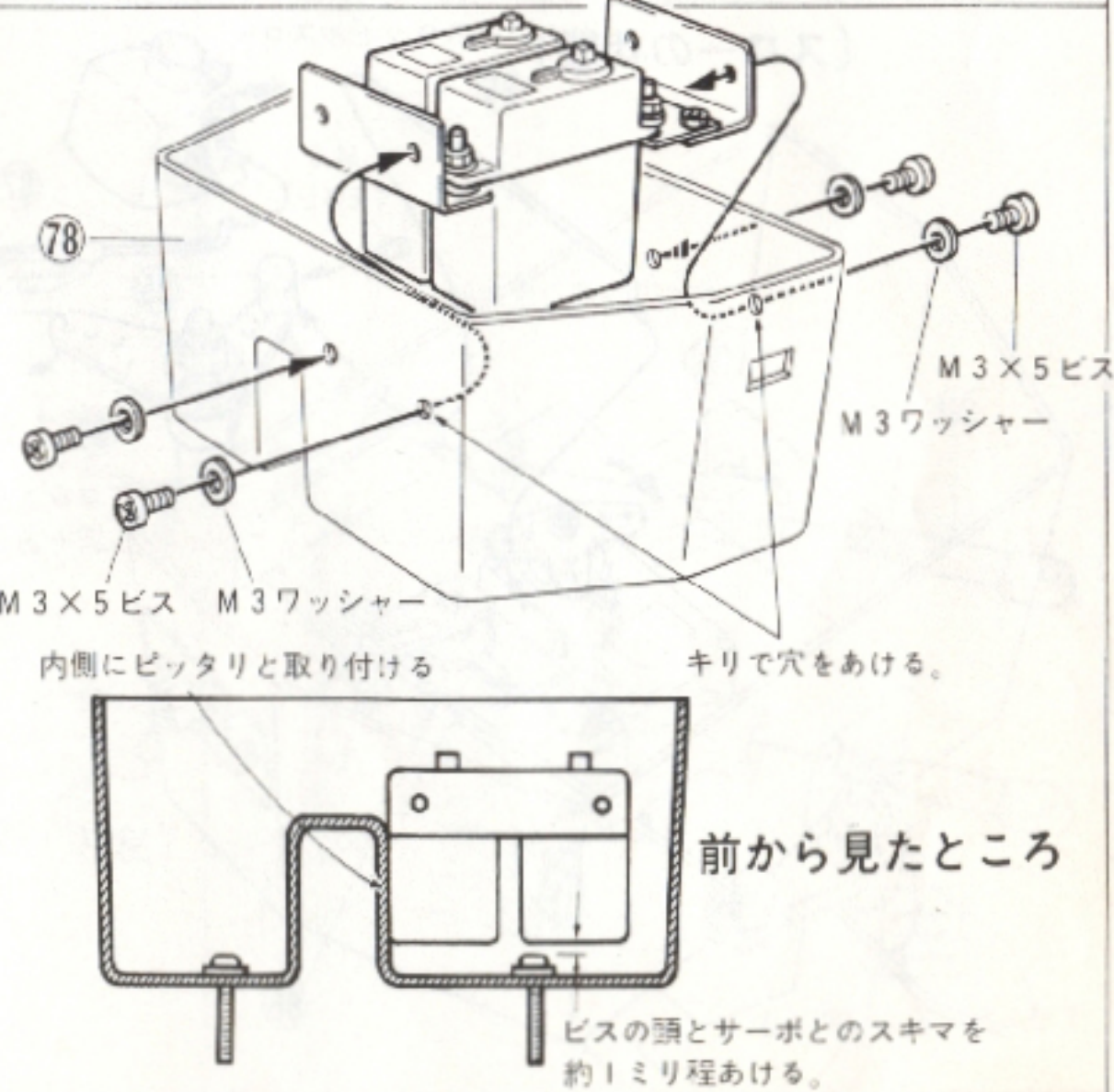
31 メカボックス⑦⑧にM3ワッシャー、M3×15ビスを図のように通し、ナットを締め付けてもゆるまないようゴム系の接着剤を塗り、ネジが廻らないように接着して下さい。



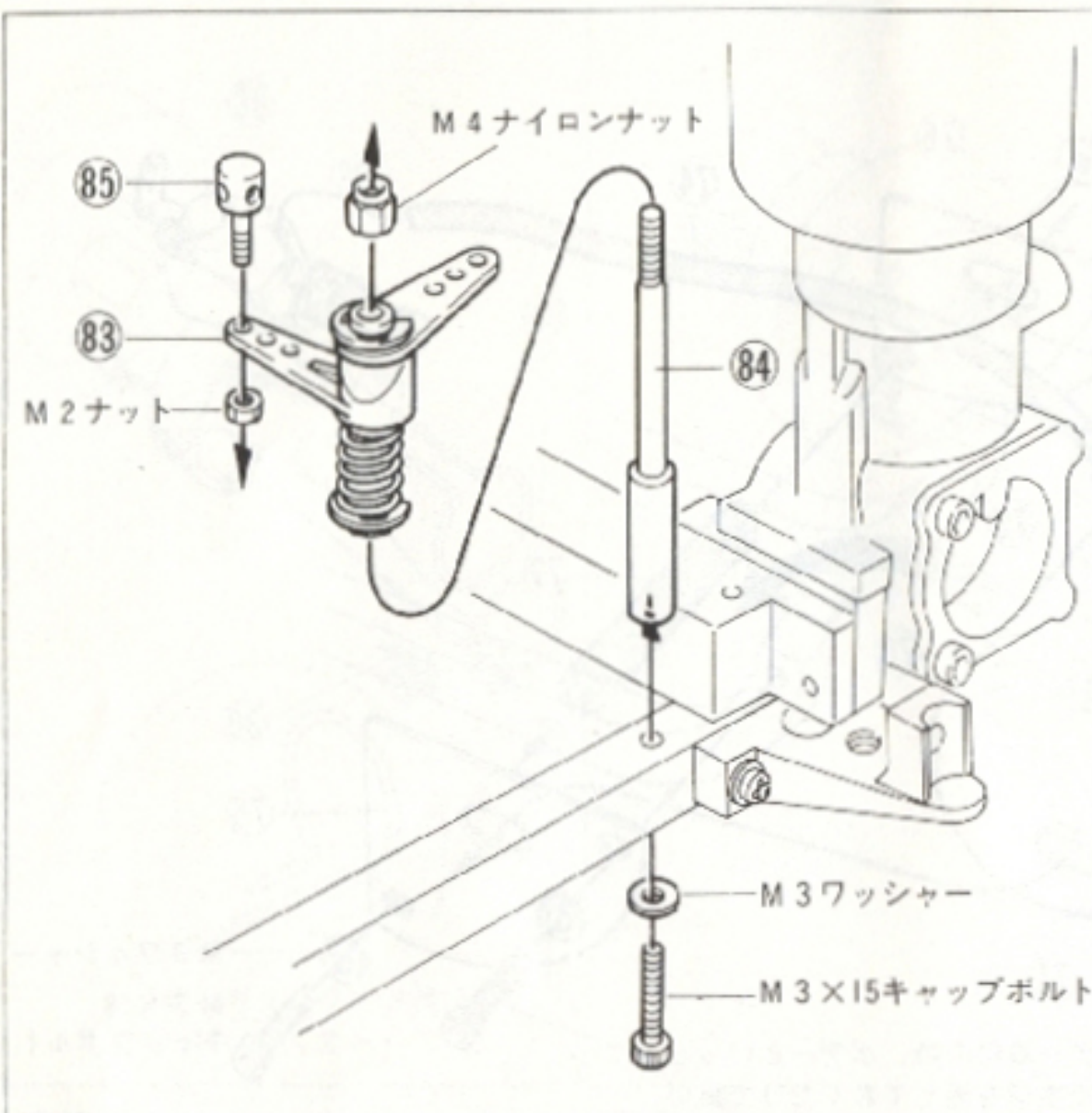
32 サーボの取付穴にサーボマウント⑧①、反対側にアジャストプレート⑧②をネジ止めする。



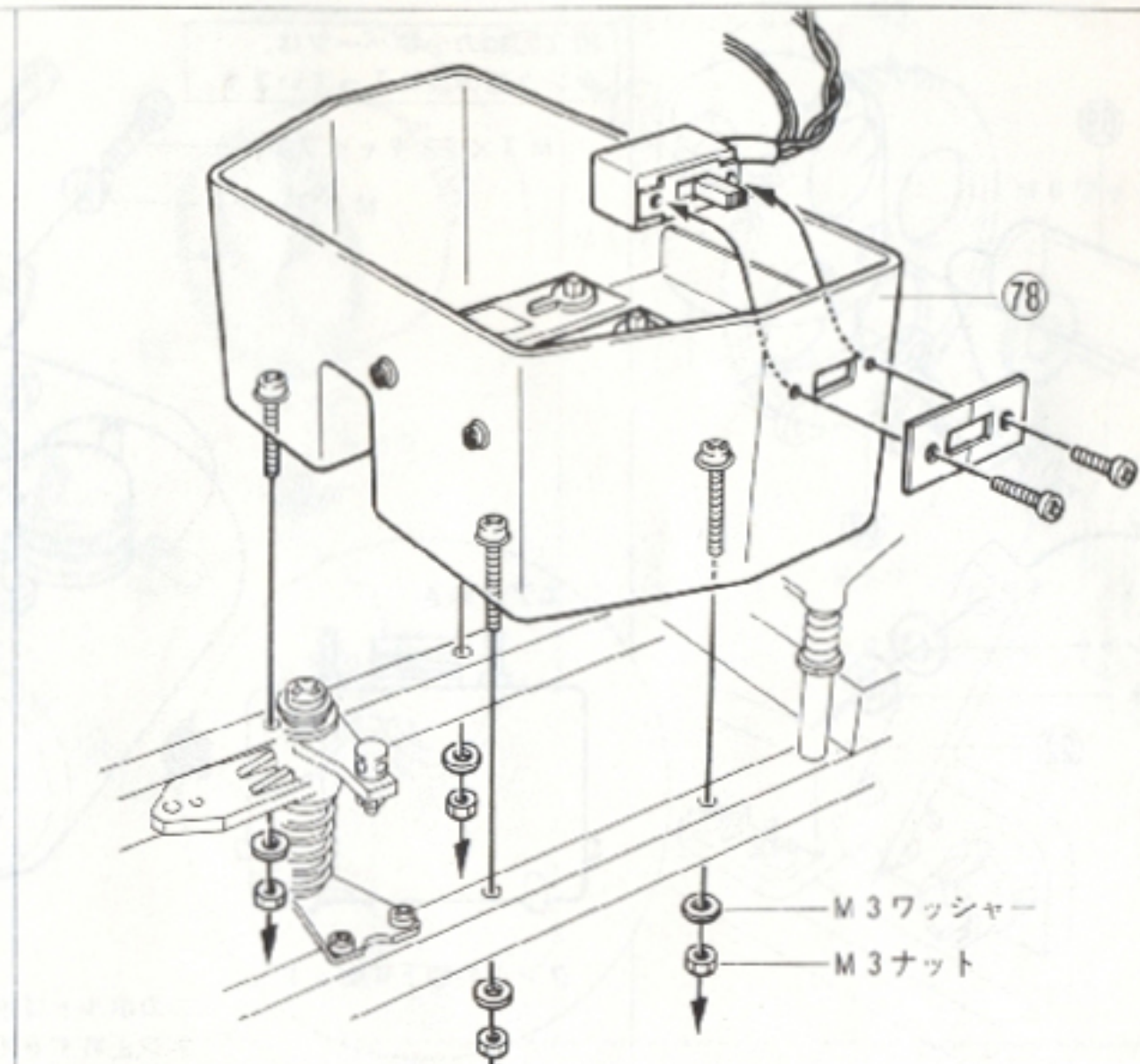
33 アジャストプレート⑧②へもう一枚のサーボマウント⑧①を図を参考に取付ける。



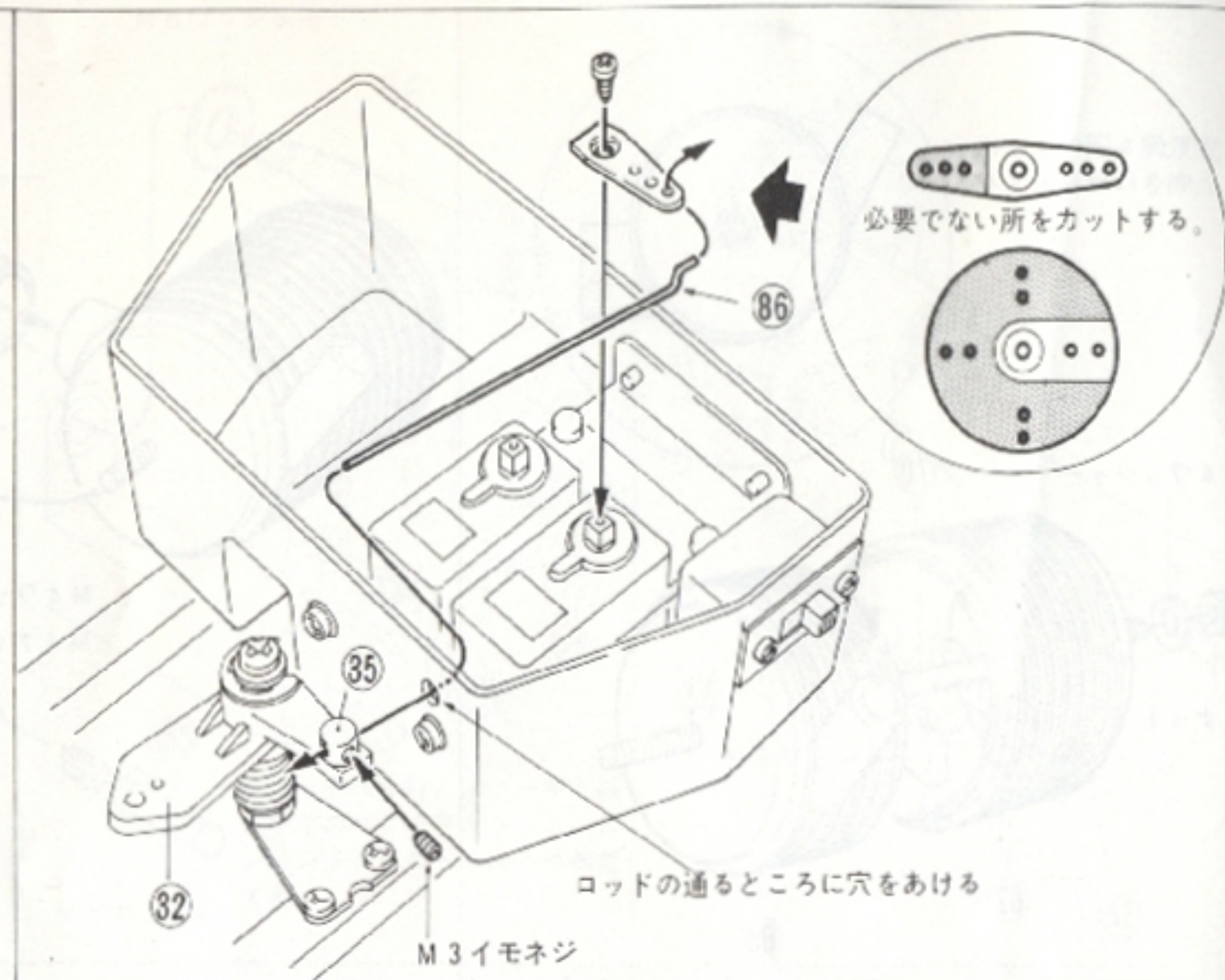
34 メカボックス⑦⑧へサーボを取付けますが、取付穴をキリ等であけますが、図をよく見てまちがいのないよう加工して下さい。



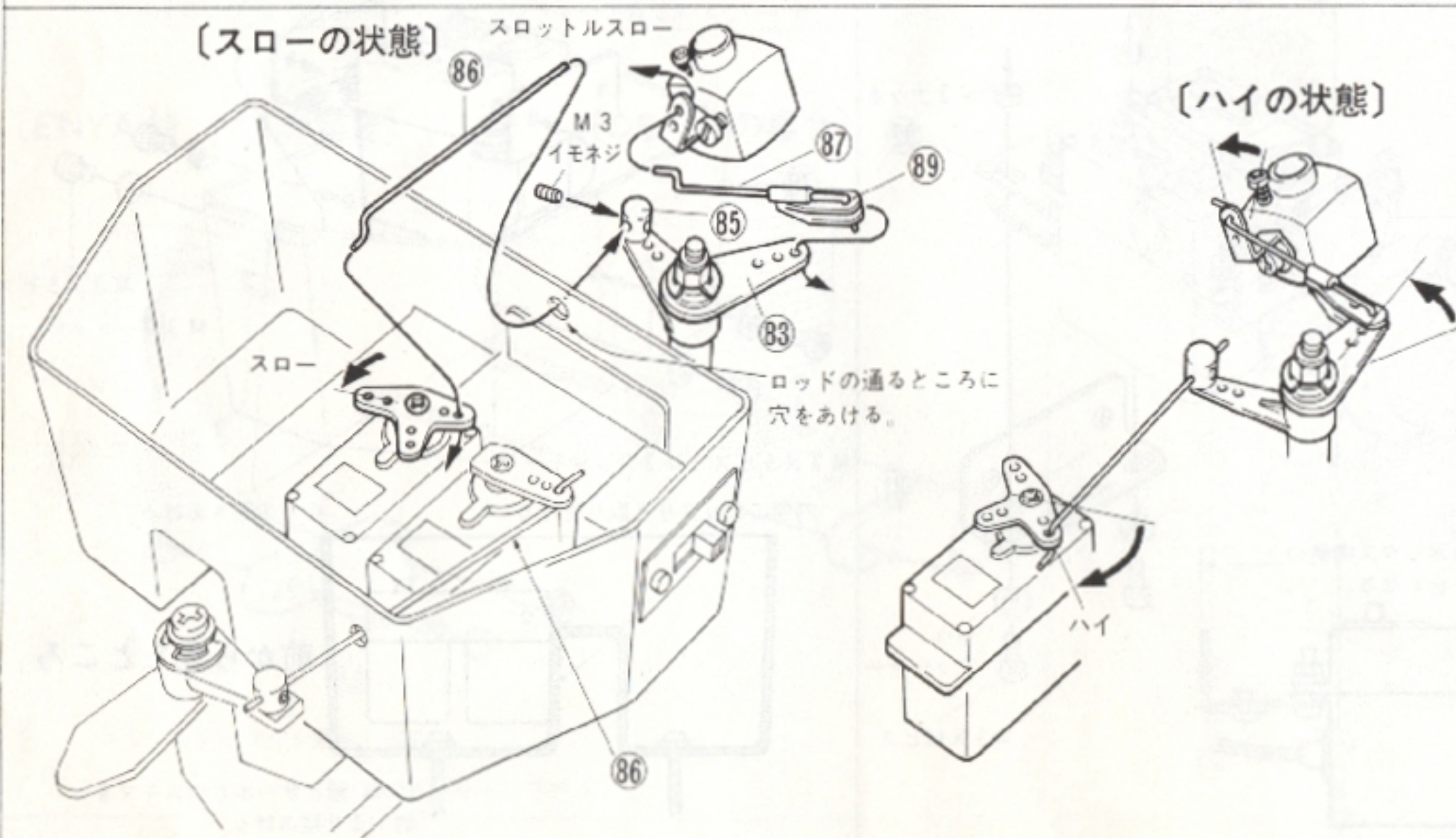
35 メインシャーシーにエンコンサーボセーバー取付シャフト⑧④を取付け、エンコンサーボセーバー⑧③に図のようにリンクージガイド⑧⑤を軽く動く程度に取付け、⑧④のシャフトに入れ、M4ナイロンナットで取付けるが、サーボセーバーが軽く動くようM4ナイロンナットを締めすぎないよう注意する。



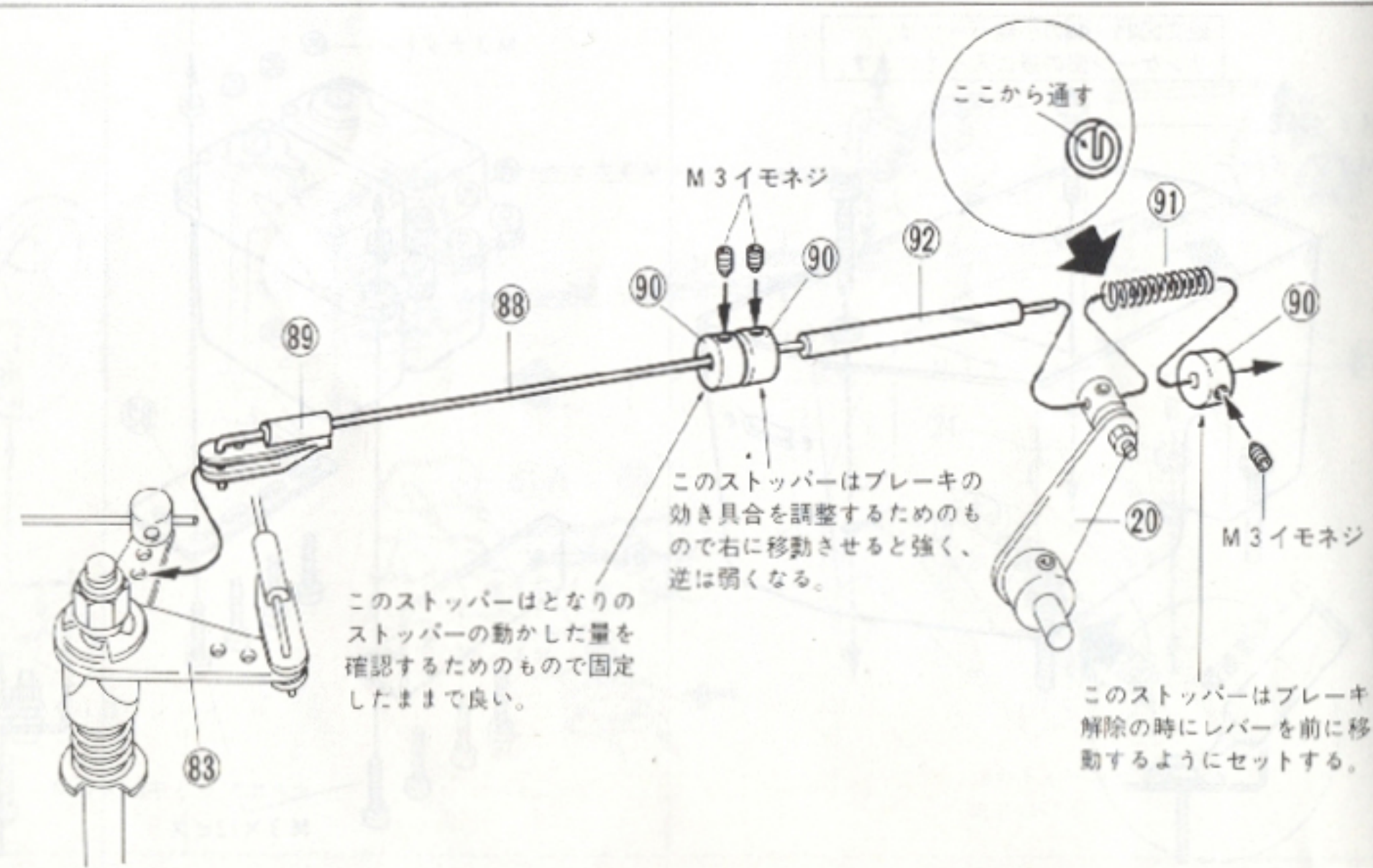
36 メカボックス⑦⑧をメインシャーシーに取付ける。プロポ用スイッチを⑦⑧のようにメカボックス⑦⑧の横に取付ける。



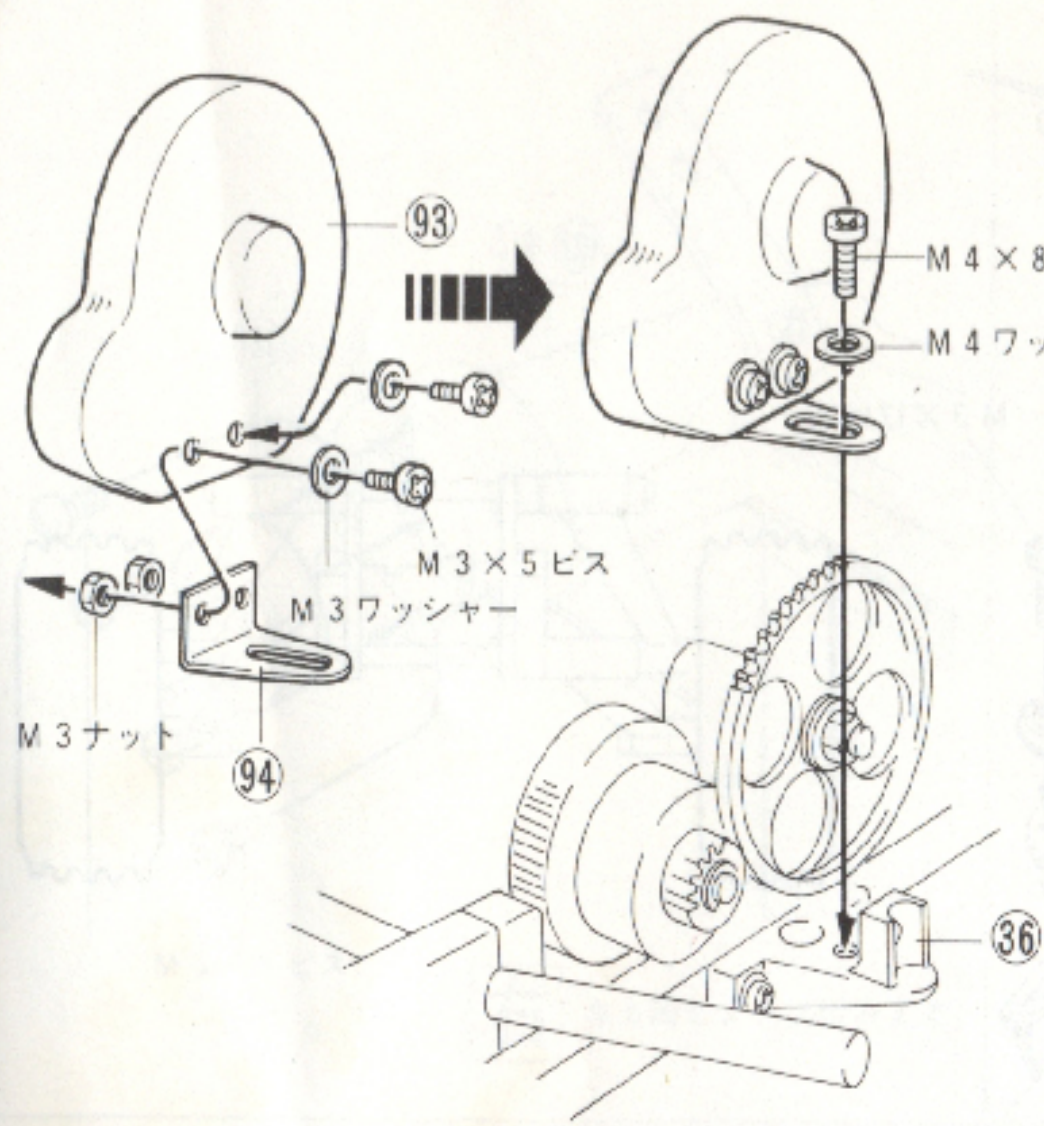
37 サーボホーン及びサーボセーバー③②を中立にしておき、図のようにリンクージロッド⑧⑥を通し、リンクージガイド③⑤にM3イモネジでロッドを固定する。



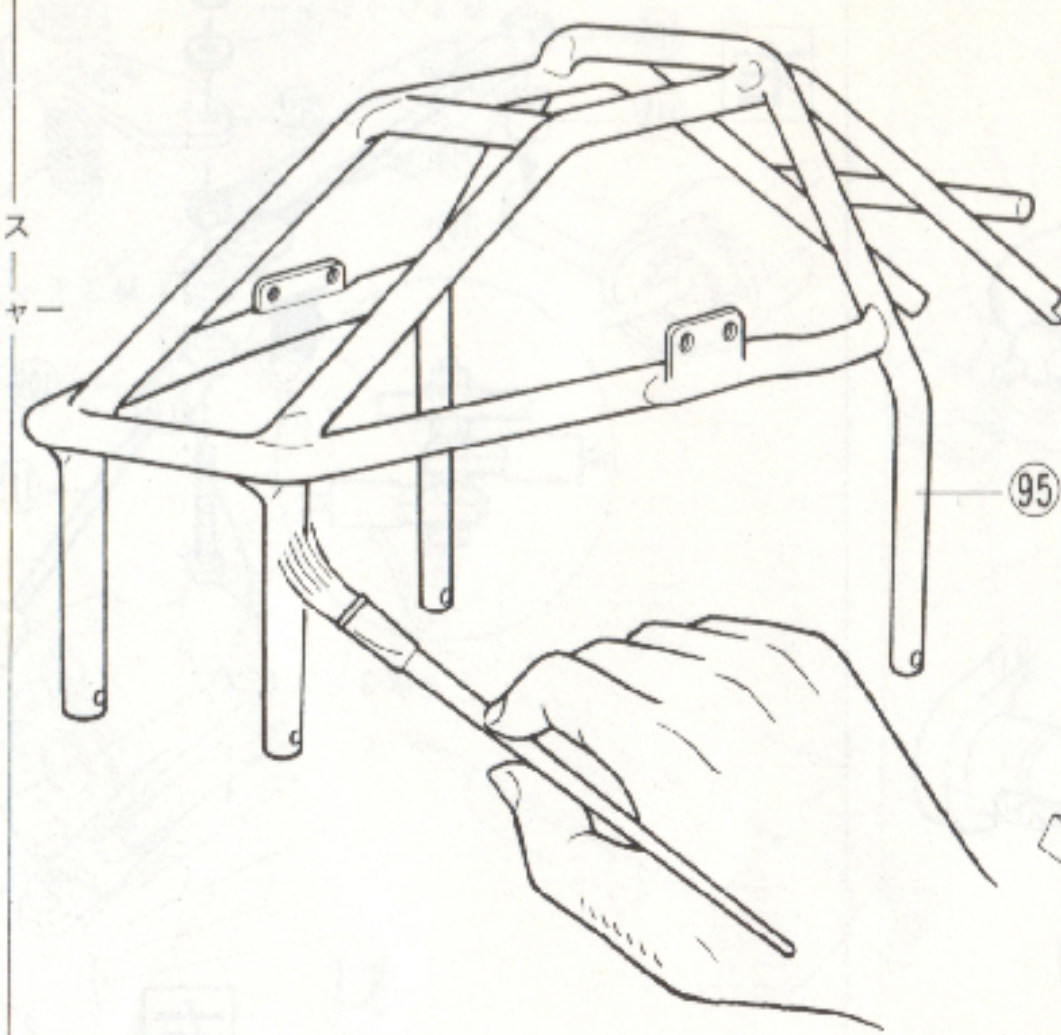
38 エンコンサーボをスローの状態にして置き、エンコンサーボセーバーのリンクージガイド⑧⑤とサーボホーンをリンクージロッド⑧⑥で接続、M3イモネジを固定する。つぎにエンジンのスロットルレバーとサーボセーバー⑧③を接続する。おのおののリンクージロッドは長めになっております。長さを合わせてカットして使用して下さい。



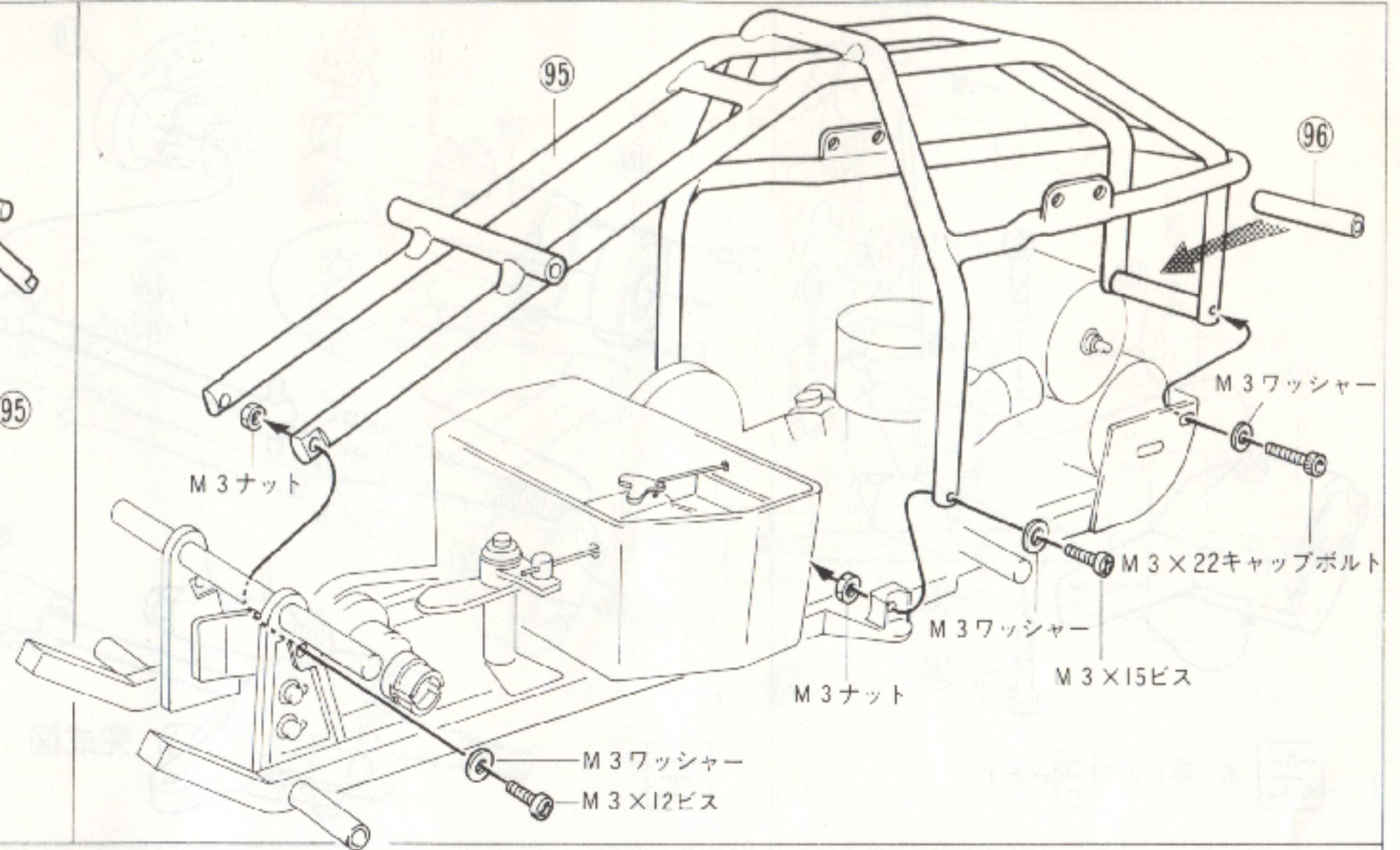
39 ブレーキホーン②⑩とエンコンサーボセーバー⑧③を接続しますが、まずエンコンサーボをスローの状態にして置き、図のように接続します。リンクージロッド⑧⑧がエンジン等に当たる場合は、曲げてスムーズに動くようにする。



40 ギヤカバー⑨③にギヤカバーステア⑨④を取付け、各ギヤに合わせ当たらないようサイドメンバー③⑥に取付ける。

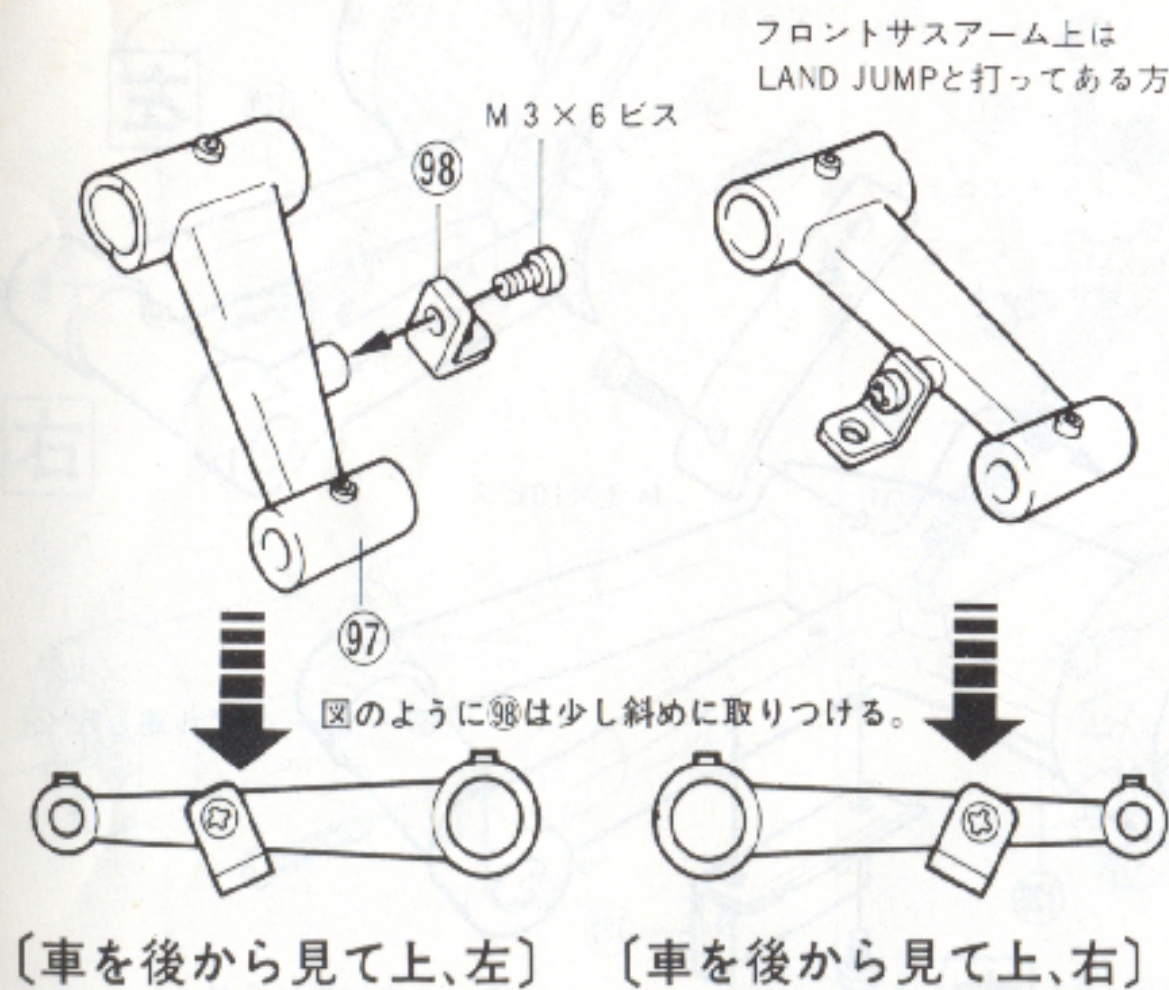


41 ボデー⑨⑤を塗装しますが、塗装のまえに、シャーシの取付穴とボデーの取付穴が合っているかを確認し、ズレている場合は、ベンチ等を使い、修正して下さい。また塗装の前によごれ、油等を中性洗剤で洗い、きれいにする。塗料は燃料に犯されないエンビ系の塗料(エンジンカラー等)を使用して下さい。

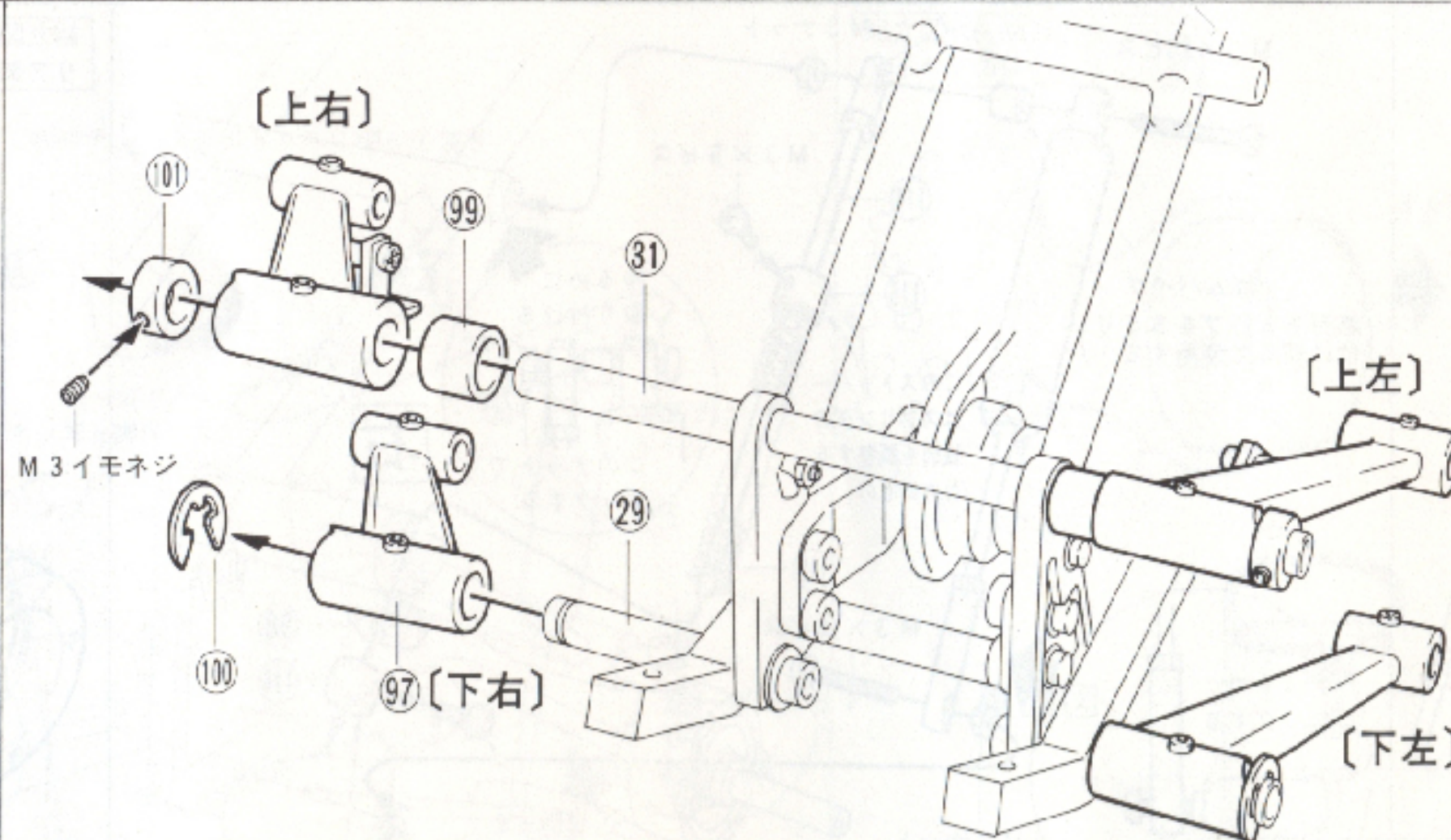


42 ボデー⑨⑤をシャーシに図のように取付けます。後部はジョイントカラー⑨⑥を使う。

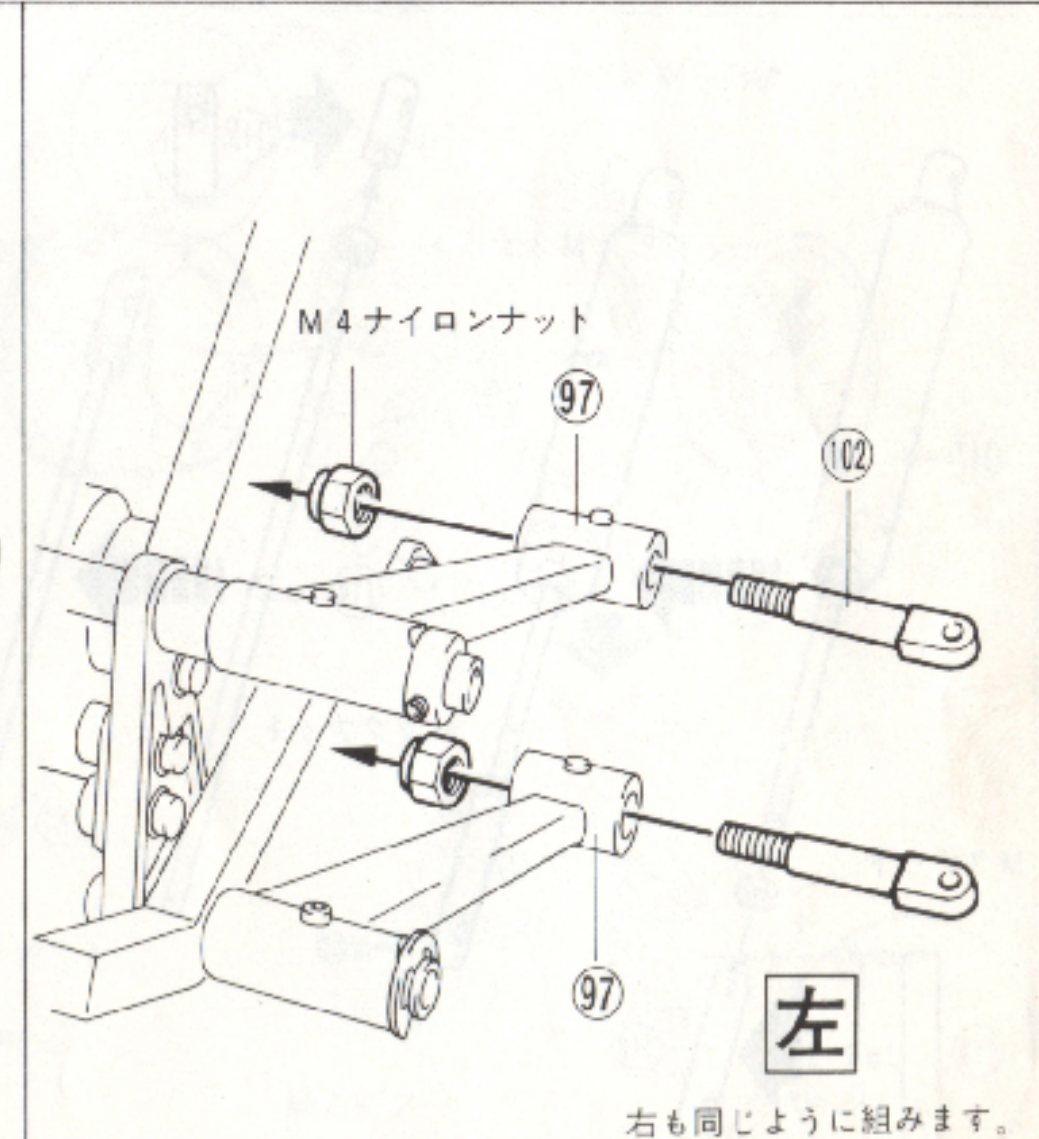
組立図④③～⑤①の小物パーツはフロント部(C)の袋に入っています。



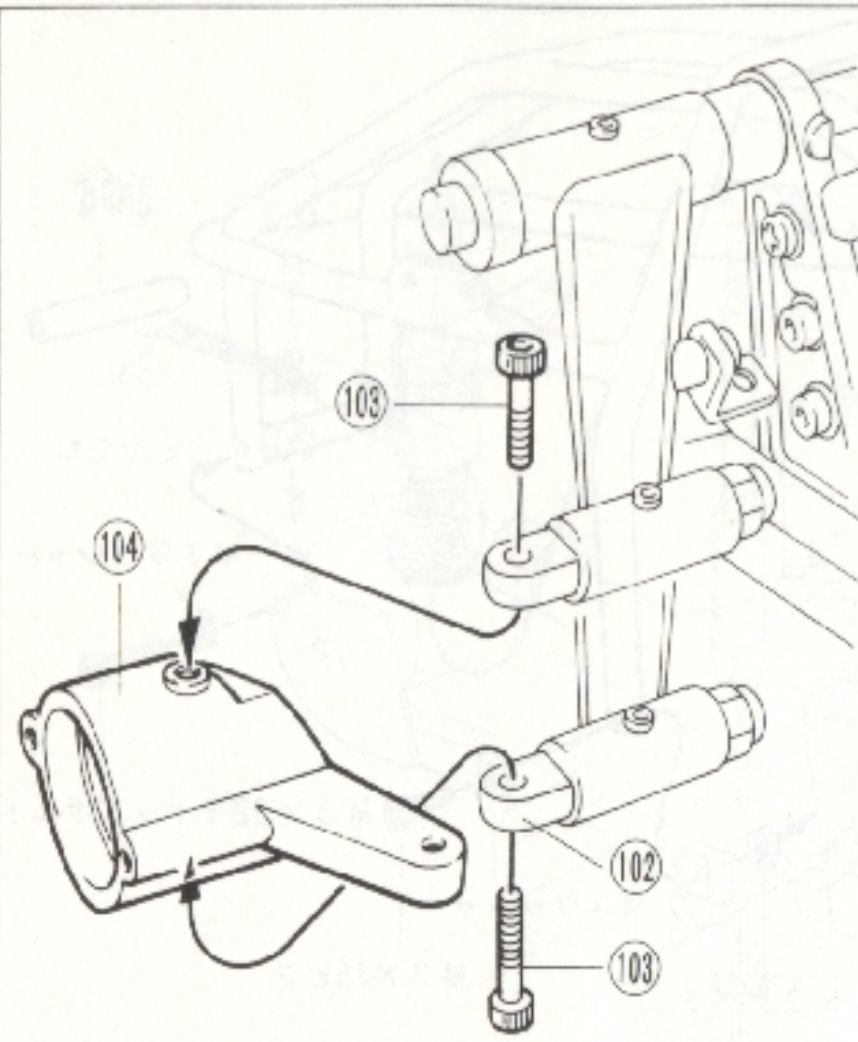
43 フロントサスアーム⑨⑦にフロントスプリングステー⑨⑧を取付けますが、図のように多少斜めに取付ける。
(注) LAND JUMPと打ってある方が上側です。



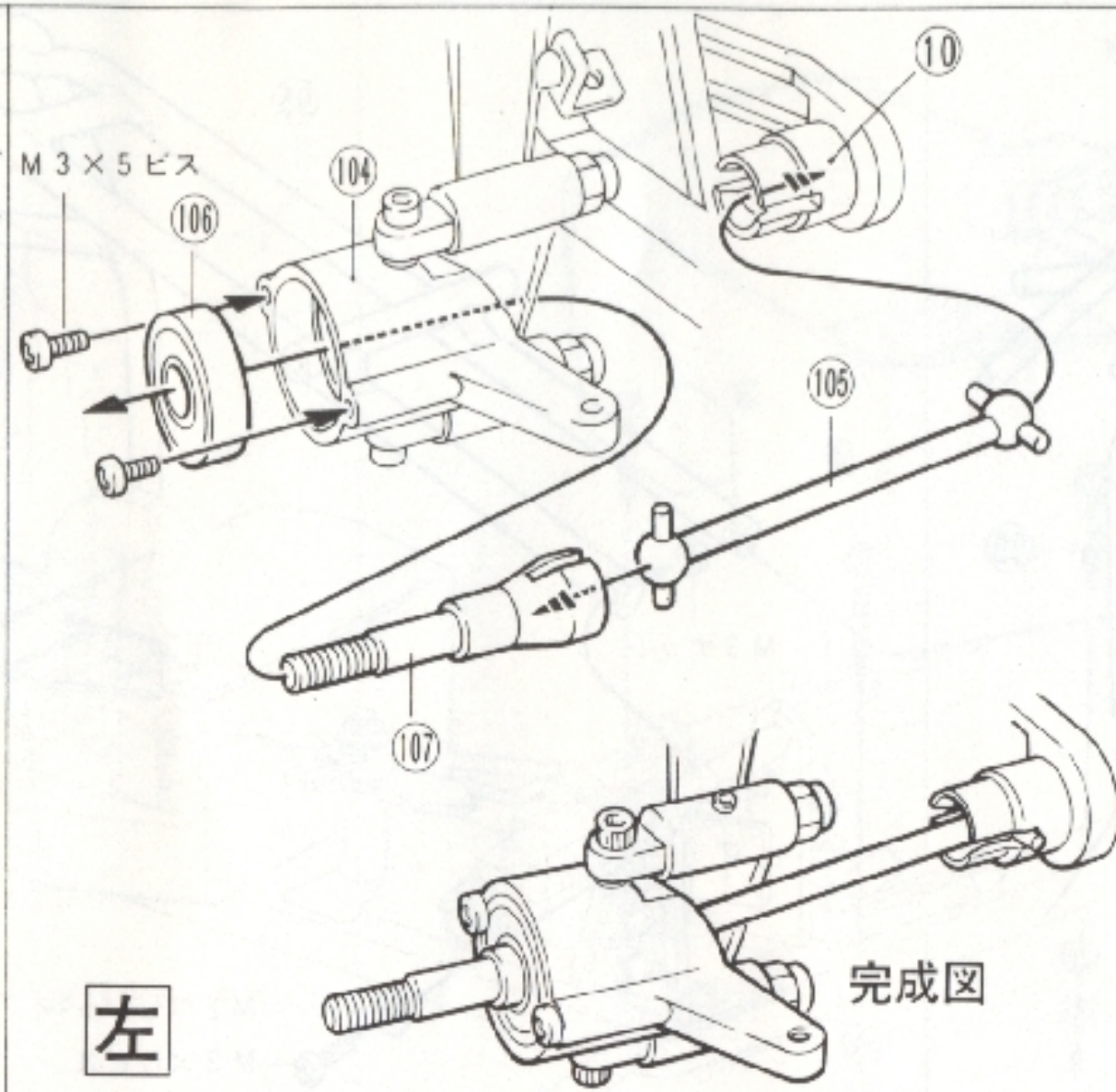
44 組立図④③で組立てたフロントサスアーム(上左)、(上右)の方向を確認して、図のようにアームをセットして下さい。⑩の8φストッパーは横にガタのない程度にセットし、サスアームが上下にスムーズに動くようにする。



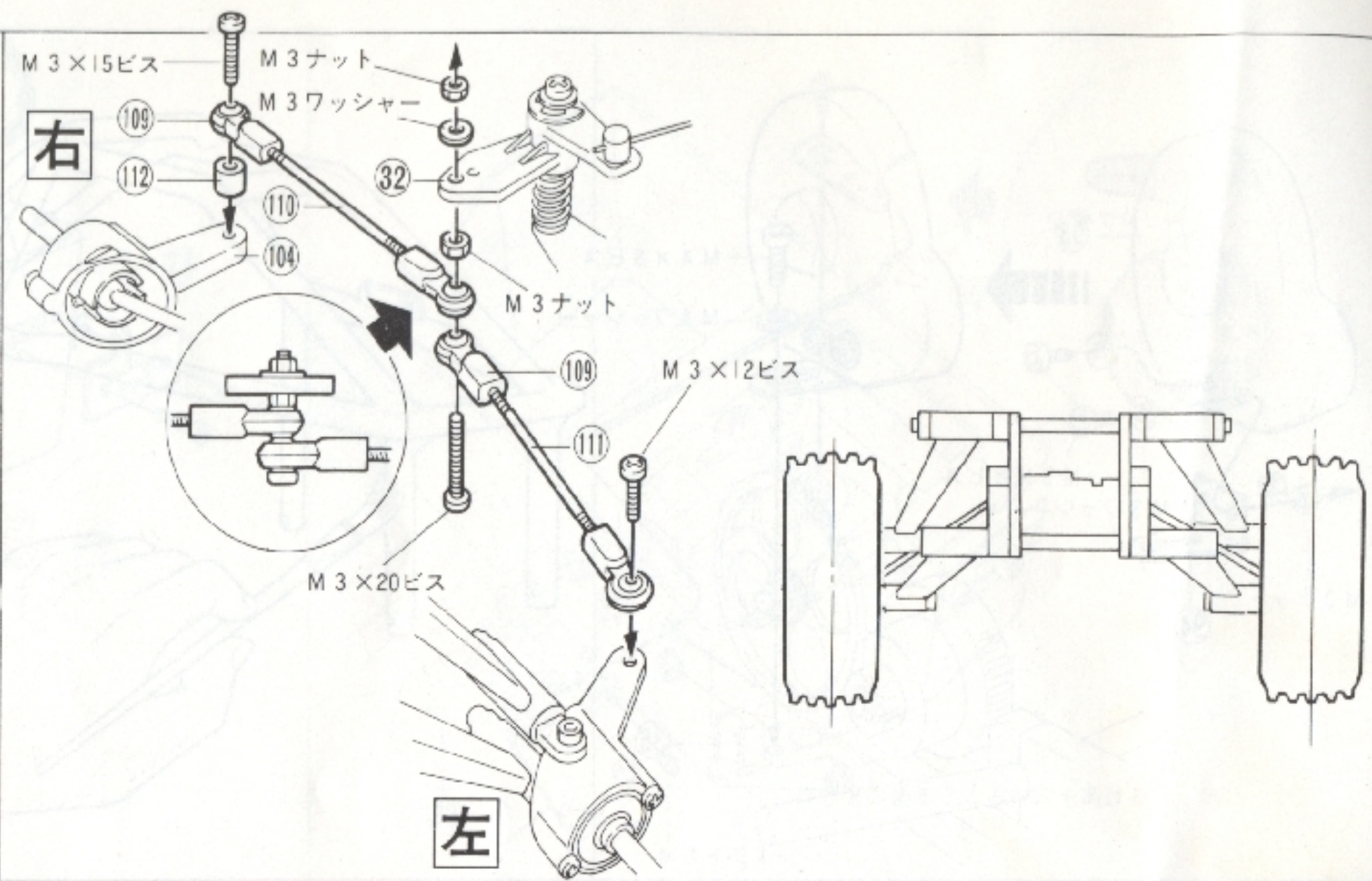
45 キングピン受⑩②をフロントサスアーム⑨⑦に取付けるが、M4ナイロンナットはキングピン受⑩②が軽く廻るよう、また横ガタのないようにセットする。



左 右も同じように組みます。



左 完成図

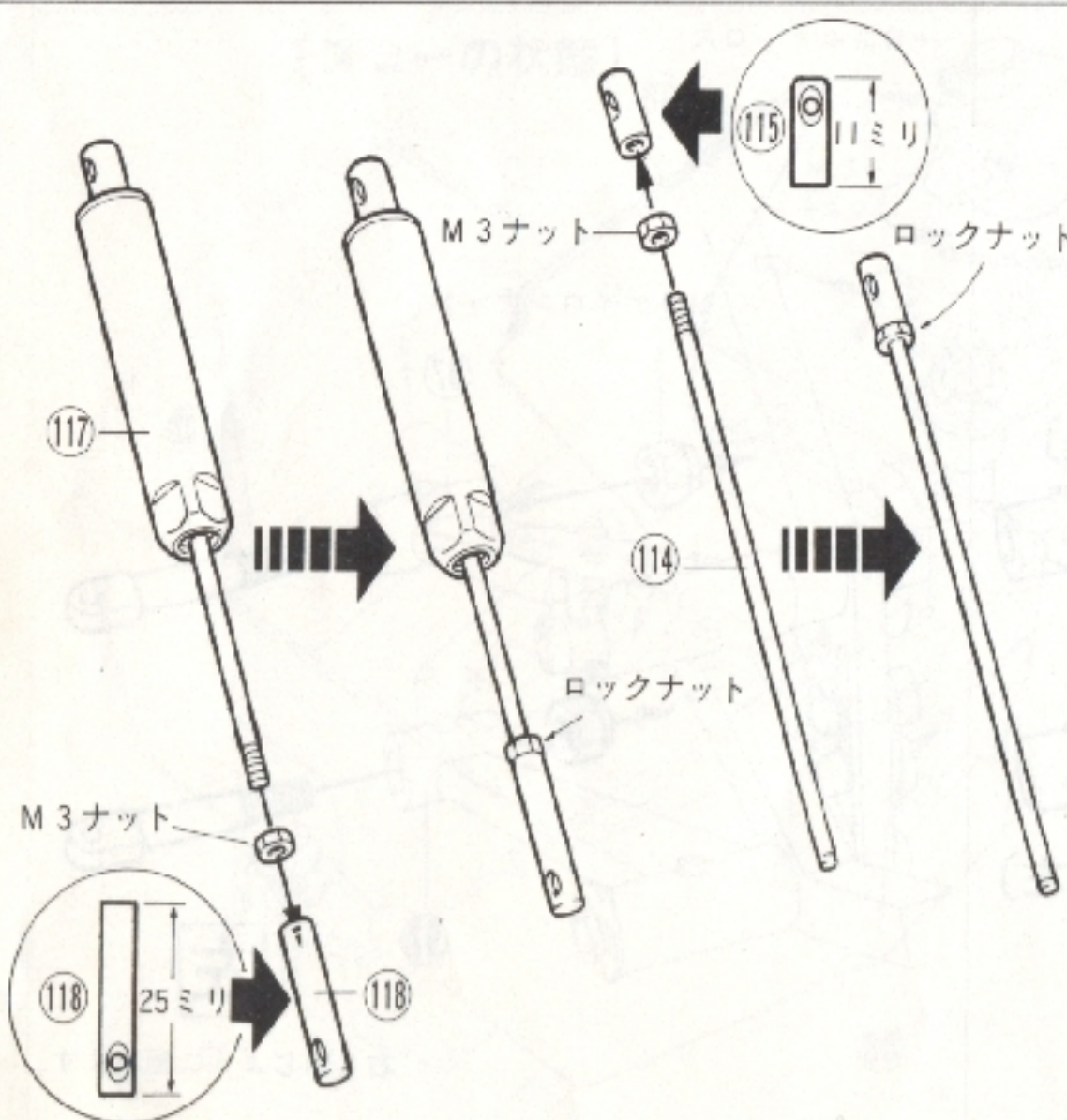


左

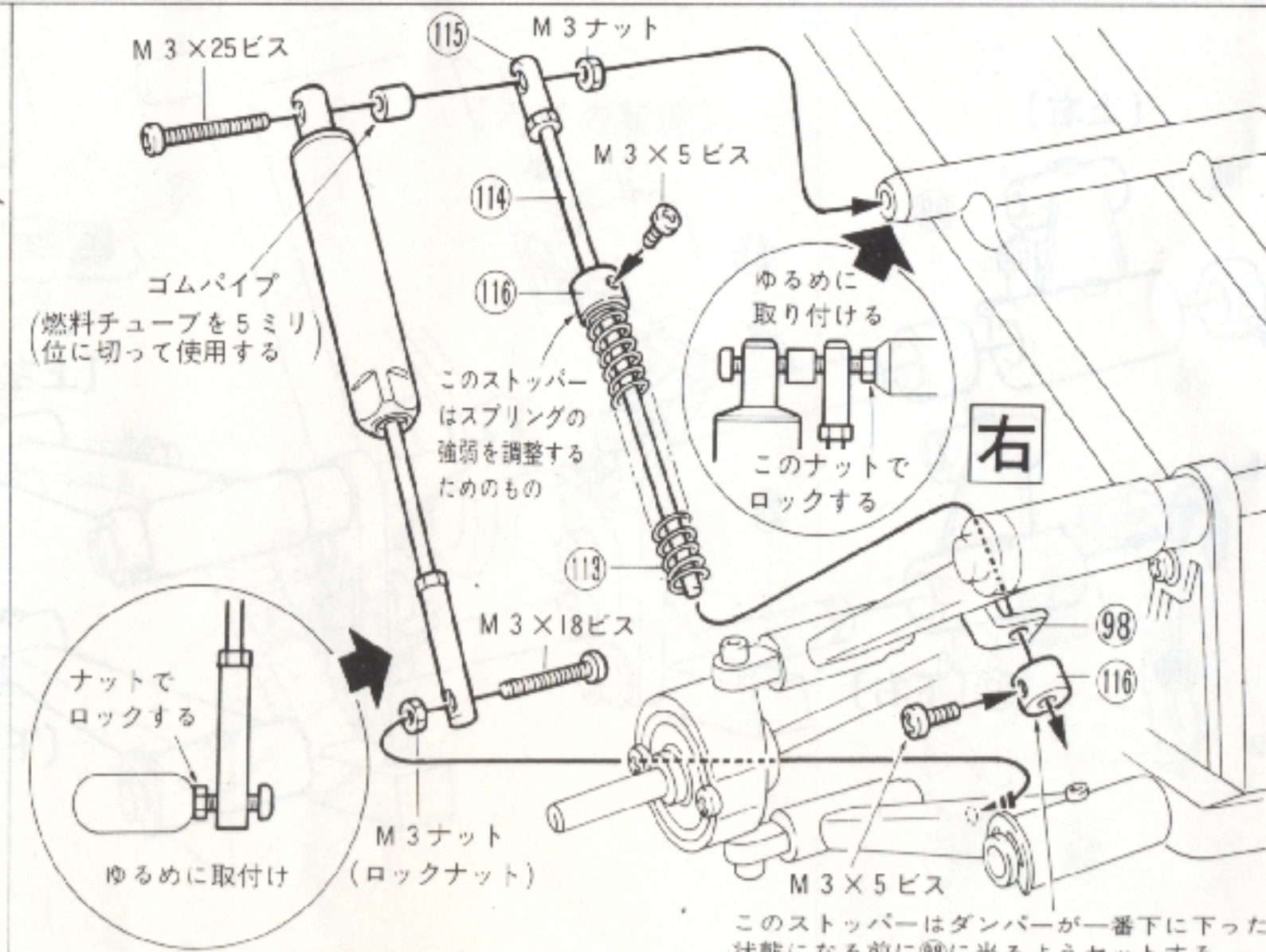
46 フロントハブ(104)を図のように組立ますが、キングピン(103)をいっぱい締め込むとフロントハブ(104)が動かなくなります。フロントハブ(104)がガタのない程度に軽く動くようセットし、キングピン(103)をゆるまないようアロンアルファ等でロックして下さい。

47 スイングシャフト(105)をジョイント(10)に入れ、もう一方をフロントホイールシャフト(107)に入れ、フロントホイールシャフトベアリング(106)でフロントハブ(104)にセットし取付ける。

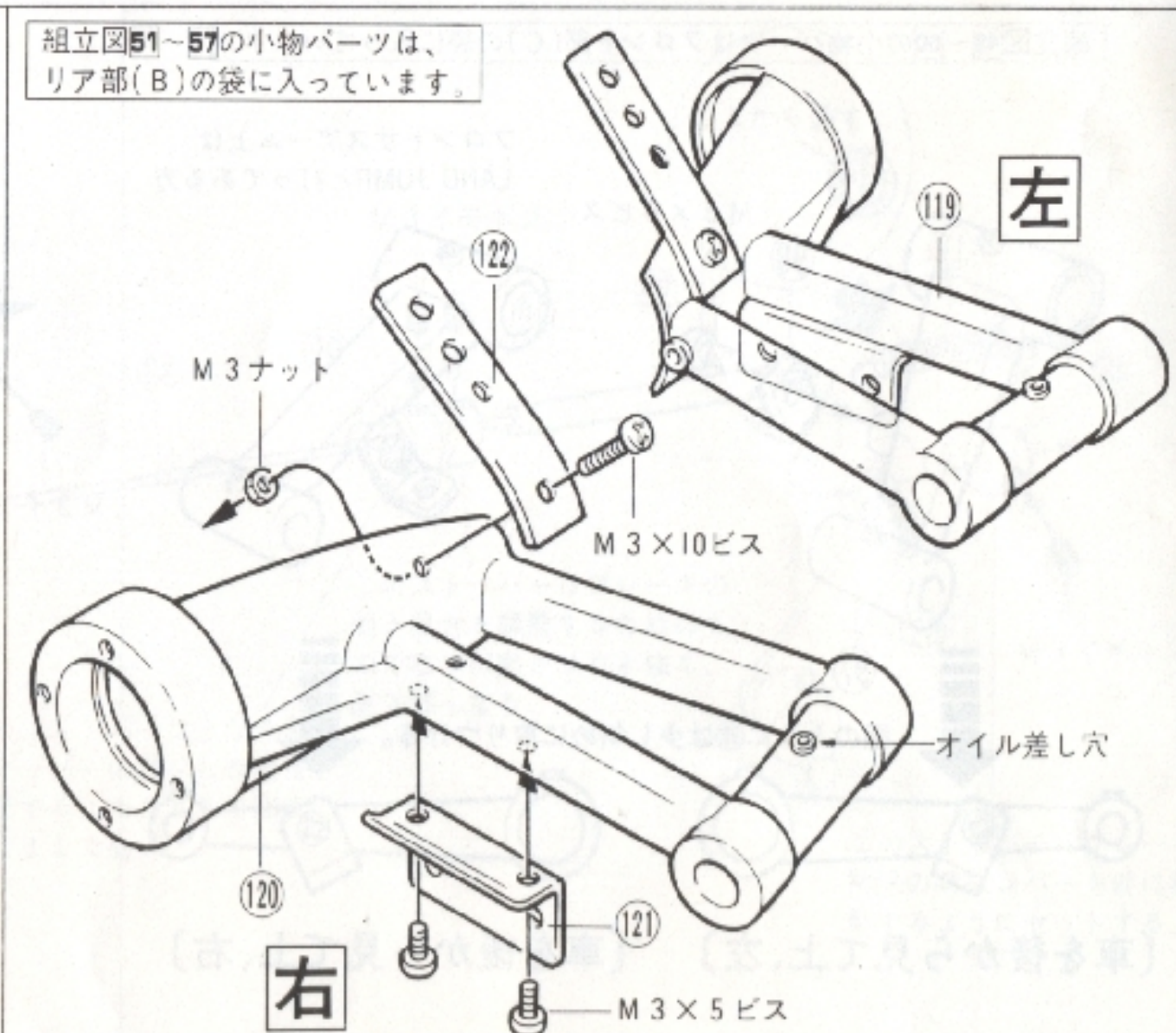
48 M3×20ビスにボールリンク(109)を通し、M3ナットでいっぱい締める。つぎにM3×20ビスの先をサーボセーバー(32)に通し、M3ナットで固定する。フロントハブ(104)と接続するまえにタイロッドの長さを調整、フロントタイヤが約1°位のトーインが付くようセットしてボールリンク(109)を取付ける。右側のみにタイロッド取付スペーサー(112)を使用する。



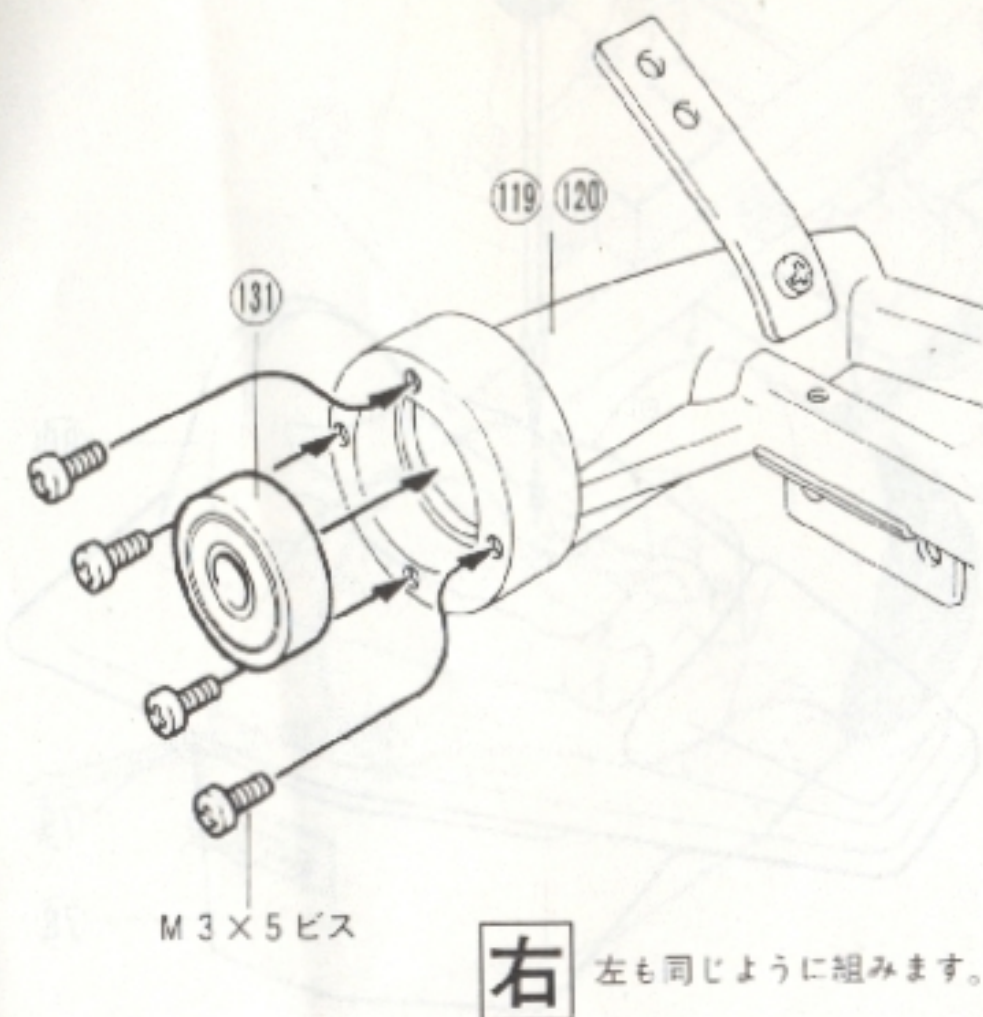
49 オイルダンパー(117)及びスプリングガイド(114)にM3シャフトエンド(118)を取付ける。取付け方法としM3ナットを奥までネジ込んでおき、M3シャフトエンド(118)又は(119)をいっぱいネジ込みます。いっぱい締まったらM3ナット(ロックナット)でゆるまないようロックする。



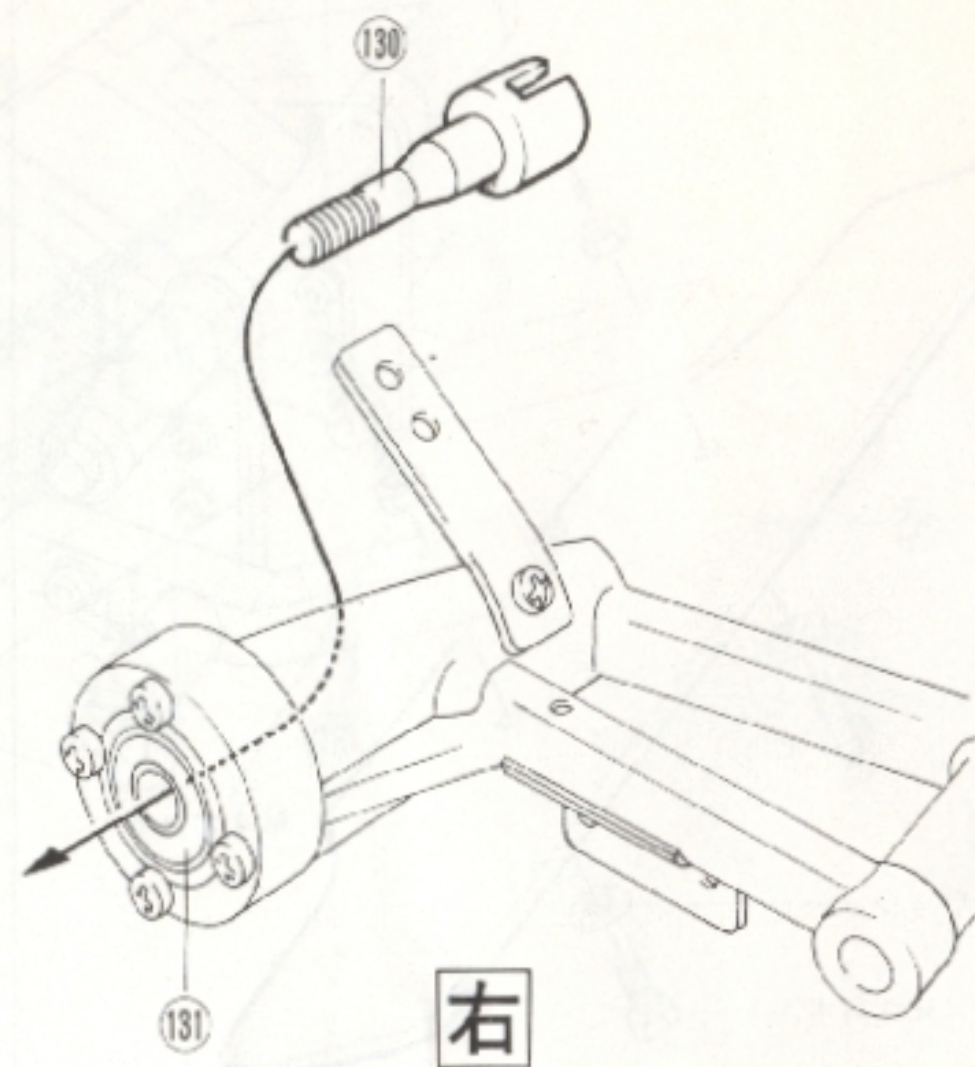
50 図のようにオイルダンパー(117)フロントスプリング(113)等をまちがいのないよう、じっくりと図を参考に組立てて下さい。



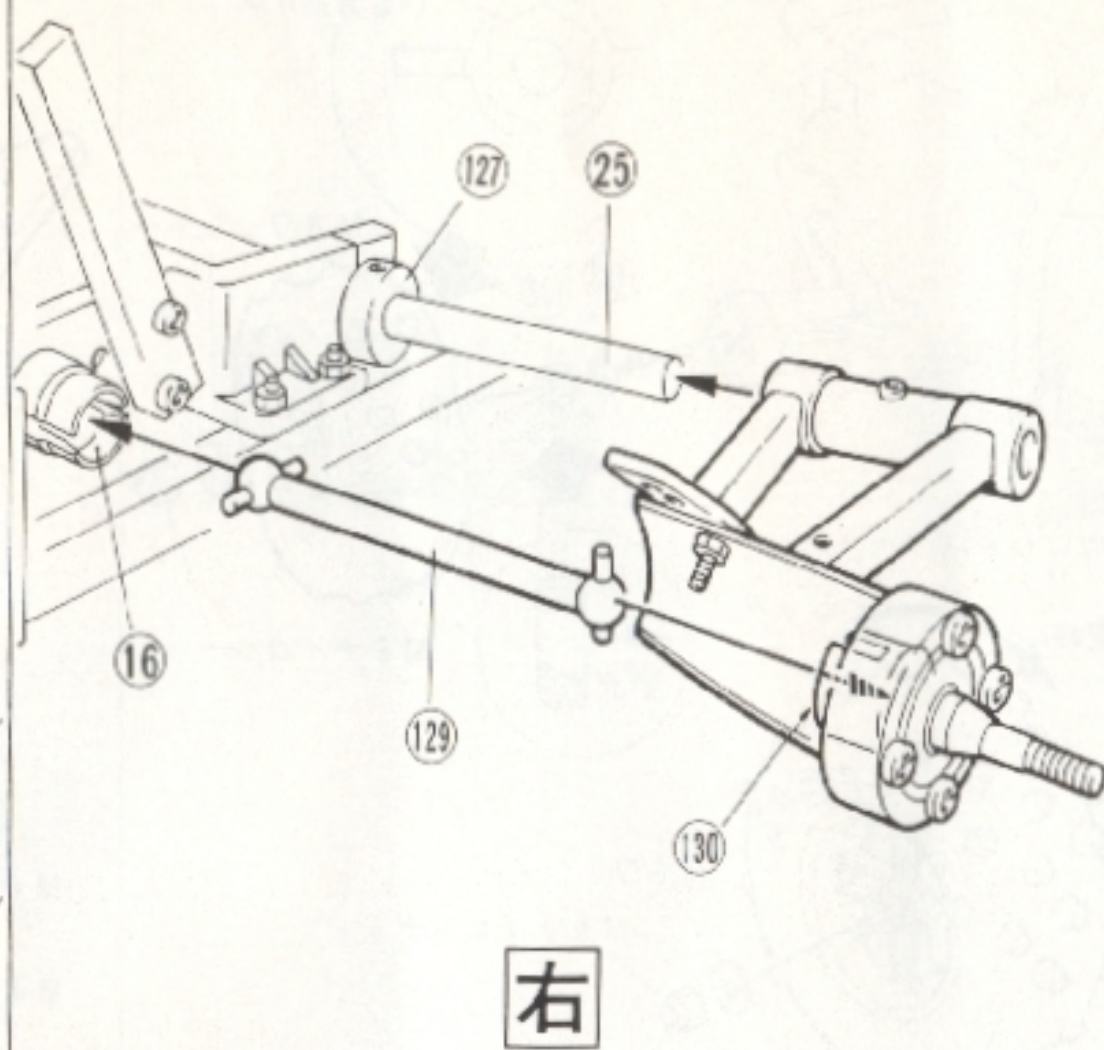
51 リアサスアーム(119)及び(120)にリアダンパー取付ステー(121)、リアサススプリング取付ステー(122)を図のように取付ける。



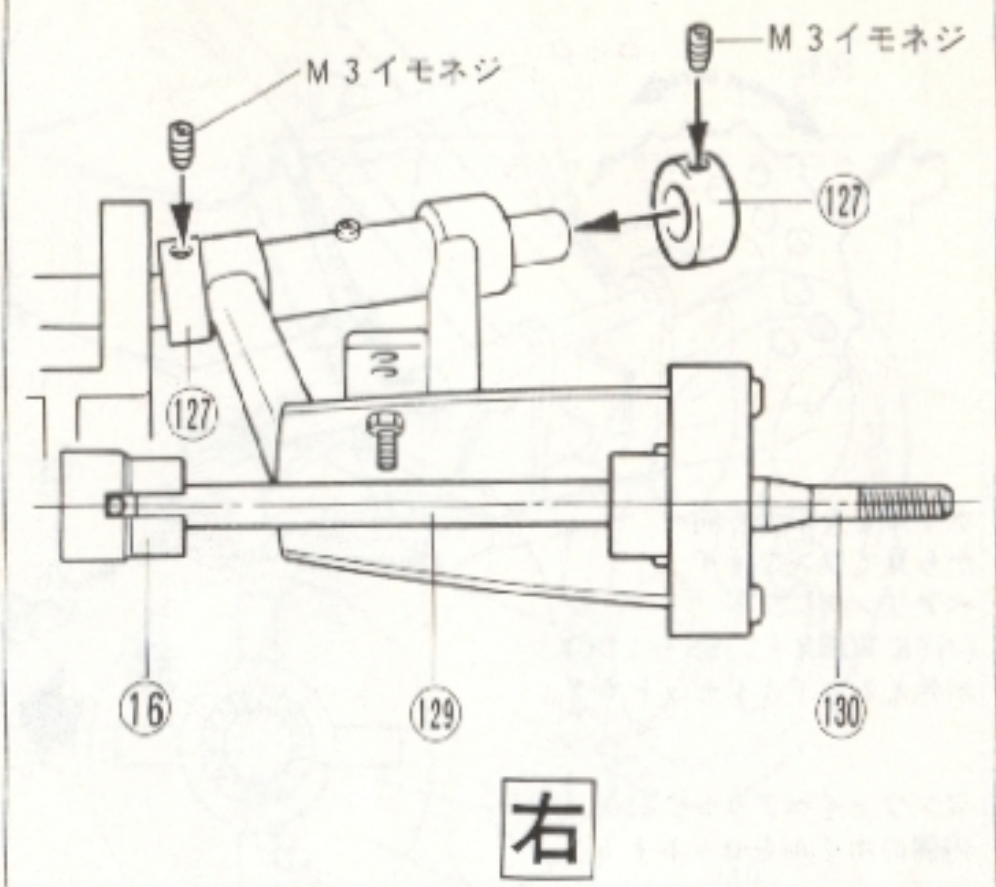
52 リアサスアーム(119,120)にリアホイールシャフトベアリング(131)を取付ける。



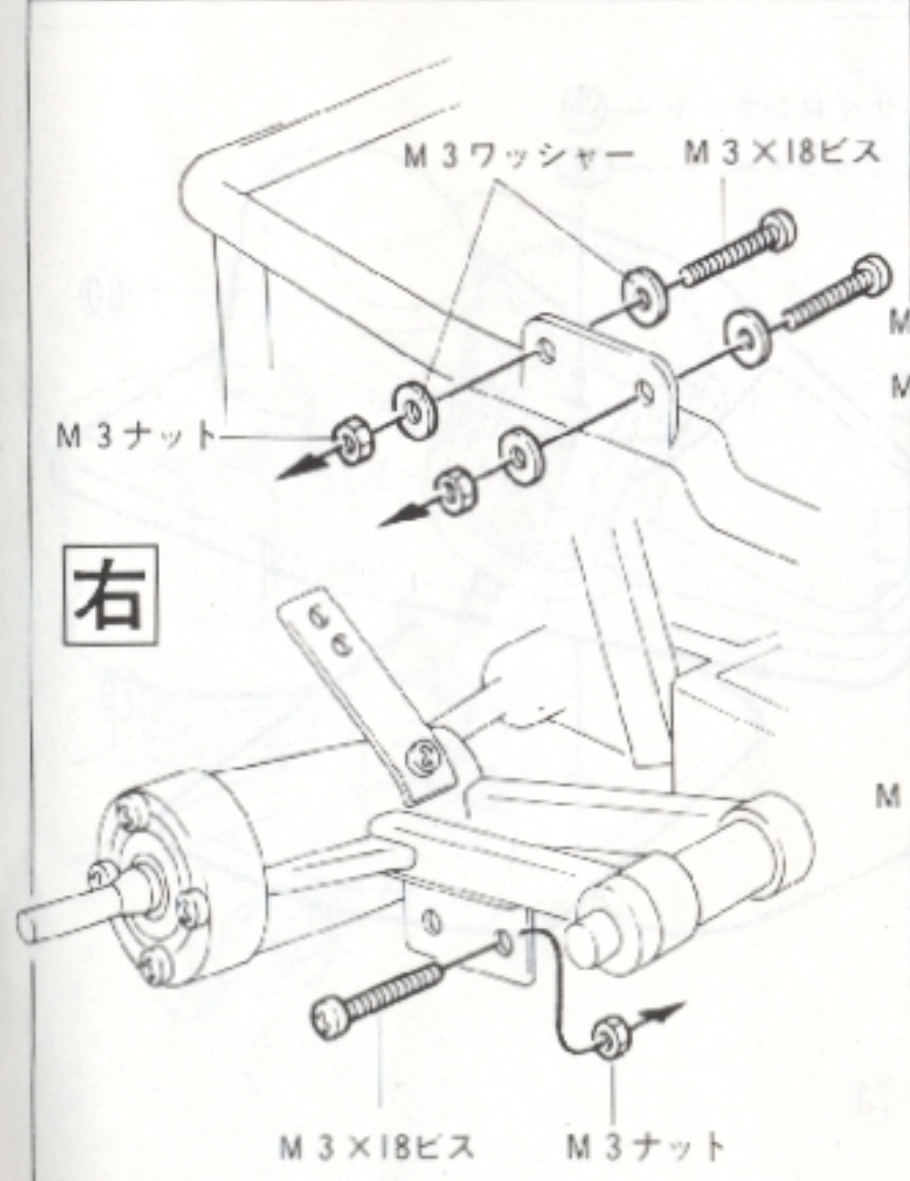
53 リアホイールシャフトベアリング(131)にリアホイールシャフト(130)を入れる。



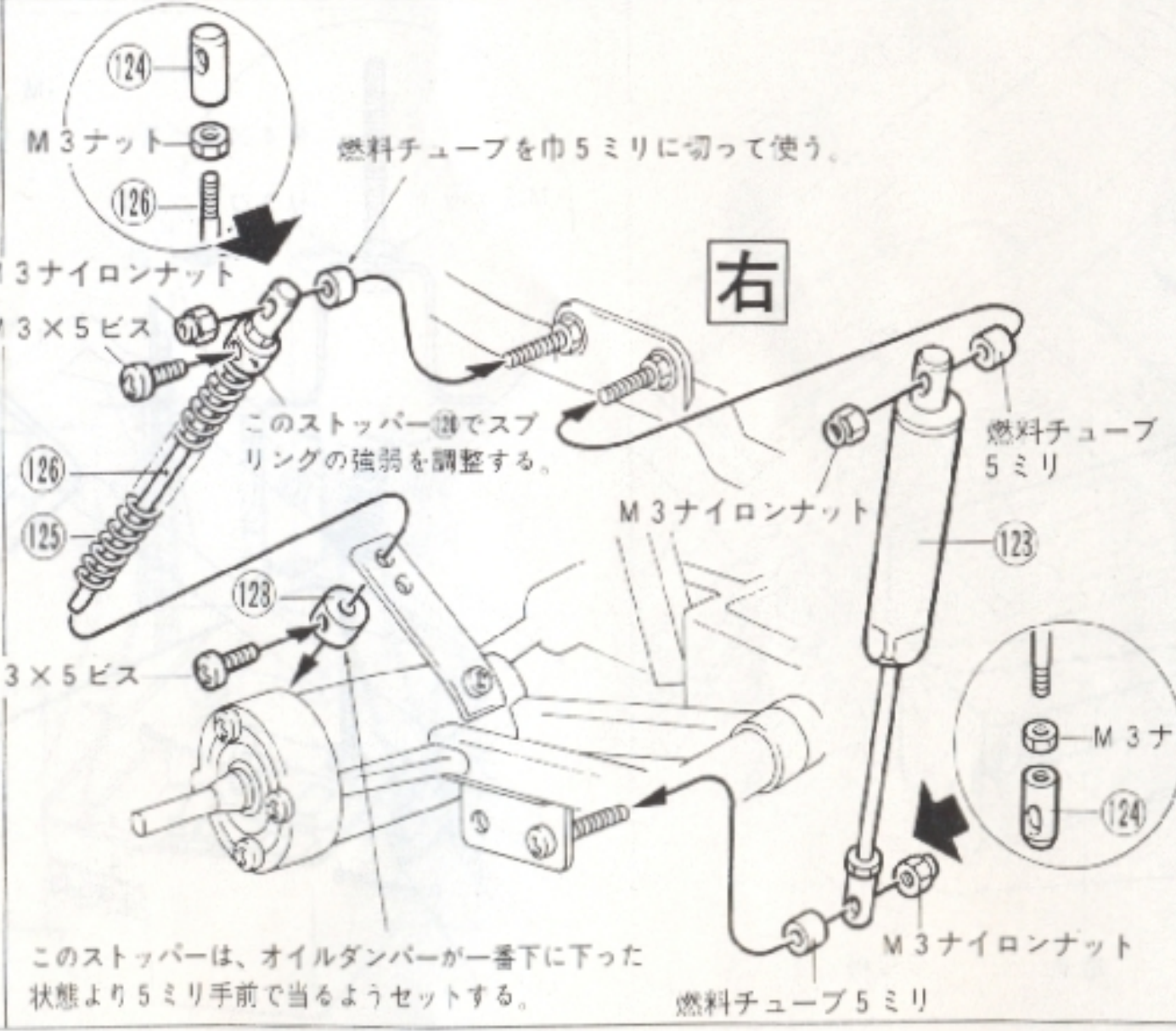
54 リアサスアーム軸(25)に8φストッパー(127)を入れておき、リアスイングシャフト(129)を(16)のジョイント、(130)のリアホイールシャフトに入れながら、リアサスアーム軸(25)に通す。



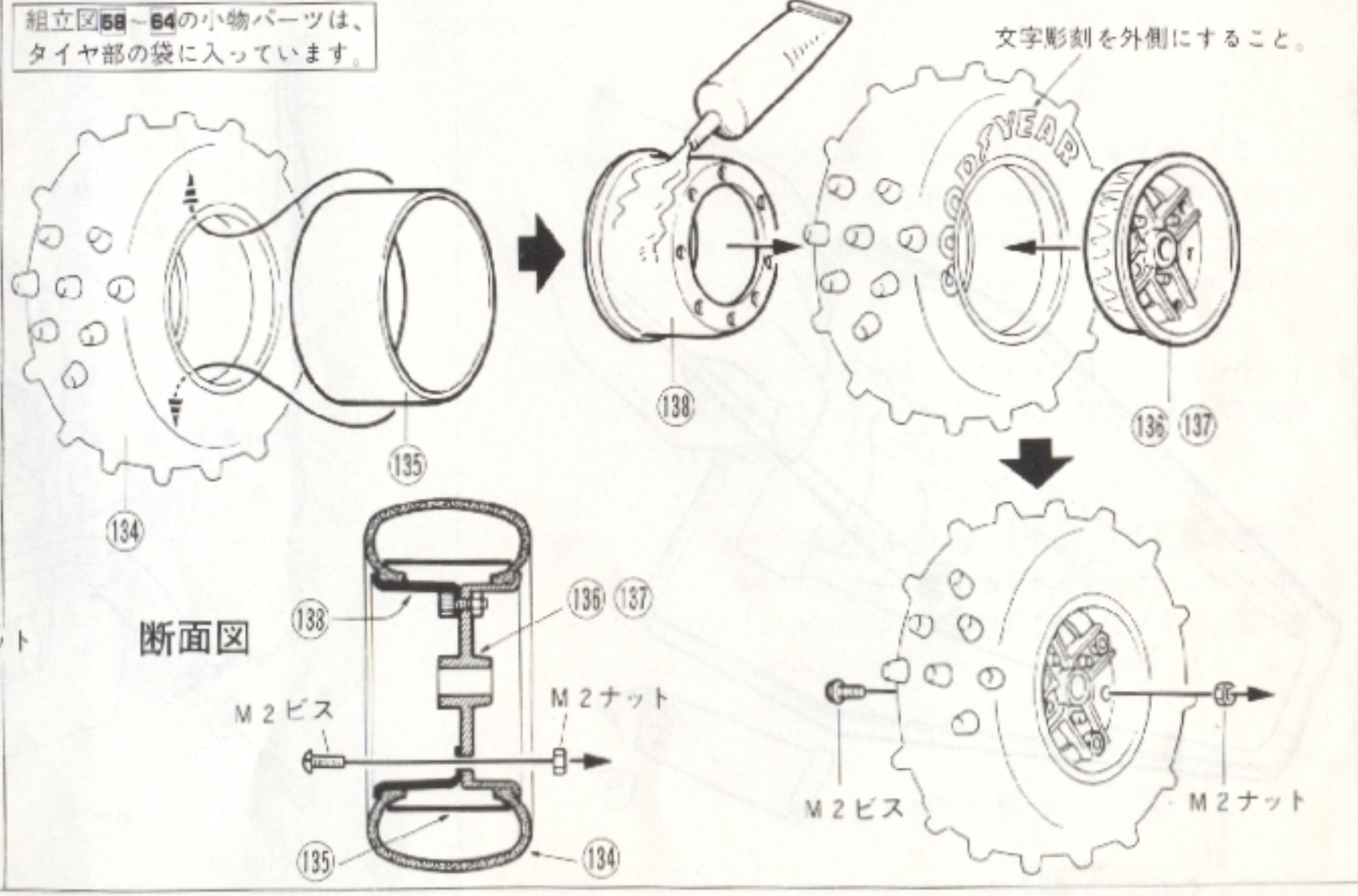
55 (16)のジョイント、(130)リアスイングシャフト、(130)リアホイールシャフトを(16)のジョイントに、水平にした状態で、リアスイングシャフト(129)が横にガタのないところまでリアサスアームを内側に押し付けながら、8φストッパー(127)を取付ける。リアサスアームも横にガタのないよう8φストッパー(127)をサスアームにピッタリと付ける。



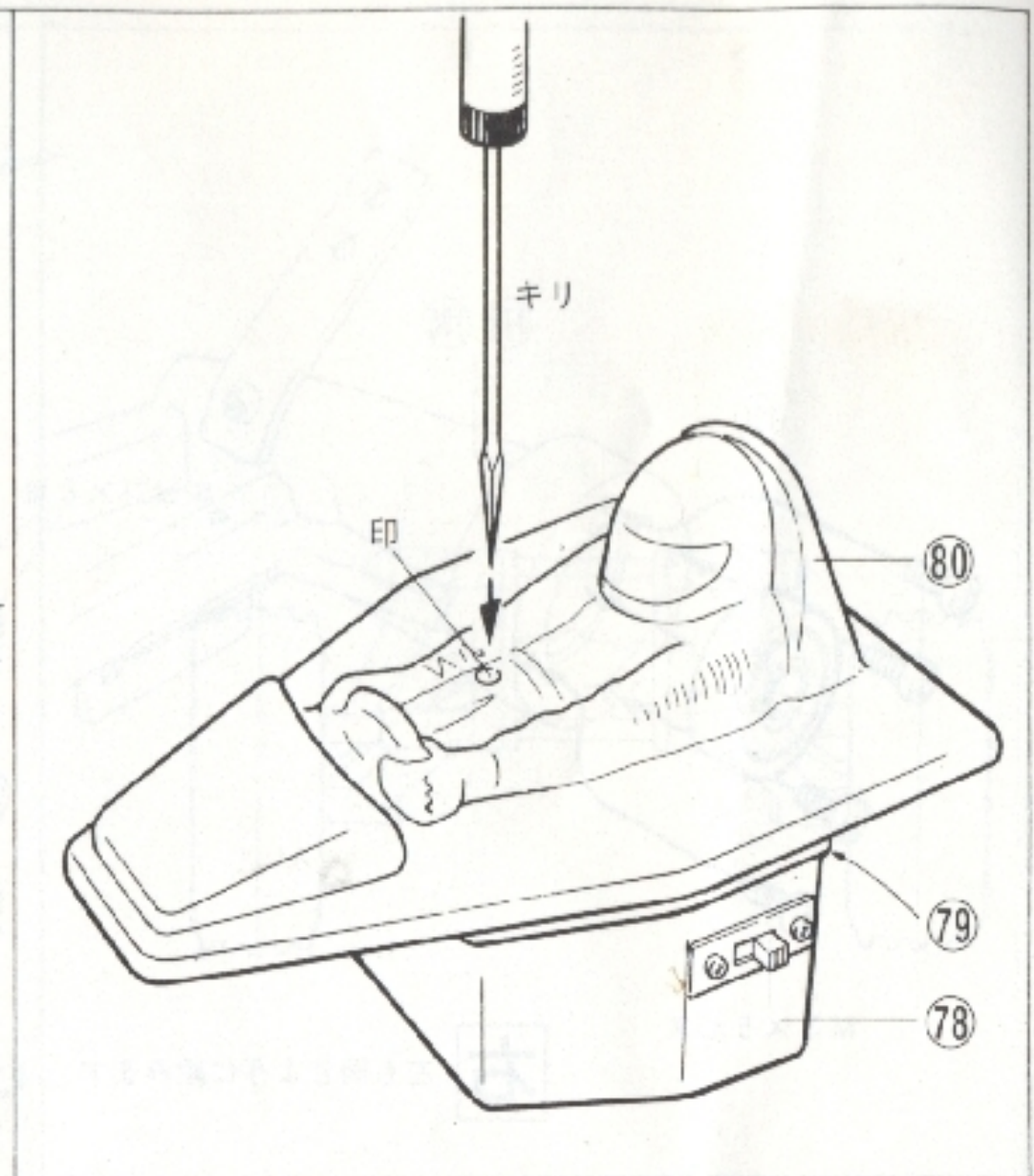
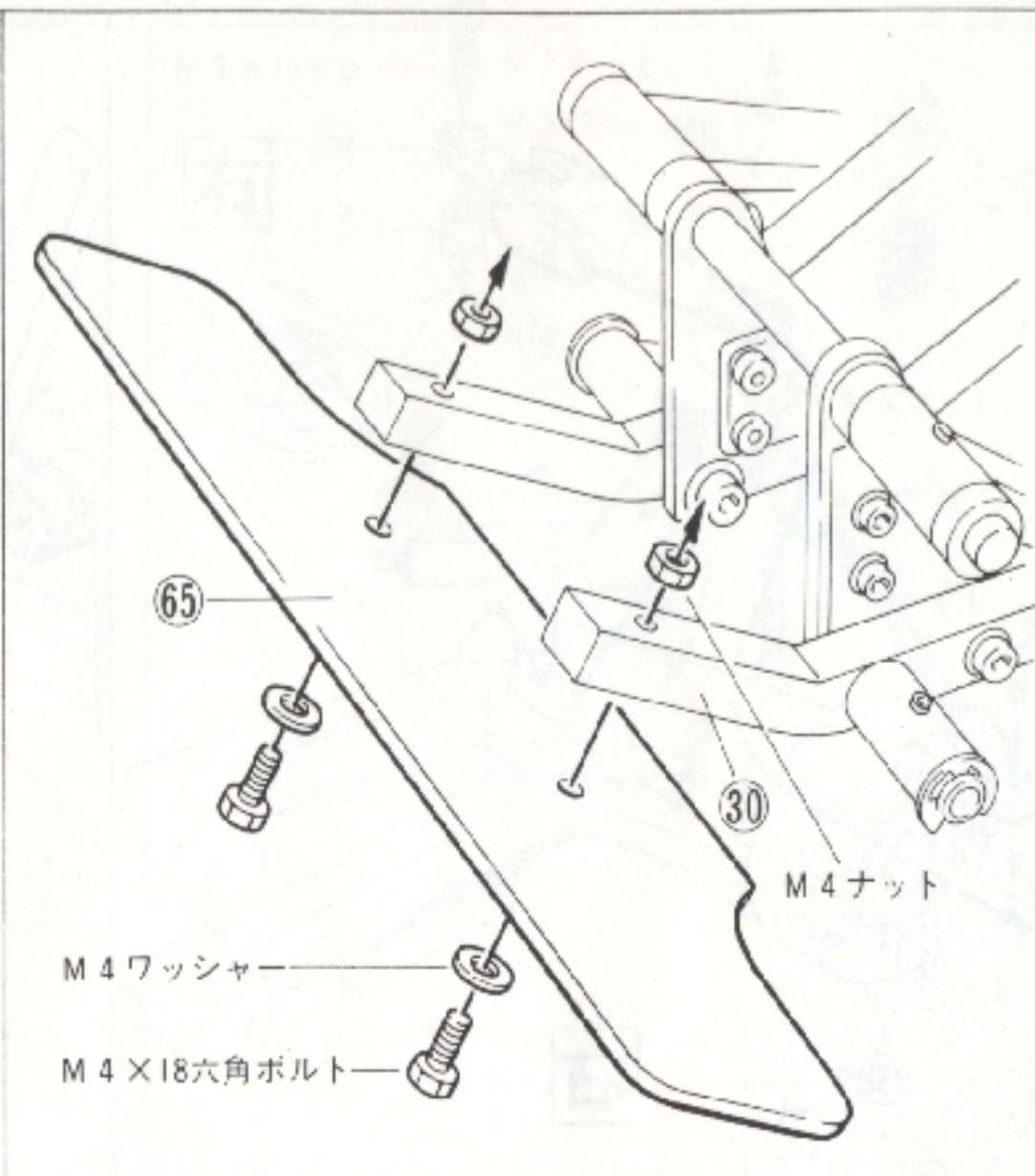
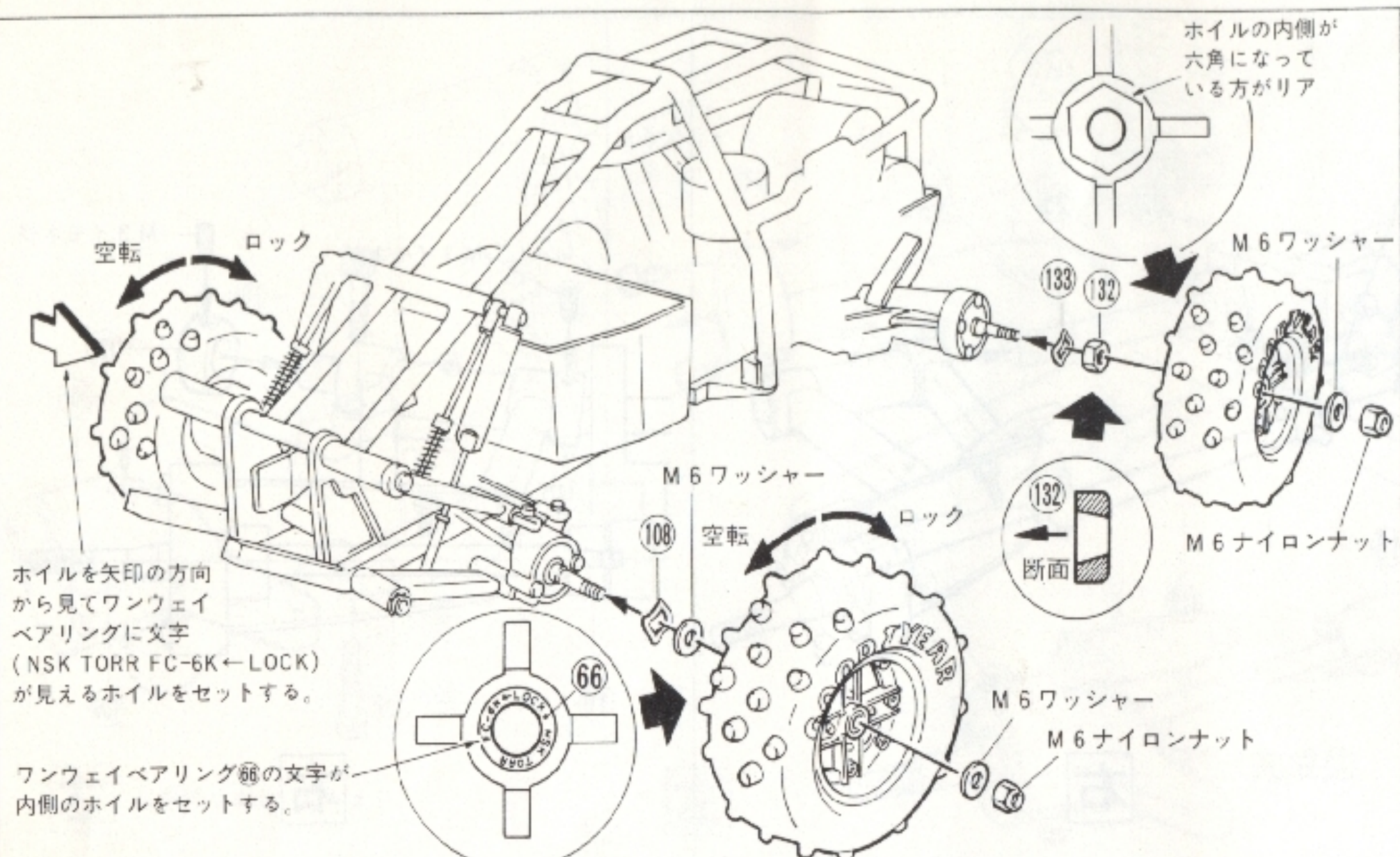
56 ダンパー及びリアスプリング取付用のビスを図のように取付ける。



57 リアオイルダンパー(123)、リアサススプリングガイド(126)に組立図(49)を参考にM3シャフトエンド(126)を取付け、図のようにセットする。



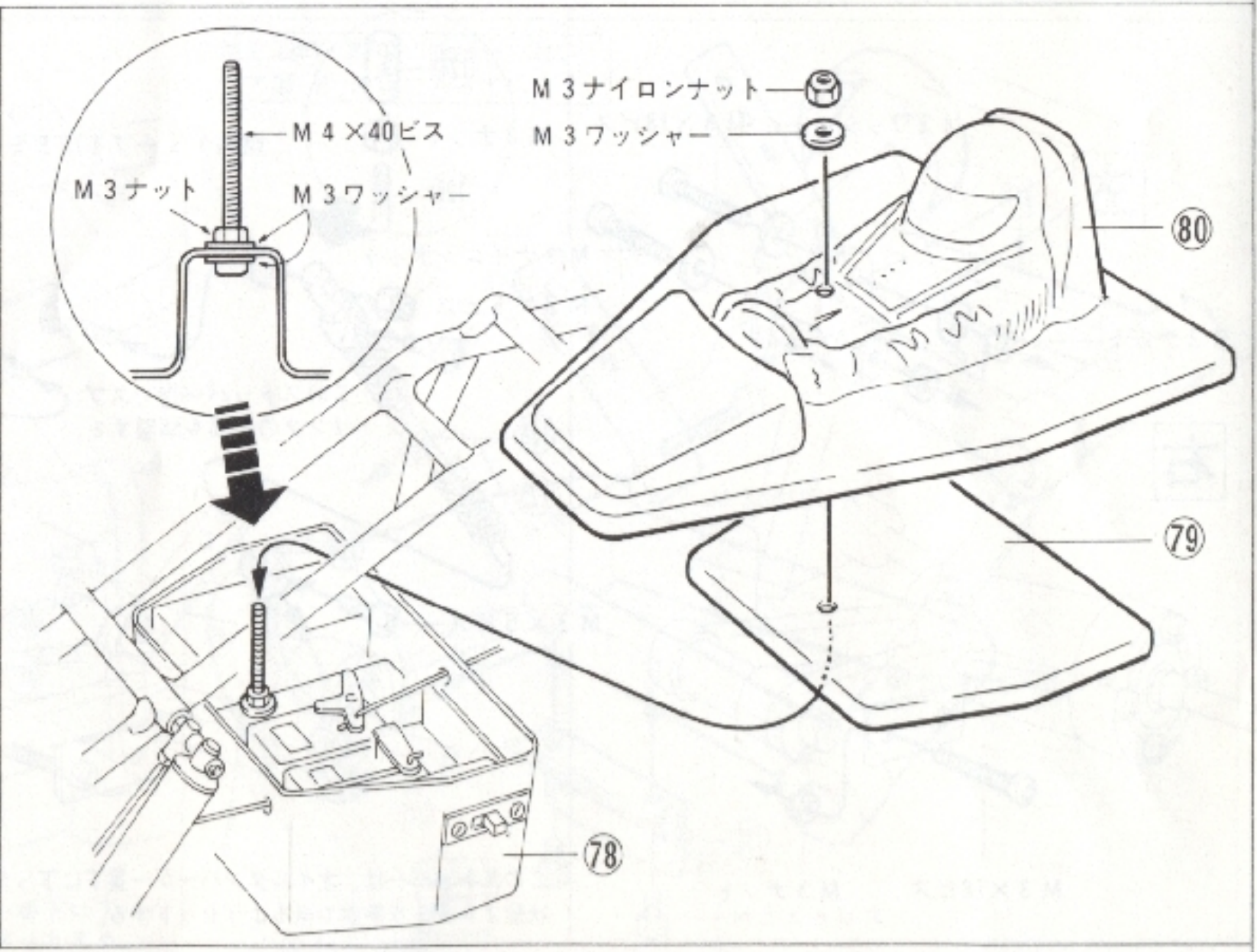
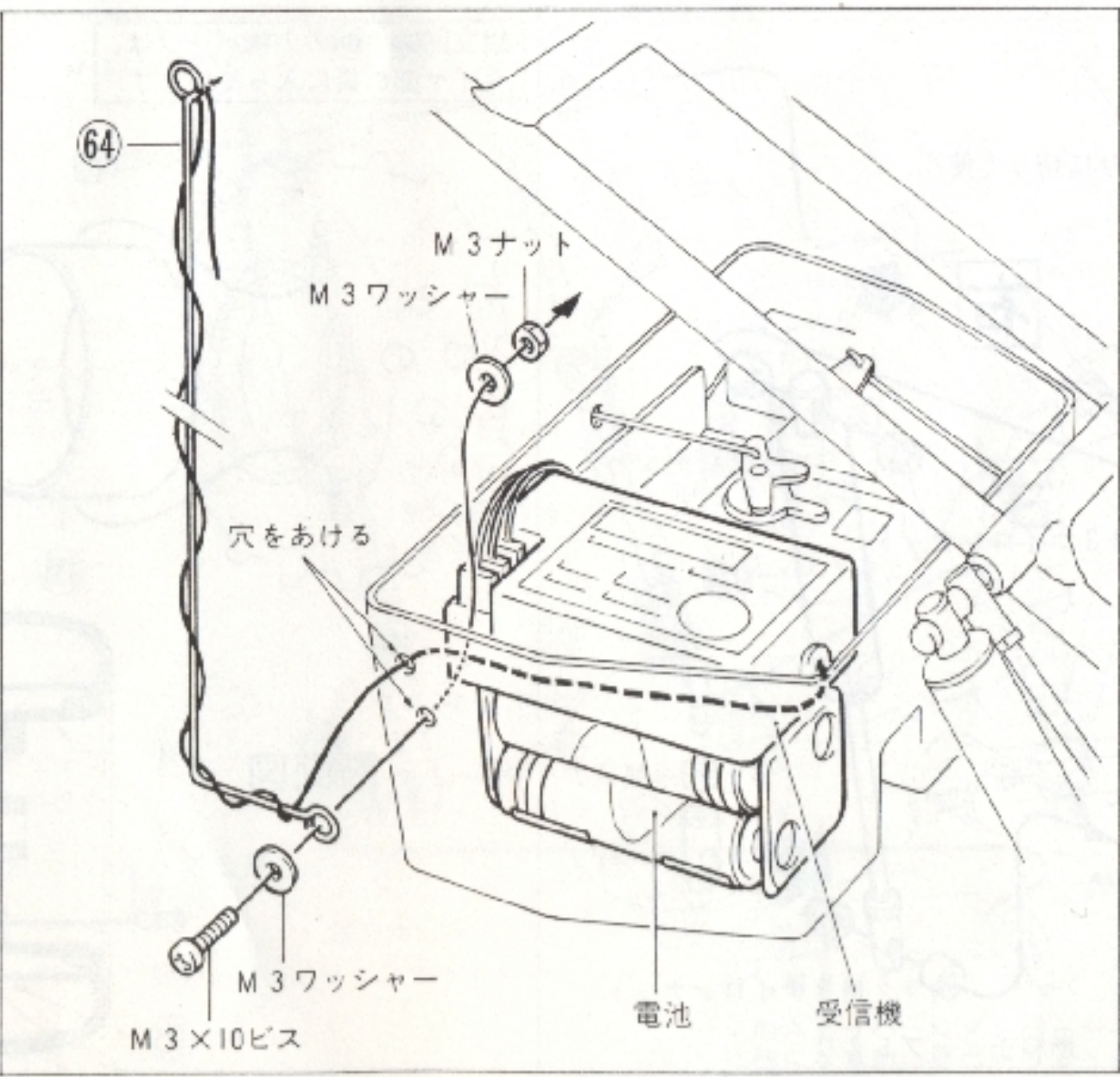
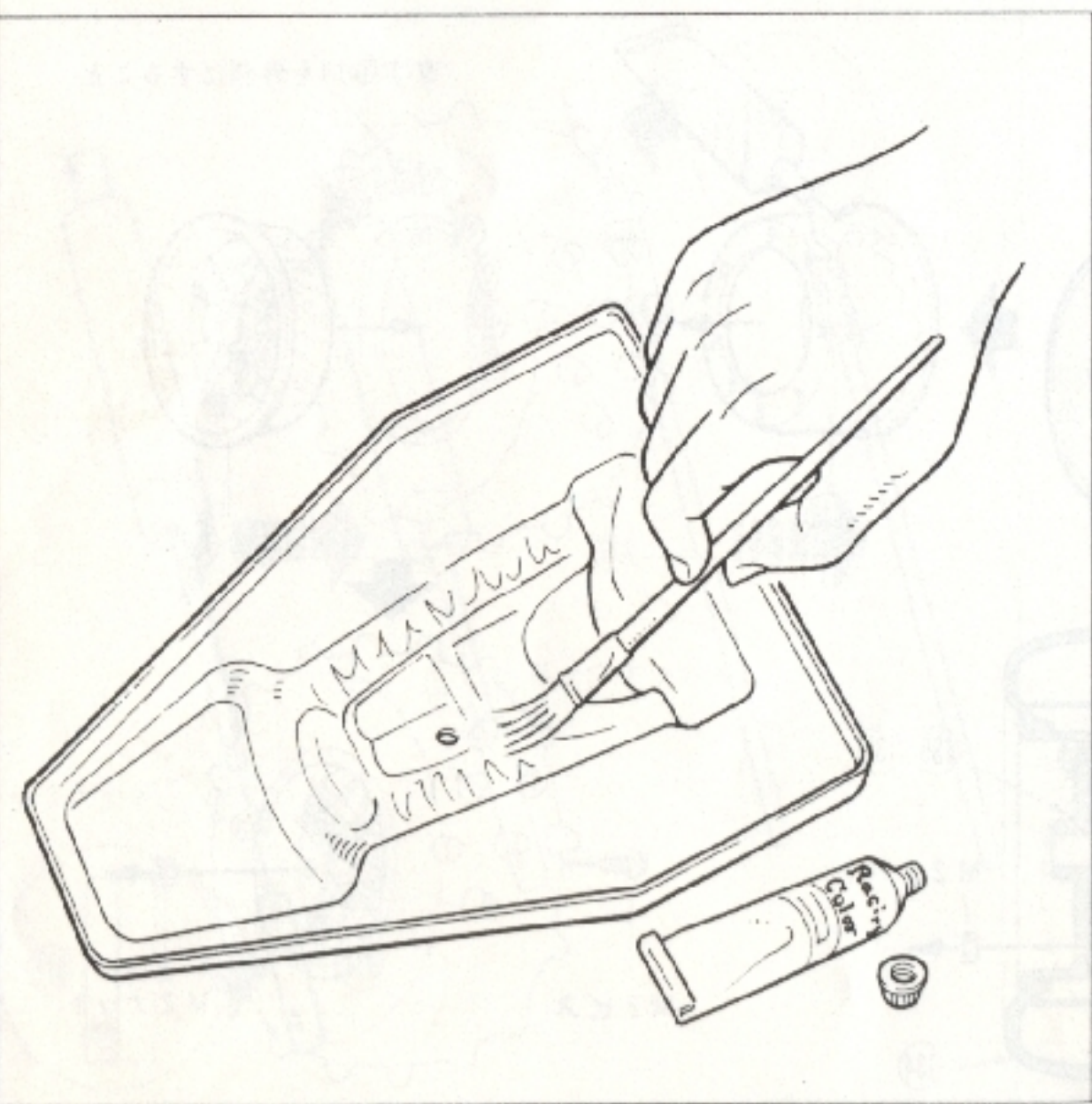
58 まず、インナーホイール(136)をタイヤ(134)の中へ押し込んで下さい(断面図参照)。つぎにタイヤ(134)とホイール(136,137)及びプレスホイール(138)の接着面にゴム系接着剤(コンタクトセメダイン等)をうすく塗り、十分に乾かしてから、シンナーを接着剤に塗り素早くホイール(136,137)とプレスホイール(138)の取付穴を合わせながらタイヤに入れ、M2ビスで締め付ける。



59 フロントホイールにセットしてあるワンウェイベアリングの方向を確認して図のように取付ける。フロントホイール側のM6ナイロンナットはタイヤが軽く回転するよう締めすぎないこと。リアホイール側は、六角の凸と凹を合わせ、空転しないよう取付けて下さい。

60 メインシャーシーにフロントバンパー(65)を取付ける。

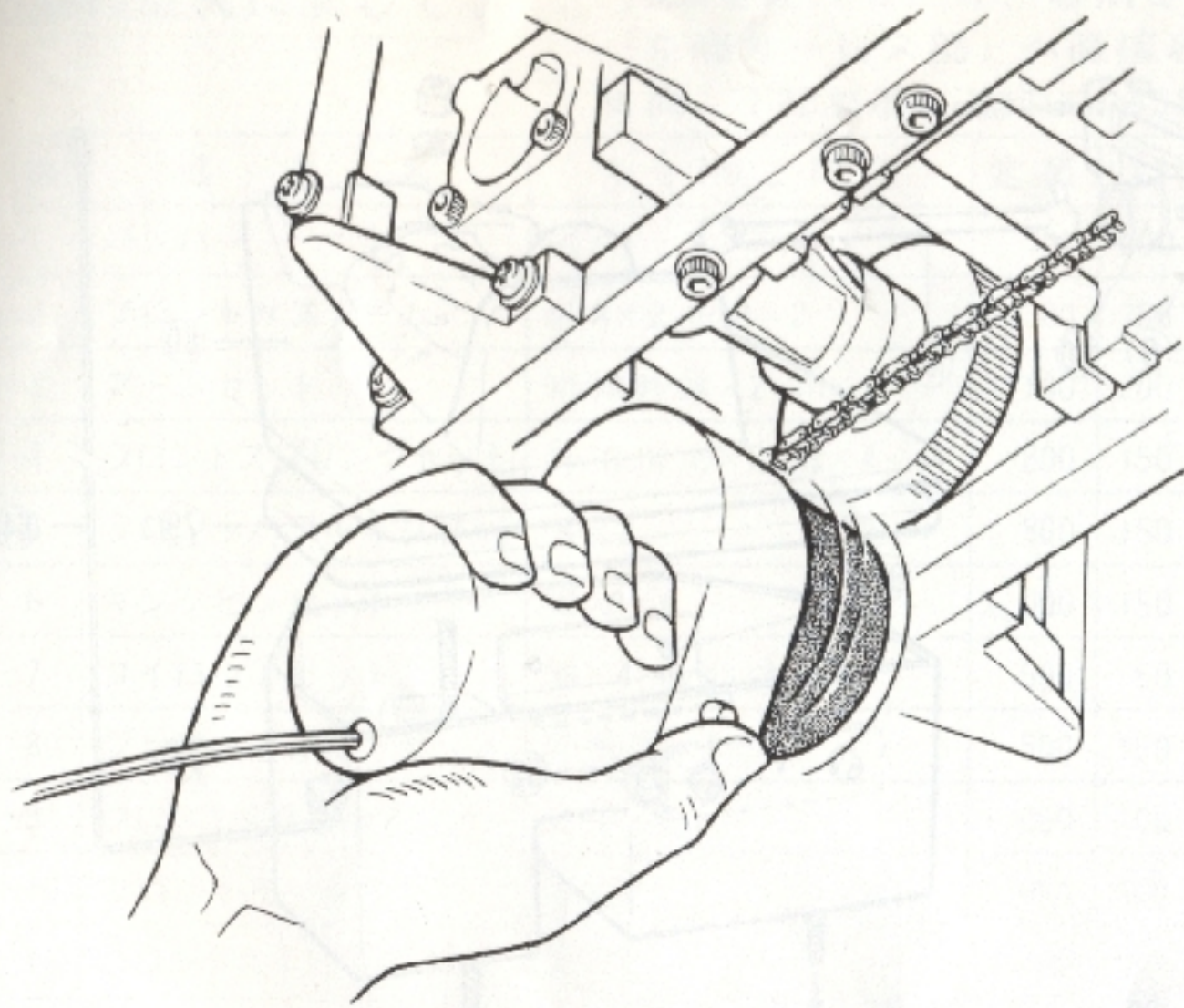
61 メカボックス(78)にフタ(79)シート、人形(80)を乗せ人形のうでの横あたりに3ミリのネジが入る穴を貫通させる。



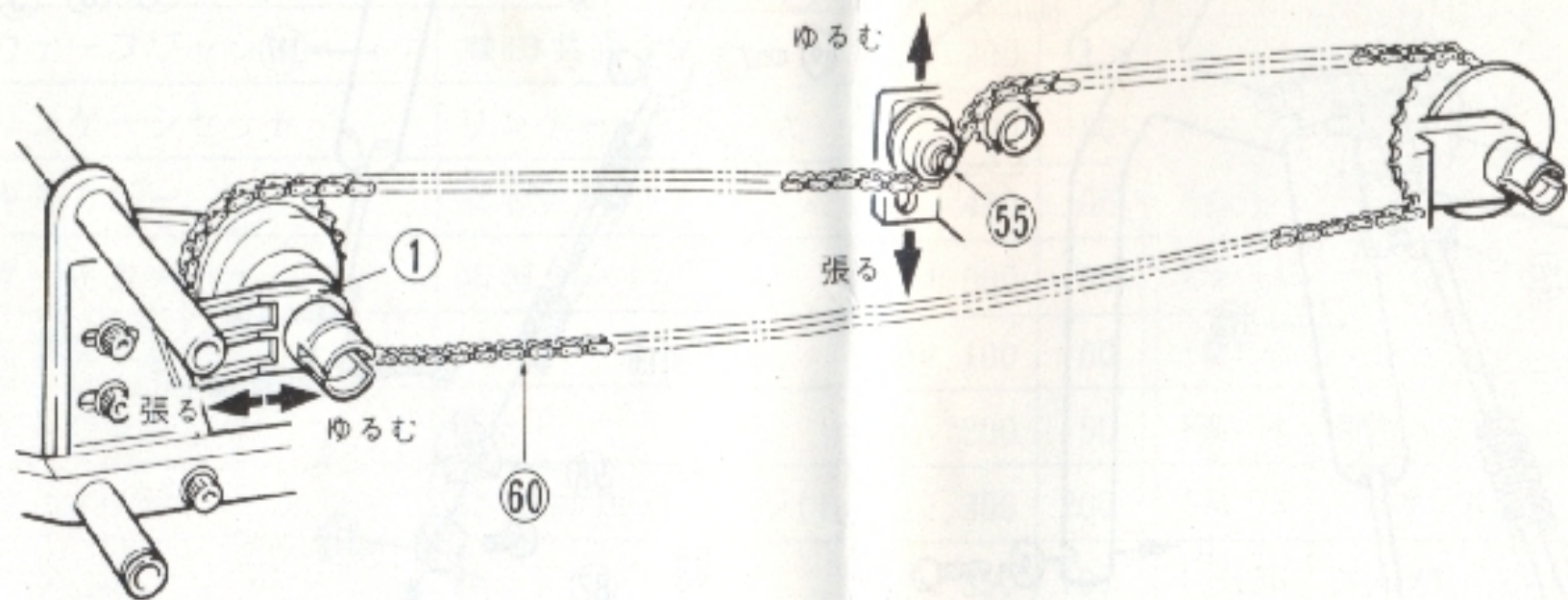
62 シート、人形(80)に塗装する。塗装前に中性洗剤で洗って下さい。洗浄が済んで、よく乾燥したらボデー内側へ塗装しますが、マスキングテープ等を使い塗り分けラインなど入れ、最後に全体を塗り仕上げます。京商のレーシングカラーはポリカーボ専用の水性アクリル塗料で塗りやすく乾けば、耐水、耐油性に富むポリカーボ専用塗料です。

63 電池を下に、その上に受信機を乗せ、アンテナ(64)は図のようにピアノ線を加工してメカボックスに取付ける。

64 メカボックス(78)にM4×40ビスを図のように取付け、フタ(79)シート、人形(80)を重ね、M3ナイロンナットで固定する。



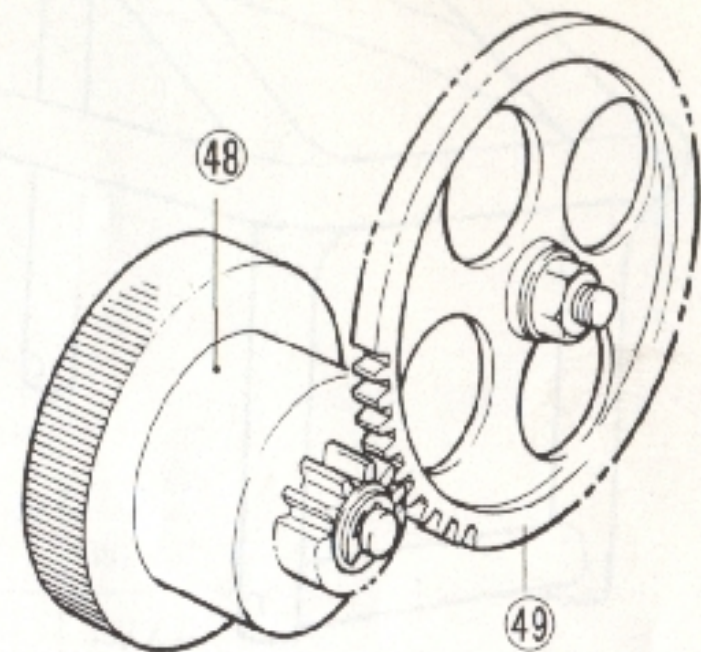
65 ランドジャンプ4Dのエンジン始動方法は、レーシングカーと同じように電動スターターでシャーシーの下からフライホイールを回します。



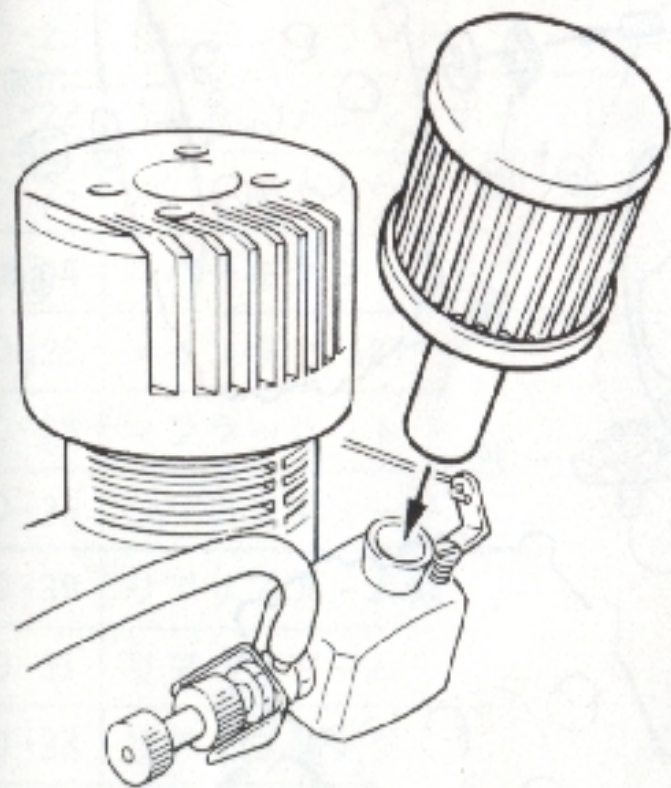
66 【チェーンの点検】
チェーン⑥⑩は、新しいうち初期のびといい、ある程度までタルミが出てきます。初めの3~4タンク走行までは、1タンク走行毎にチェーンの張り具合を点検して下さい。始めのタルミは、⑤⑤のテンショナーシャフトを張る方向へ移動させ調整、⑤⑤で調整しきれなくなった場合は、①のフロントアクセルを前方に移動させ調整して下さい。

クラッチベル④⑧	スパーギヤ④⑨	ギヤ比
12Z	53Z	8.7:1
13Z	52Z	9.6:1
14Z	51Z	10.6:1

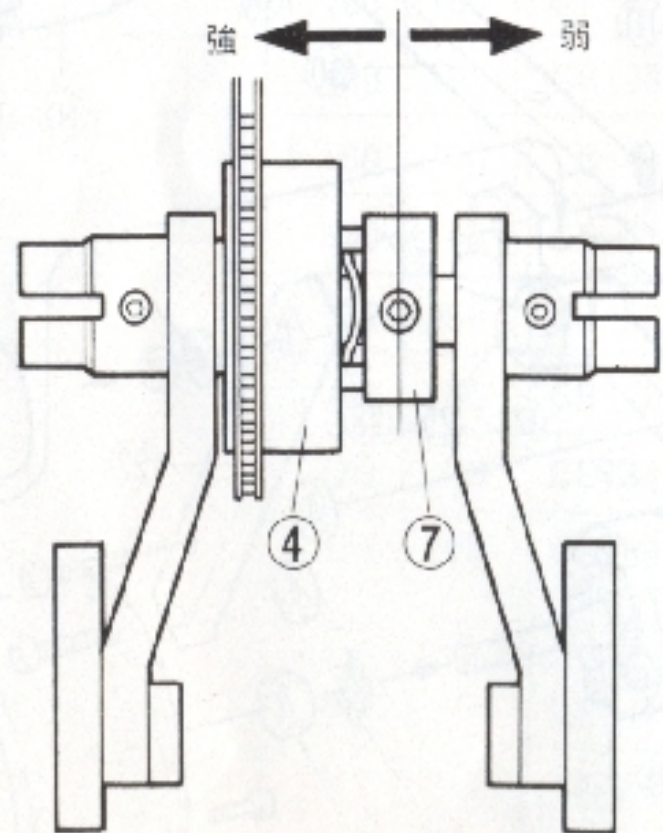
上記のクラッチベルとスパーギヤの組み合わせ以外は、出来ません。



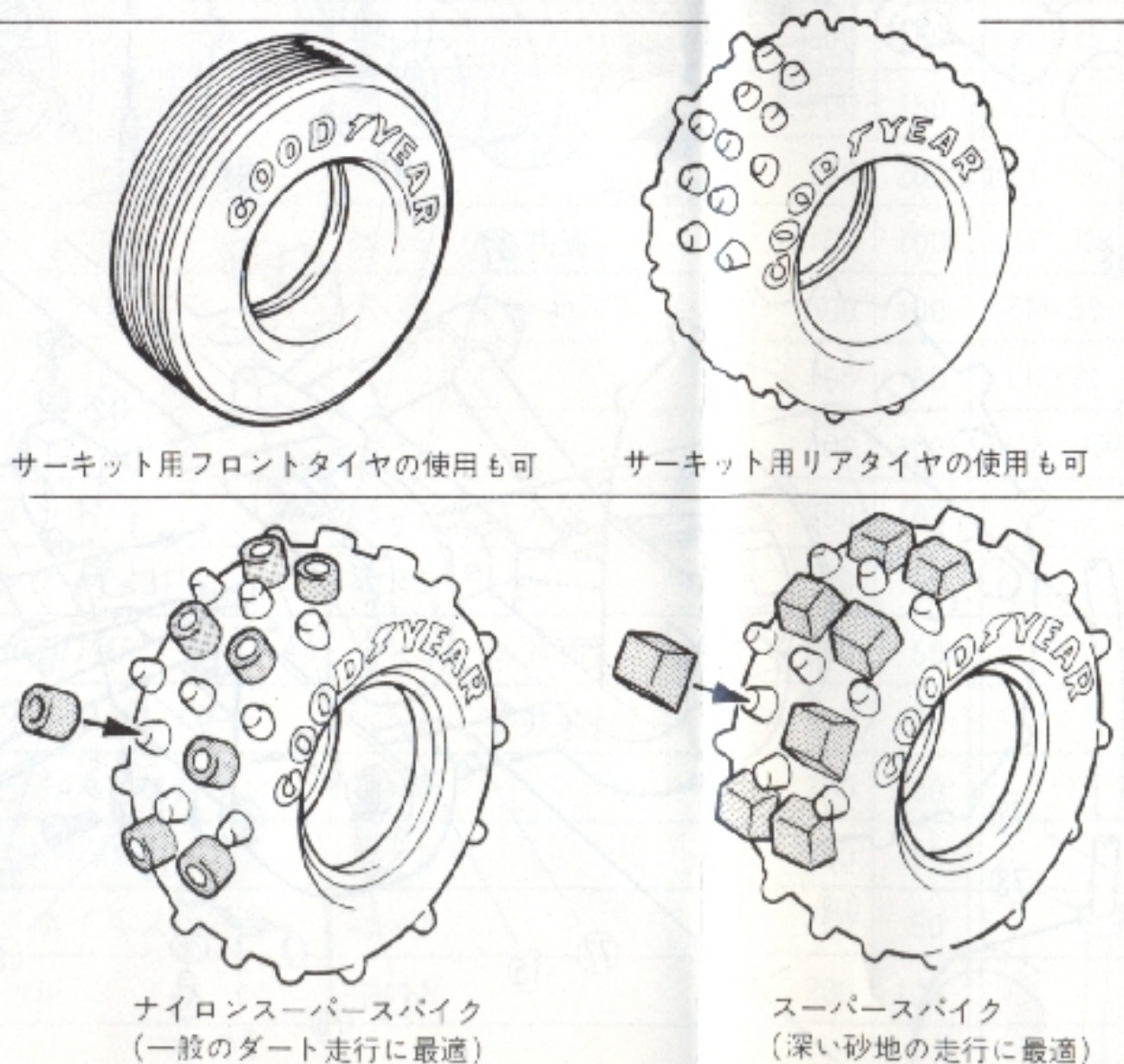
67 【ギヤ比の変更】
本車にセットされているギヤ比は、クラッチベル④⑧13Z、スパーギヤ④⑨52Zの組合せで9.6:1となっております。オプションで8.7:1と10.6:1に変更できます。



68 【エアフィルターを使用する】
エンジンをホコリから守るため、キャブレターには必ずエアフィルターをご使用下さい。オプションで用意しております。



69 【トルククラッチの調整】
トルククラッチ④の動き具合の調整は走行させ、⑦のトルククラッチビンガイドを左右に動かして調整しますが、車がスピンするときは、強めにスピンしないで多少アンダーステアが出る場合は弱めにする。最良のセットとしては、車がスピンしない程度まで弱めにするのがベストであるが、好み、またコースにより多少異なるので自分なりにセットアップして下さい。



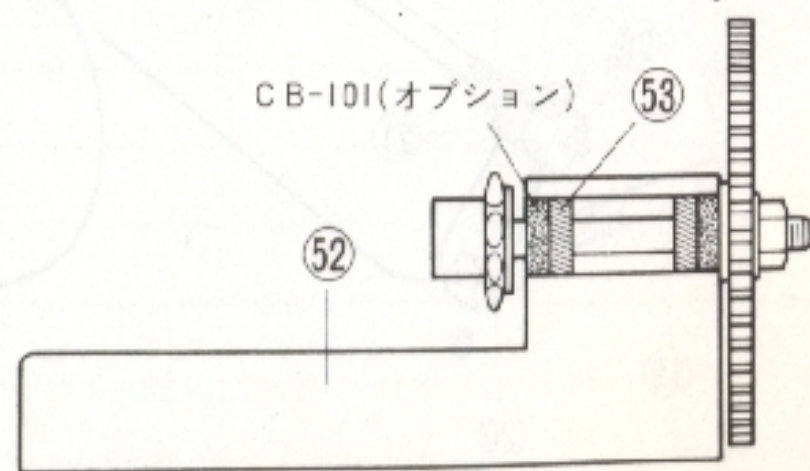
70 【タイヤのセッティング】
本車のノーマルタイヤは、前後とも同径、同幅のイボタイヤを使用していますが、セッティングの1つの方法とし、タイヤをサーキットシリーズのタイヤに交換することが可能です。たとえば、フロントをノーマル、リアにサーキットのリアタイヤ、また、フロントにサーキットのフロントタイヤ(注:この場合、ランドジャンプのフロントホイールにサーキットのフロント用プレスホイールを組み合わせないとワンウェイベアリングが使用できない)また、前後ともサーキット用タイヤも可能です。サーキット用として発売されているスーパーバイク、ナイロンバイク等も使用できるので走行場所に合わせて、中広いタイヤのセッティングが可能です。

【附記】

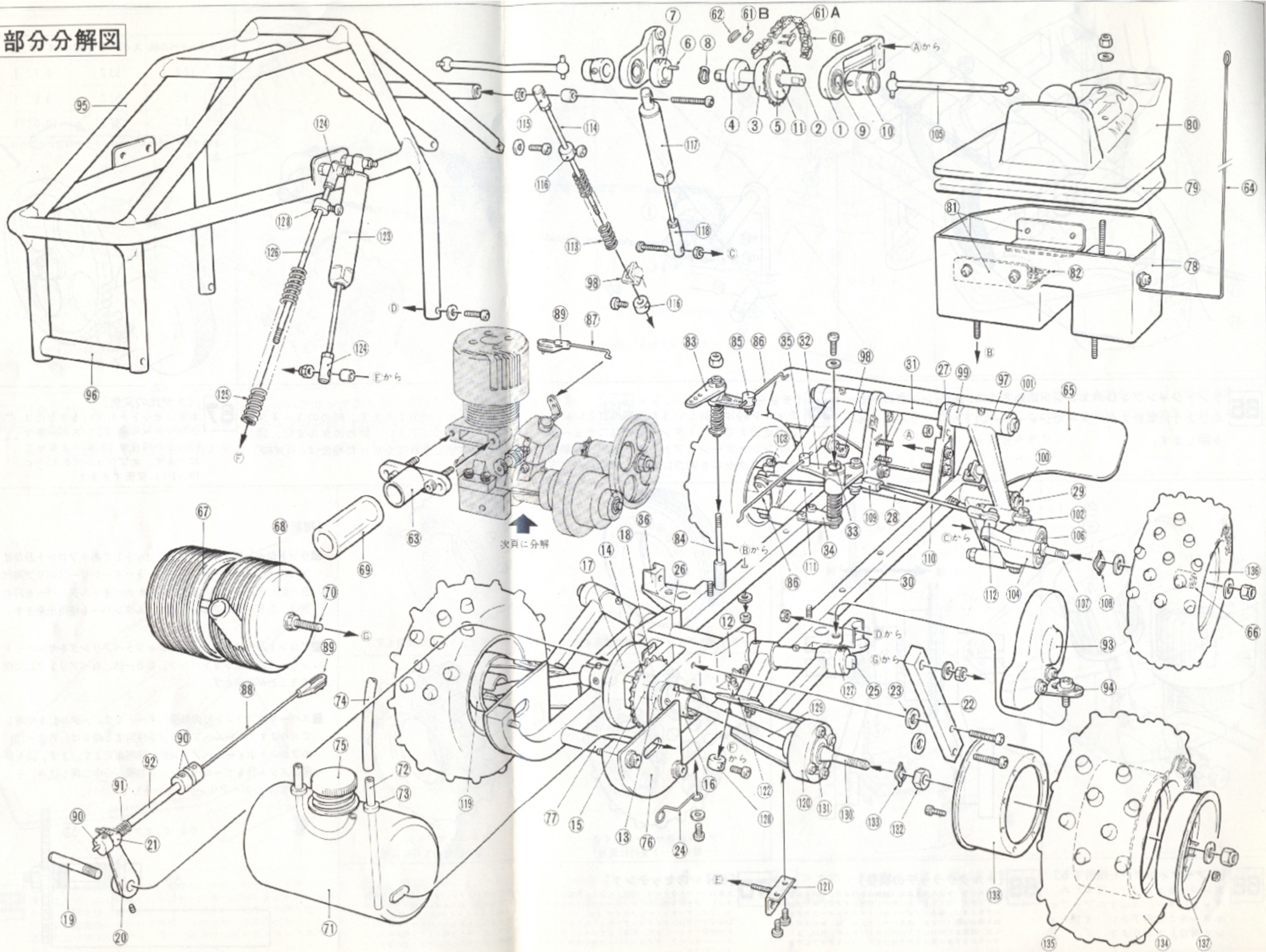
■ランドジャンプ4Dのキットにセットしてあるフロント及びリアのオイルダンパーは、サーキットバギーシリーズのリア用(CB-89)が入っております。軟らかめのオイルダンパーを好む方は、CB-88のフロント用オイルダンパーも使用出来ます。

■フロント及びリアのホイールシャフトベアリングをサーキットシリーズのオプションパーツ、CB-95、Wベアリングに交換することが出来ます。

■スパーギヤマウント⑤②の軸受にキットでは、メタル⑤③を使用しております。ボールベアリングを使用する場合は、CB-101のフロントホイールベアリングが使用出来ます。まず、図を参照にメタル⑤③をボールベアリングの厚み分中に押し込み、そこへCB-101のベアリングをセットして下さい。



部分分解図

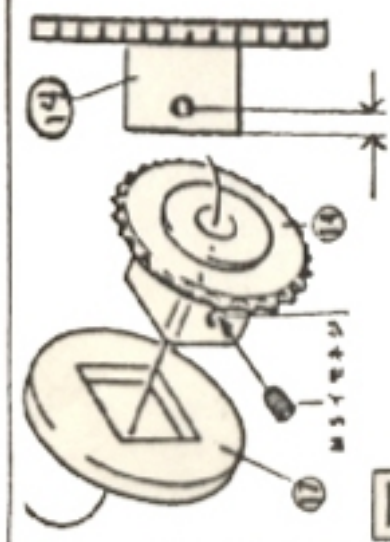


部品の注文に関して

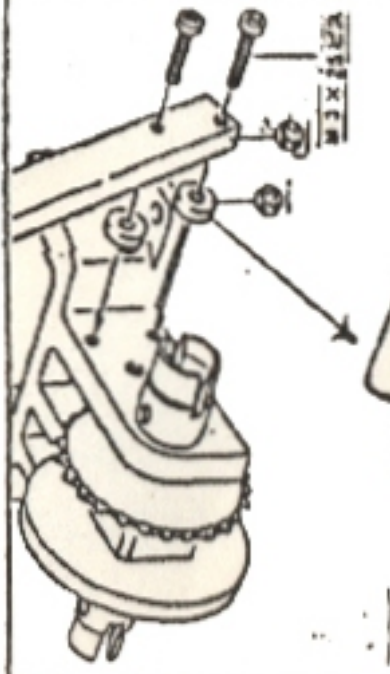
部品を紛失したり、破損された時は、下記の部品代に送料を加え（合計 ¥500 以内の場合は切手、それ以上の時は現金書留）部品番品を明記の上、「京商サービス部」へ直接お申し込み下さい。尚 2 品以上お求めの方は、品番の中で一番高い送料のみお送り下さい。他の送料はサービスです。
 ※尚、下記表示の送料は S 55 年 12 月 1 日現在のものです。法規改正等にもない、変更になる場合もありますのでご諒承下さい。

品番	部 品 名	キ ー NO と 内 容	定 価	送 料	品 番	部 品 名	キ ー NO と 内 容	定 価	送 料	オ ブ シ ョ ン パ ー ツ				
										品 番	部 品 名	内 容	定 価	送 料
LD-1	バンパー	65×1	700	200	LD-41	フロントホイール	135 136 138×2 ネジ付	3,300	200	SD-23	ヒートシンク	エンヤ BB 用	1,700	200
LD-2	フロントサスアーム	97 A×2 97 B×2	1,300	250	LD-43	スパイクタイヤ	134×2	2,800	350	SD-75	ヒートシンク	エンヤ X 用	1,700	200
LD-3	アームセット	100 100 99 29×2 31×1	1,100	200	LD-44	ウェーブワッシャー	108 133 共通 8ヶ入	200	50	SD-53	クラッチベル(12Z)	LD-27と組合せ使用	850	100
LD-4	フロントスプリングセット	98 113 114 115×2 116×4	800	150	LD-45	リンケージセット	リンケージ関係一式	700	100	SD-55	クラッチベル(14Z)	LD-25と組合せ使用	850	100
LD-5	フロントハブキャリア	104×2	800	150	LD-46	ギヤカバー	93 94×1	450	100	FM-62	フライホイール	エンヤ X 用 (FM-28と併用)	800	100
LD-6	キングピンセット	102 103×4	1,000	150	LD-47	サーボセーバー	32 33 34×1	1,000	100	FM-28	フライホイールスペーサー	FM-62と併用	250	50
LD-7	タイロッドセット	109×4 111 111 112×1	500	50	LD-32	リアスプロケット	14×1	1,100	100	FM-74	フライホイール	OS-21専用	800	100
LD-8	ジョイントカラーセット	77 95 28×1	500	100	LD-13A	トルククラッチ	4×1	800	50	FM-75	フルボールクラッチベアリング	ファントム EXP 用 耐久性抜群	4,500	50
LD-9	フロントアクセルマウント	27 ①×2	1,000	100	LD-42	リアホイール	132 135 137 138×2 ネジ付	3,300	200	CB-36	スーパースパイク	ゴム製	1,000	100
LD-10	フロントホイールシャフト	106×2	900	200	SD-54	クラッチベル	48×1	850	100	CB-76	リアナイロンホイール	352X用	1,500	200
LD-11	フロントスイングシャフト	105×2	1,200	150	SD-60	クラッチベアリング	45 47×1 44 46×2	2,000	50	CB-81	リアナイロンホイール	352X用	1,500	200
LD-12	フロントセンターシャフト	②×1	400	100	SD-76	フライホイール	37×1	800	100	CB-103	リア用マグホイール	352X用	3,200	200
LD-13	トルククラッチセット	④ ⑤ ⑦ ⑧×1 ⑥×2	1,100	100	SD-56	ライニング	41×5	300	50	CB-88	フロントオイルダンパー		3,000	200
LD-14	フロントスプロケット	③×1	1,200	100	FM-15	ディスク板セット	17×1 18×2	1,800	50	CB-95	リアダブルベアリング		3,000	50
LD-15	メインシャーシー	90×2	2,500	400	FM-20	クラッチシート	43×5	150	50	352X	イボタイヤ	サーキット用リアタイヤ	3,000	350
LD-16	ボデー	95×1	5,000	600	FM-72	パイロットシャフト	ENYA用 50×1	500	100	LD-25	メインギヤ 51T	SD-55と組合せ使用	1,500	200
LD-17	チェーンセット	60 61×1 62×2	1,800	150	FM-73	パイロットシャフト	OS用 51×1	500	100	LD-27	メインギヤ 53T	SD-53と組合せ使用	1,500	200
LD-18	ジョイントリンク	61×3 62×6 ワッシャー付	250	50	CB-11	スイングシャフト	129×2	1,200	150	CB-86	ナイロンスパイク	プラスチック製	1,000	100
LD-19	サイドメンバー	36×2	500	150	CB-13	リアホイールシャフト	130×2	900	200	CB-101	フロントホイールベアリング	63のメタルと交換可	2,500	50
LD-20	エンジンマウント	58 59×1	1,100	100	CB-15	ボールベアリング	131×2 (105 共通)	1,100	100	FM-59	ナイロンナット	M 6	400	50
LD-22	チェーンテンショナー	55 56 57 24×1	400	100	CB-28	クラッチパーツ	41×1 33 39 40×2	600	100	LD-21	エンジンマウント	ENYA 198B 用	1,100	100
LD-23	スパーギヤマウント	52×1 53×2	1,100	100	CB-44	Eリング (E-7)	11×4	100	50	CB-110	エアークリーナー	OS-21 CAR 及びウイング用	600	100
LD-24	スパーギヤシャフト	54 スプロケット付×1	600	100	CB-51	センターシャフト	15×1	400	100					
LD-26	メインギヤ 52T	49×1	1,500	200	CB-52	ジョイント	10×2 (16 共通)	750	100					
LD-28	マフラーセット	67 68 70 63×1	2,300	200	CB-72	Eリング (E-3)	47×5	100	50					
LD-29	シリコンチューブ	69×2	400	100	CB-84	ボールベアリング	9×2 (13 共通)	1,000	50					
LD-30	リアサスアーム軸	25×1	600	200	CB-89	リアオイルダンパー	117×2 (123 共通)	3,000	200					
LD-31	リアサスアーム	119 120×1	1,300	300	CB-67	クラッチスプリング	40×4	250	100					
LD-33	リアスプリング	125 126 121 122 124×2 128×4	900	100	CB-3	8φストッパー	127×2	300	50					
LD-34	リアアクセルマウント	12×1 26×2	1,300	200	FM-28A	フライホイールスペーサー	42×1	250	50					
LD-35	エンコンサーボセーバー	83 84×1	450	100	LD-48	デカール	139×1	300	100					
LD-36	タンク	72 73×2 71 74 75×1	500	150										
LD-37	取付ステーセット	22×1 23 76×2	500	100										
LD-38	メカボックスセット	78 79 80 82×1 81×2	2,200	200										
LD-39	ビスセット	ビス、レンチ一式	1,500	200										
LD-40	ワンウェイベアリング	66×2	1,600	100										

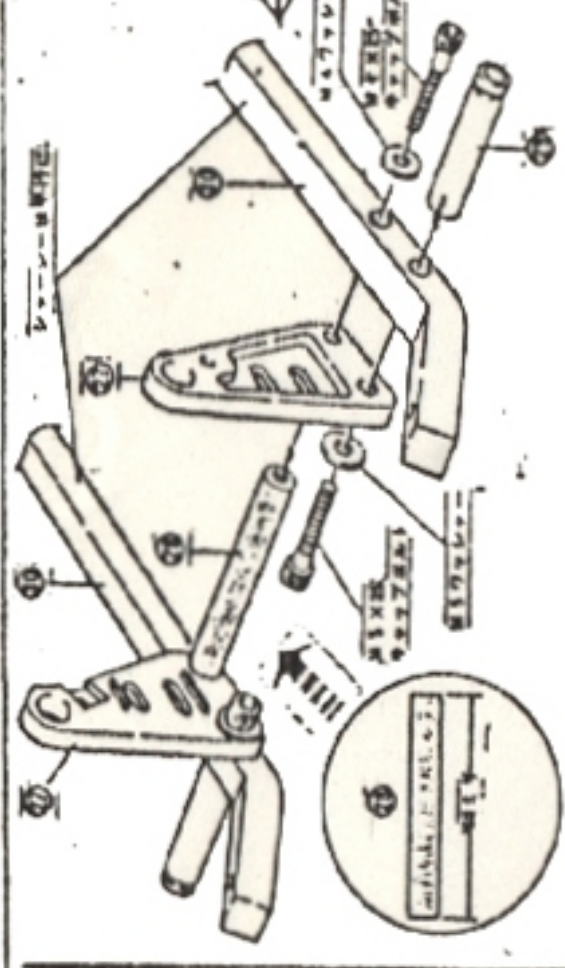
ランドジヤンプ。4D補足説明
 ランドジヤンプ。4Dの取扱説明書の組立図及び説明文に変更された所があります。
 本補足説明書と並行して組立をおこなってください。



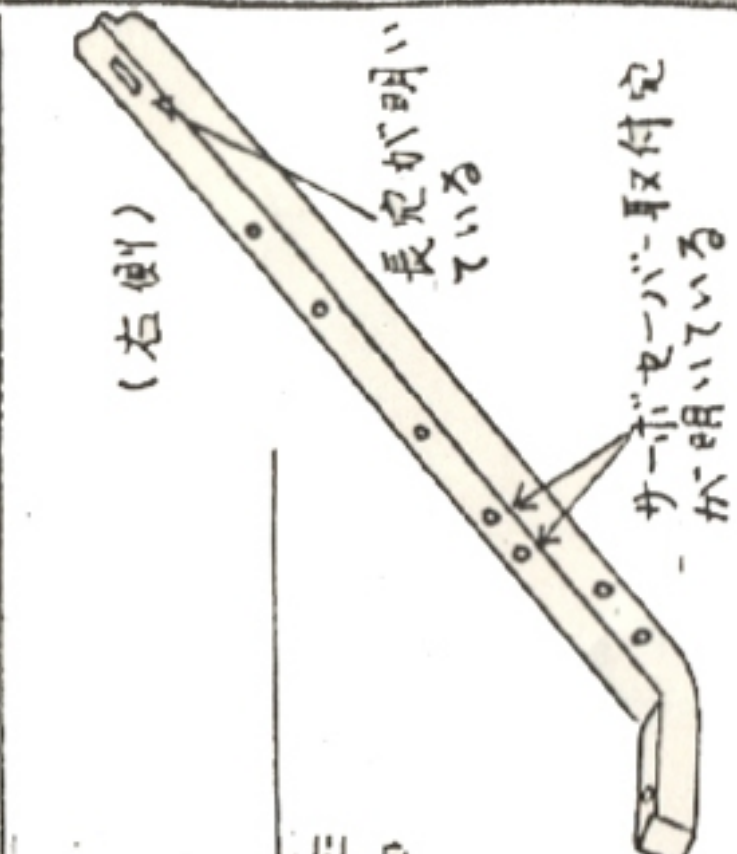
5 リアスプロケット止めネジの穴がスケジヤンプの寸法より短いため、右側の寸法にカットしてください。



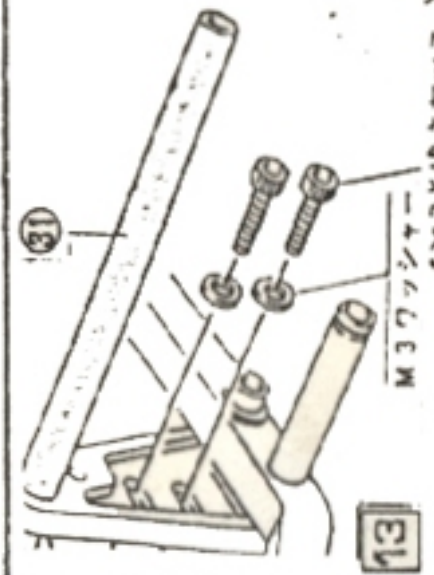
10 のマフラー取付カラーの穴より長く（約15ミリ）なっております。



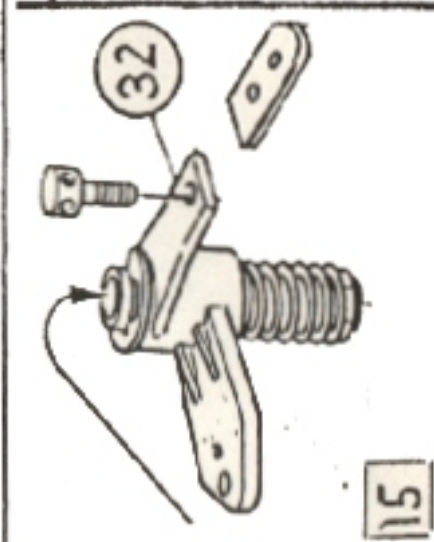
12 のメインシャフターには、右と左側があります。右側のシャフターが右側に倒ります。



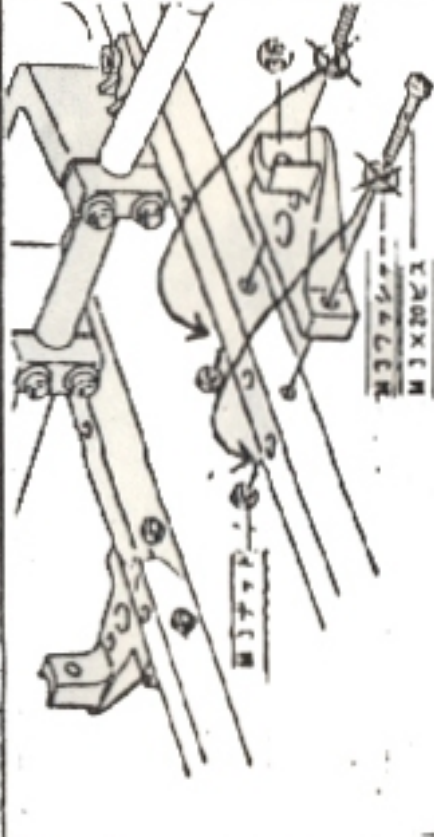
(右側) 長穴が明いている。サーボモーター取付穴が明いている。



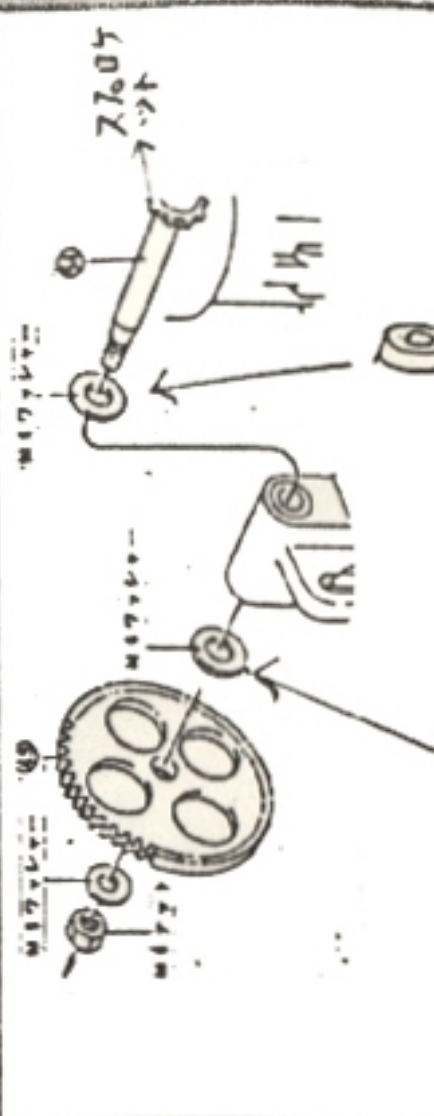
13 M3X12 キヤツプスクリューをM3X10 キヤツプに交換しました。また①フロントアースルは一番前側に取付けて下さい。



15 サーボモーターのホーン部分、一番内側の穴を残し、ナイフ等でオットして下さい。



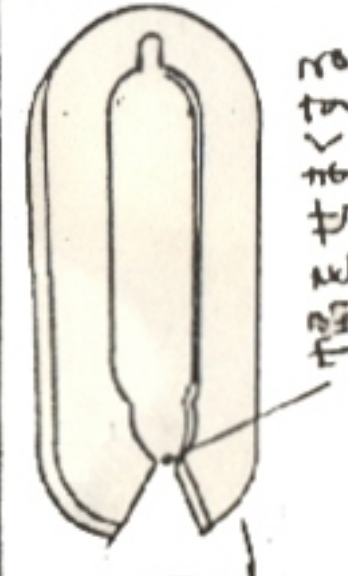
16 サイドメンバークリム止めネジM3X20ビスに使うM3ワッシャーは、シャフター内側（サット側）に使用して下さい。



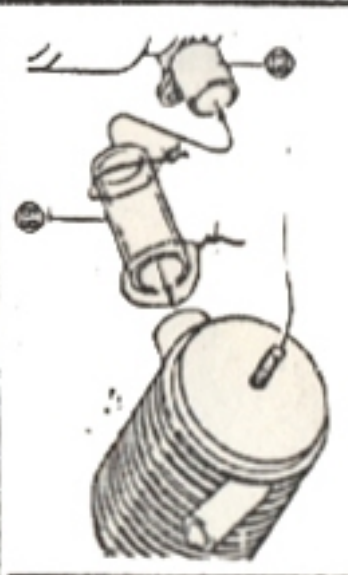
23 このワッシャーは使用せず（ナイロンワッシャー）
 ⑤④ スパークシャフトに使うM6ワッシャー、スプロケット側をナイロンワッシャー（黒色）に変更、スパークシャフト側は使用しません。



27 (チェーンの回転方向)



28 マフラーパイプ、接続後、ナイロンストラップ、針金等で排気もれを防いで下さい。



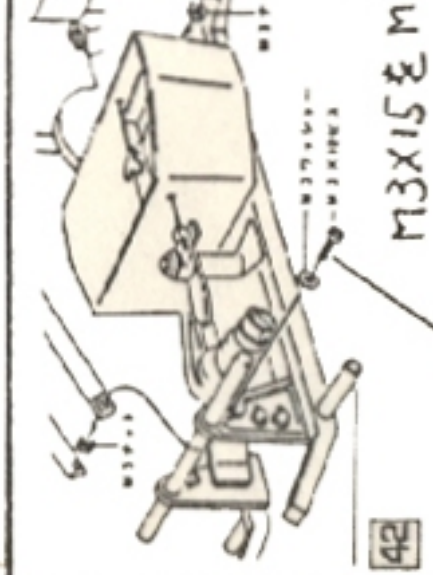
39 サイドメンバークリム止めネジM3X20ビスに使うM3ワッシャーは、シャフター内側（サット側）に使用して下さい。



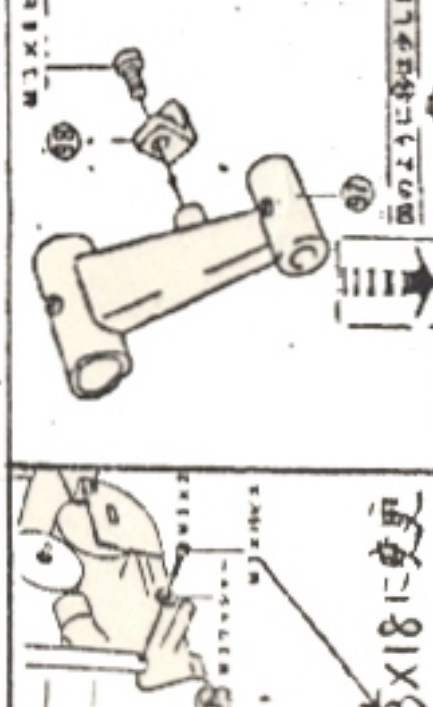
37 ステアリングリンクレージの際、⑧⑨ ロッドの高さを合せ、クランク状に曲げて下さい。⑩ マホックスと⑪ ロッドの向き（矢印の所）を約10〜12ミリにしてください。



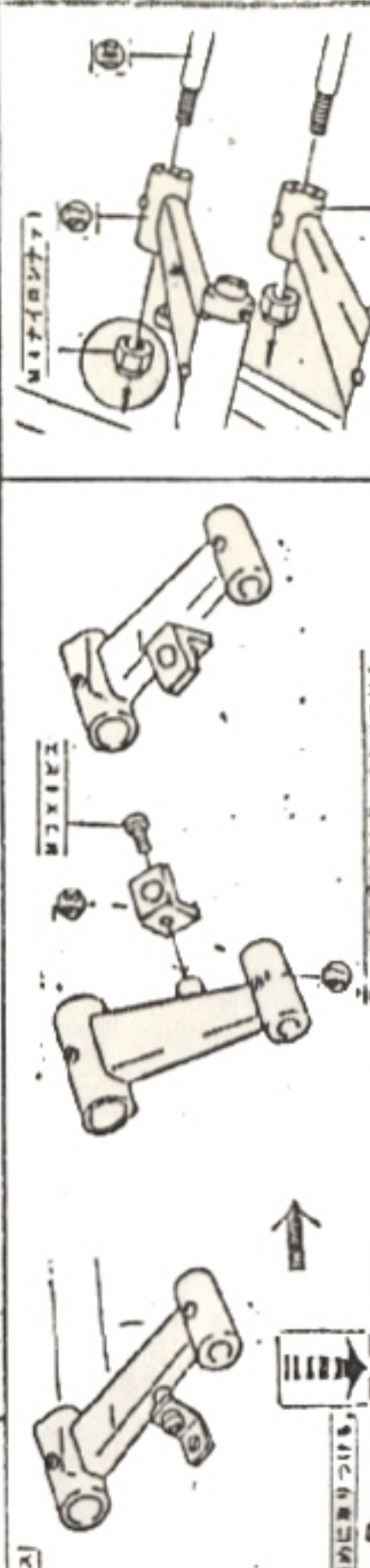
35 サーボモーターの取り付け位置を確認してください。



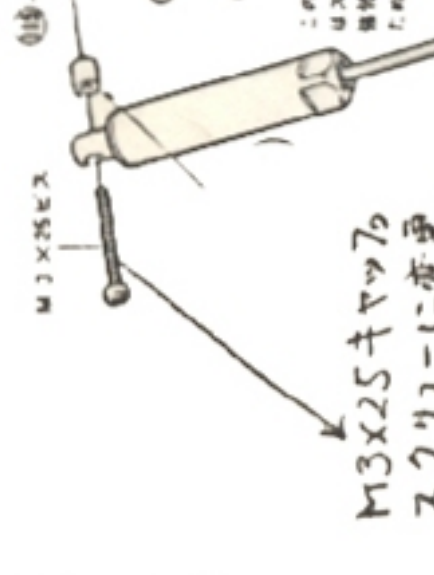
42 M3X15をM3X18に変更



43 フロントスプリングスターを右図のように取り付け



45 丸印のM4ナイロンナットM5ナイロンに変更しました。



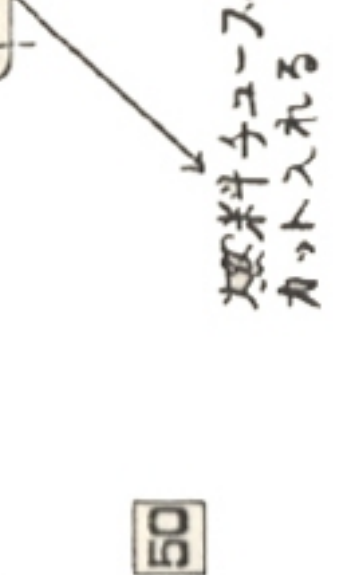
50 M3X25 キヤツプスクリューに変更



51 リアタンパー取付ステーは取付済になっております。またオイル差し穴は下向きになっております。



62 このM6ワッシャー使用しません。



50 燃料チューブも5ミリ中にカットされる

取扱い説明書15ページの「部品を紛失、破損されたとき」の印刷に

次の誤りがありますので訂正させていただきます。

内容(キーNo)の訂正

品番	部品名	内容(キーNo) 誤	内容(キーNo) 正
LD 18	ジョイントリンク	⑥1×3 ⑥2×6 7.0シヤ-付	⑥1×1 ⑥2×1 7.0シヤ-付
LD 40	ワンウェイベアリング	⑥6×2	⑥6×1